

Pioneer

HDDナビゲーションマップ TypeⅢ Vol.6

オーディオ操作編
オーディオ
ブック

carrozzeria

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージック
サーバー

オフシヨ
ン機器

AVIC-ZHシリーズ

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

警告

【使用方法】

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

【異常時の処置】

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

注意

【使用方法】





モニター部にヒーターの熱などを当てない



モニター部にエアコンのクーラーの冷気やヒーターの熱を当てないでください。そのままご使用になると故障や火傷の原因となることがあります。

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
	注意マーク 操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。
	メモ 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
	タッチキーを表します。 例：戻るを選ぶ(または戻るにタッチする)
	ナビゲーション本体や各リモコンについているボタンを表します。 例：メニューを押す
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：→「ITSを指定する」(P94)
つづく→	続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。



- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。

目次

安全のために必ずお守りください	2
安全上のご注意	3
本書の見かた	4
ご使用前に知っておいて いただきたいこと	11
各ボタンの表記	12
ナビゲーション本体	12
モニター	13
リモコン	14
ステアリングリモコン	15

基本操作

オーディオ基本操作	18
基本操作	18
タッチ操作とリモコン操作の違いについて	18
AVメニュー操作	18
リスト操作	19
基本的なリストの操作	19
サブメニューの操作	19
チェックリストの操作	19
ソースの切り替えかた	20
ソースを切り替える	20
AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900	20
AVIC-XH990/XH900	20
AVIC-H990/H900	21
リビングキット	21
ソースをOFFにする	21
画面の切り替えかた	22
ソース画面とナビ画面を切り替える	22
ソース画面を切り替える	22

放送受信

放送の受信 (AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/ ZH900MD/ZH900/XH900)	24
テレビやラジオの放送を 受信する	24
メモリーやバンドを切り替える	25

プリセットの種類を選ぶ	25
いろいろなテレビ・ラジオ操作のしかた (AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/ ZH900MD/ZH900/XH900)	26
AVメニューを表示する	26
ソースメニューについて	26
ソースメニューでの いろいろな受信操作	26
放送局の自動記憶	26
音声多重の切り替え (テレビ)	27
リストの切り替え (テレビ)	27
放送局の手動記憶	27
交通情報を聞く (AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900)	28
交通情報を受信する	28
交通情報の受信をやめる	28

音楽ディスクの再生 (CD、WMA/MP3、MD)

音楽ディスクの再生	30
再生する	30
再生画面について	30
再生を一時停止する	32
詳細情報を表示する (MP3)	32
いろいろな再生操作のしかた	33
AVメニューを表示する	33
ソースメニューについて	33
ソースメニューでの いろいろな再生操作	33
リピート再生	33
ランダム再生	34
スキャン再生	35
サーチモードの切り替え (CD、WMA/MP3)	36
ミックスCD内のデータ形式の 切り替え	36

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージック
サーバー

オプション
機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

DVD

DVDビデオの見かた	38
再生する	38
DVDが自動的に再生しないときは	38
操作タッチキーの表示のしかた	39
ディスクメニューの操作	39
DVDビデオの操作	40
チャプターを進める／戻す	40
タイトルを進める／戻す	40
一時停止／再生	40
コマ送り再生	40
スロー再生	41
再生を停止する	41
CMスキップ／バック	42
ブックマークの記憶	42
ダイレクトサーチ	43
字幕言語の切り替え	44
音声言語の切り替え	44
アングルの切り替え	45
リターン再生	45
DVDビデオの各種設定のしかた	46
AVメニューを表示する	46
ソースメニューについて	46
ソースメニューでの各種設定	46
リピート範囲の設定	46
音声出力の切り替え	
(AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900)	47
DVDビデオの初期設定のしかた	48
初期設定をする	48
基本字幕	48
基本音声	49
メニュー言語	49
アシスト字幕	49
マルチアングル	49
テレビアスペクト	50
視聴制限	50
オートプレイ	50

ミュージックサーバー

ミュージックサーバーについて	52
ミュージックサーバーとは	52
録音できるメディアについて	52
ミュージックサーバーに録音する	53
録音についてのご注意	53
CD録音の制限について	53
タイトル表示について	53
CDを自動的に録音する	54
CDを手動で録音する	54
CDの1曲目だけを自動的に録音する	54
CD以外のソースを録音する	55
録音設定	55
録音時間	55
録音モード	56
無音検出	56
ミュージックサーバーの聴きかた	57
グループ、プレイリスト、 トラックについて	57
再生する	57
再生を一時停止する	58
詳細情報を表示する	58
いろいろな再生操作のしかた	59
AVメニューを表示する	59
ソースメニューについて	59
ソースメニューでの いろいろな再生操作	59
リピート再生	59
ランダム再生	60
ダイジェストスキャン再生	60
ヒットチャートプレイ	61
ヒットチャートについて	61
ヒットチャート順に再生する (ヒットチャートプレイ)	62
ヒットチャートの 通常操作画面について	63
カウントダウンとカウントアップを 切り替える	63
ヒットチャートプレイを中止して 通常再生に戻す	63
チャート情報を更新する	64
最新のヒットチャートを見る	64

リンクを付ける	65	オリジナルプレイリストの トラック情報を編集する	82
フィーリングプレイ	66	タイトル情報を取得する	83
フィーリングプレイとは	66	タイトル情報について	83
プレイモード選択画面を表示する	66	取得できる情報	83
オートモードで再生する	67	NO TITLE表示について	83
オートモードの操作画面について	67	タイトル情報を取得する	83
マニュアルモードで再生する	67	マイデータベースの作成	84
マニュアルモードの操作画面について	68	メモリーカードから曲を読み込む	86
再生曲が選択した曲調と合わないとき	68	メモリーカードから曲を読み込む	86
通常のミュージックサーバー			
再生に戻る	68		
フィーリングプレイの設定	69		
フィーリングプレイ設定画面を表示する	69		
フィーリングプレイ対象外設定	69		
オートモード設定	70		
学習クリア	70		
プレイリストやグループを作成する	71		
ユーザーグループに			
プレイリストを作成する	71		
カスタマイズグループに			
プレイリストを作成する	72		
プレイリストやグループ、 トラックを編集する	74		
グループを編集する	74		
グループの詳細情報を表示する	75		
グループ内のプレイリストを 消去する	75		
グループ内のプレイリストの 再生順を変更する	76		
カスタマイズグループを 初期化する	76		
プレイリストを編集する	77		
プレイリストの詳細情報を表示する	78		
プレイリストのタイトルやよみを 変更する	78		
プレイリストのアーティスト名を 変更する	78		
プレイリストのジャンルを変更する	79		
プレイリストに画像を設定する	79		
ユーザープレイリストにトラック を追加する	80		
プレイリストからトラックを消去する	80		
ユーザープレイリストの トラック再生順を変更する	81		
		オプション機器	
		マルチCDプレーヤーの操作のしかた	
		(AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900)	88
		再生する	88
		再生画面について	89
		CD TEXTについて	89
		マルチCDのいろいろな再生操作のしかた	
		(AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900)	90
		AVメニューを表示する	90
		ソースメニューについて	90
		ソースメニューでのいろいろな ディスク操作	90
		リピート再生	90
		ランダム再生	91
		スキャン再生	91
		再生の一時停止	92
		CDの音質を調節する	92
		マルチCDで指定した曲だけを 再生する(ITS機能)	
		(AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900)	94
		ITSを指定する	94
		ITSで再生する	94
		ITSの指定を消去する	95
		エクスターナルユニットの操作のしかた	
		(AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900)	96
		基本操作	96
		操作例	96

はじめに
基本操作
放送受信
音楽ディスク
D V D
ミュージックサーバー
オプション機器
A V 設定
システム設定
その他の機能
付録

AV設定

オーディオ設定のしかた

(AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900)	98
オーディオ設定をする	98
グラフィックイコライザー	98
オートイコライザー	100
タイムアライメント	100
リスニングポジション	101
フェーダー/バランス	101
SFC	
(サウンドフィールドコントロール)	101
ラウドネス	102
ASL	102
サブウーファー	103
ハイパスフィルター設定	104
ソースレベルアジャスター	104

オーディオ設定のしかた(「DEQ - P9」 と組み合わせた場合)

(AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900)	106
オーディオ設定をする	106
パラメトリックイコライザー	106
オートイコライザー	108
タイムアライメント	108
リスニングポジション	109
フェーダー/バランス	109
SFC	
(サウンドフィールドコントロール)	109
デジタルダイレクト	110
Dolby Pro Logic II	110
ダイナミックレンジコントロール	111
スピーカー設定	111
クロスオーバー周波数	113
スピーカー出力レベル	113
テストトーン	114
ダウンMIX	114
ソースレベルアジャスター	115

車に合わせて音場を自動で補正する

(オートTA&EQ)	
(AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900)	116
オートTA&EQを行う前に	116
オートTA&EQを行う	117

システム設定

システム設定のしかた

(AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900)	120
システム設定をする	120
オートTA&EQ	120
デジタルアッテネーター	120
録音設定	120
消音設定	121
ワイドモード	121
AV入力設定	121
OEL(OrganicEL)設定	121
ナビ画面リア映像出力	122
オートフラップ設定	123
ガイド/ハンズフリーSP設定	123
オートアンテナ連動	124
5.1ch DSPユニット	124
オーディオ設定リセット	125

システム設定のしかた

(AVIC-XH990/H990/ XH900/H900)	126
システム設定をする	126
録音設定	126
消音設定	126
ワイドモード	
(AVIC-XH990/XH900)	127
AV入力設定	
(AVIC-XH990/XH900)	127
ナビ画面リア映像出力	
(AVIC-XH990/XH900)	127
ガイド出力設定	
(AVIC-XH990/XH900)	127
FMトランスミッター設定	
(AVIC-XH990/XH900)	128

その他の機能

AVスケジューラー	130
AVスケジューラーとは	130
スケジュールを作成する	130
スケジュールが実行されると	132
予約したスケジュールを 確認・編集する	132
予約したスケジュールを消去する	133
画面を設定する (AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/ ZH900MD/ZH900/XH900)	134
画質を調節する	134
明るさマークについて	135
ワイド画面の拡大方法を 切り替える	135
ワイドモードの種類	136
画面の表示モードを切り替える	136
ピクチャーサイドピクチャーに 変更する	136
ピクチャーインピクチャー に変更する	137
ビデオなどを見る (AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/ ZH900MD/ZH900/XH900)	138
ビデオなどの入力を設定する	138
AVIC-ZH990MD/ZH990 ZH900MD/ZH900の場合	138
AVIC-XH990/XH900の場合	139
ビデオなどの見かた	139
バックカメラを使う (AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/ ZH900MD/ZH900/XH900)	140
入力設定をバックカメラに 切り替える	140
バックカメラの切り替えかた	141
リアモニターを組み合わせる (AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/ ZH900MD/ZH900/XH900)	142
リアモニターに表示される 映像について	142

リアモニター用リモコンを使う (AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/ ZH900MD/ZH900/XH900)	143
数字ボタンで選ぶとき	143
OELディスプレイについて (AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900)	144
OELディスプレイの表示を 切り替える	144
DISP を押したとき	144
ENT を押したとき	145
CLK を押したとき	145
ファンクションモードを使う	145
リビングキットで操作できる機能	146
リビングキットとは	146
再生する	146
情報を取得する	146
録音する	146

付録

再生できるディスク (DVD、CD)の種類	148
DVDに表示されている マークの意味	149
ディスクの操作について	149
ディスクの構成について	150
DVDビデオ	150
CD	150
長時間録音されたMDの再生について (AVIC-ZH990MD/ZH900MD)	151
MDLPIについて	151
MP3ディスク、WMAディスクについて	152
フォルダーとMP3および WMAファイルについて	152
MP3とは?	153
再生できるMP3ディスクについて	153
WMAとは?	154
再生できるWMAディスクについて	154
Gracenoteについて	155
言語コード表	156

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージック
サーバーオフシヨ
ン機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

故障かな?と思ったら	157
共通項目	157
テレビ	159
ラジオ	159
MD (AVIC-ZH990MD/ ZH900MD)	160
DVD	160
CD、WMA/MP3ディスク	162
WMA/MP3ディスク	162
ミュージックサーバー	163
こんなメッセージが表示されたら	164
共通項目	164
DVD、CD、WMA/MP3ディスク	164
MD (AVIC-ZH990MD/ ZH900MD)	165
ミュージックサーバー	166
オートTA&EQ時のエラー	167
索引	168
メニュー索引	168
AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900	168
AVIC-XH990/H990/ XH900/H900	169
用語索引	170
五十音順	170
アルファベット順	171

ご使用前に知っておいていただきたいこと

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

■ 安全走行のために

本機は、安全のため走行中にテレビやVTRなどの映像を見ることができないようになっています。(走行中は、映像の上に以下のようなメッセージが表示されます。)また、一部のメニュー操作はできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから、操作してください。

(例)テレビを見ようとしたとき



■ リアモニターについて

リアモニター出力に後部座席専用のモニターを接続すれば、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。リアモニター出力は、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。リアモニター出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

各ボタンの表記

操作手順の説明では、各ボタンをイラスト表示や名称で表しています。

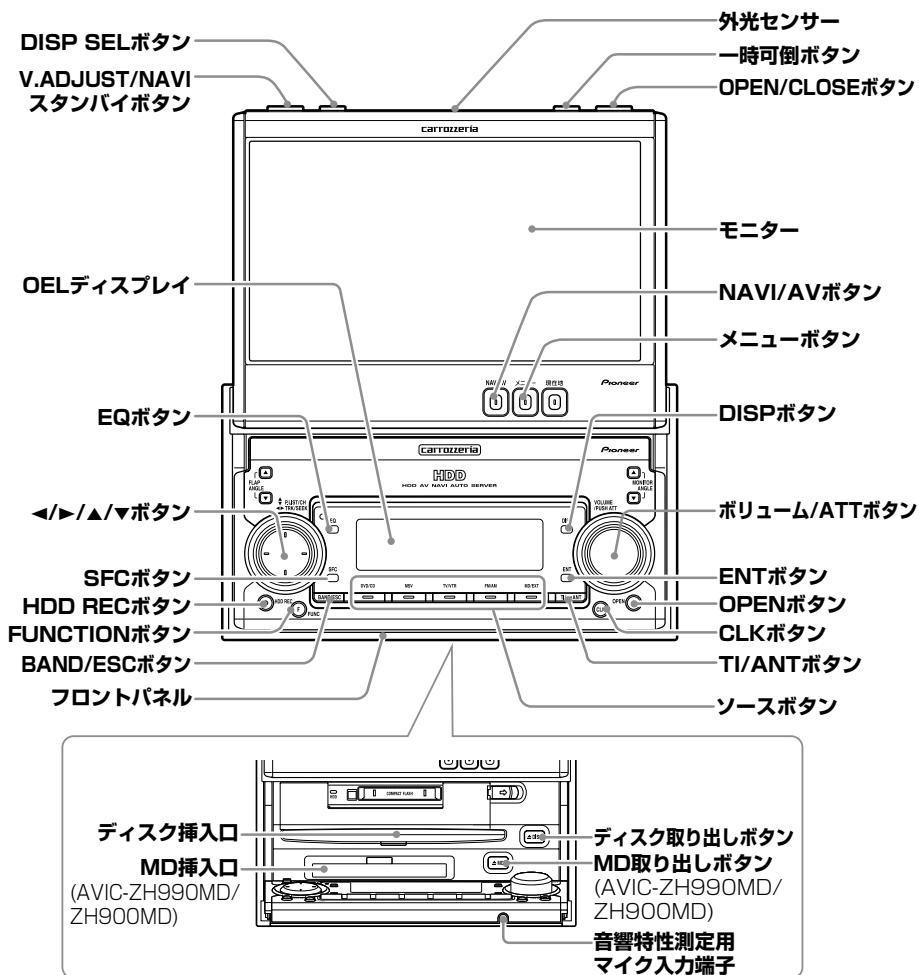


•オーディオ以外の操作ボタンの名称は、『スタートブック』または『ナビゲーションブック』を参照してください。

ナビゲーション本体

AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900

(AVIC-ZH990/ZH900はMD再生機能を搭載していません。)



AVIC-XH990/H990/XH900/H900

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

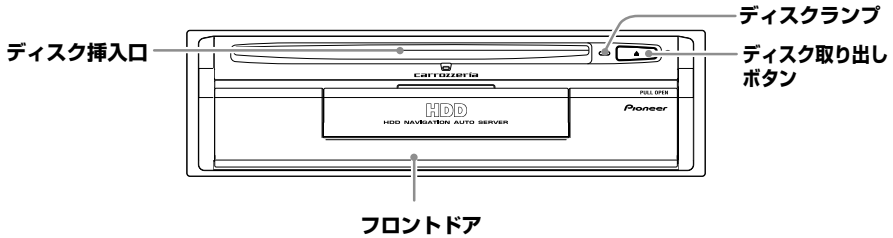
オプション機器

AV設定

システム設定

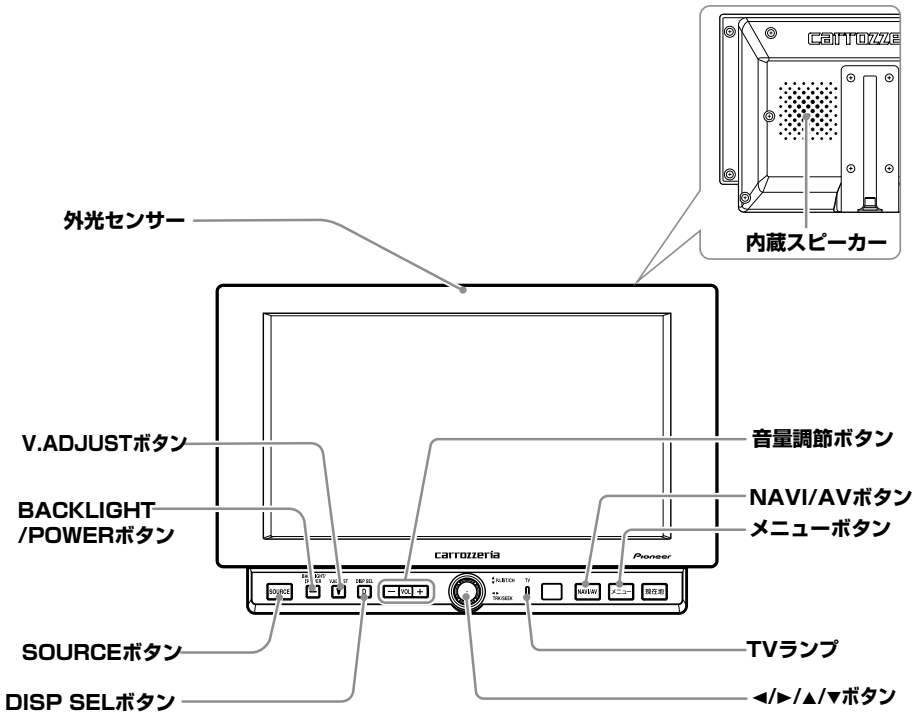
その他の機能

付録



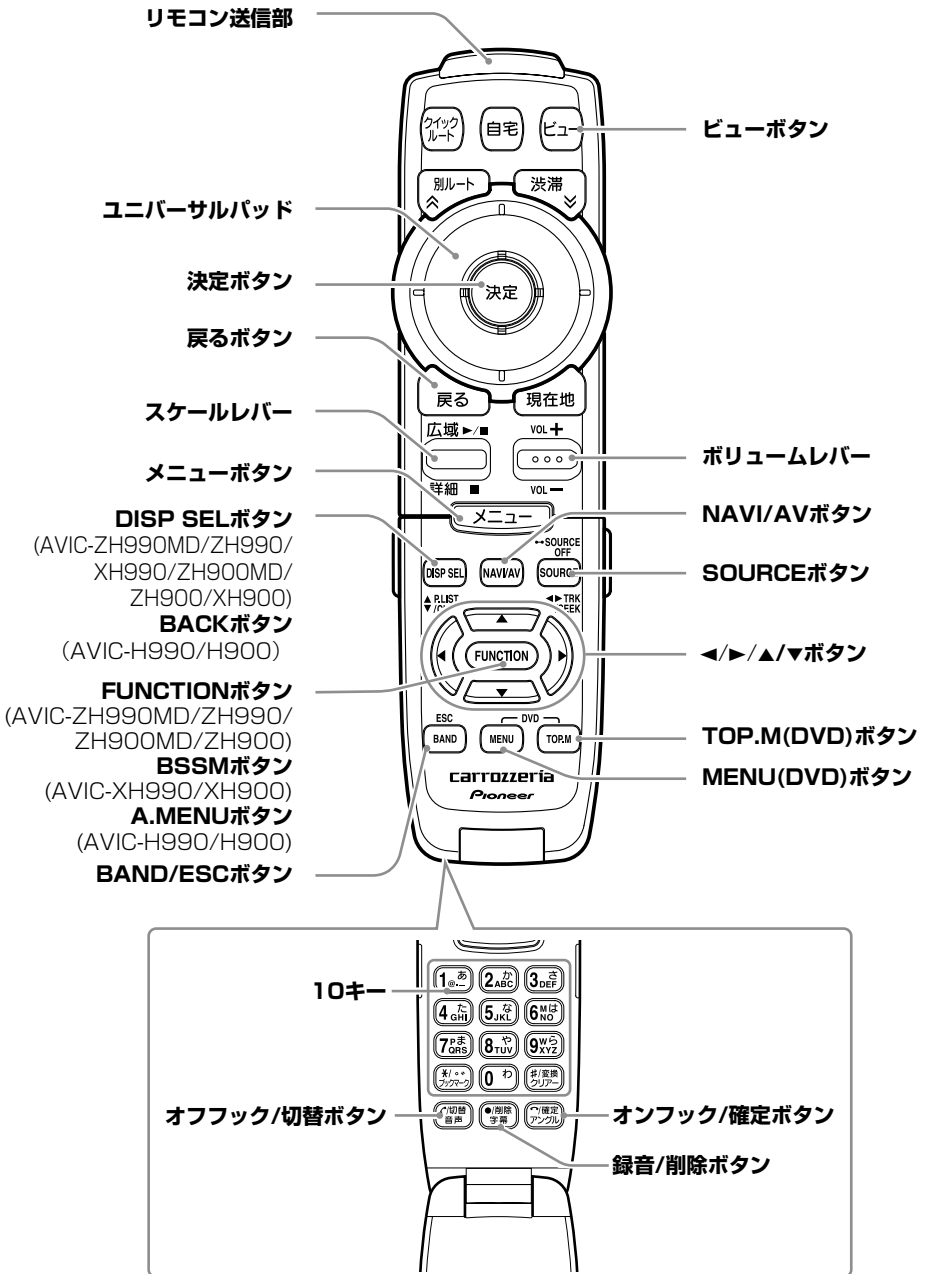
モニター

AVIC-XH990/XH900



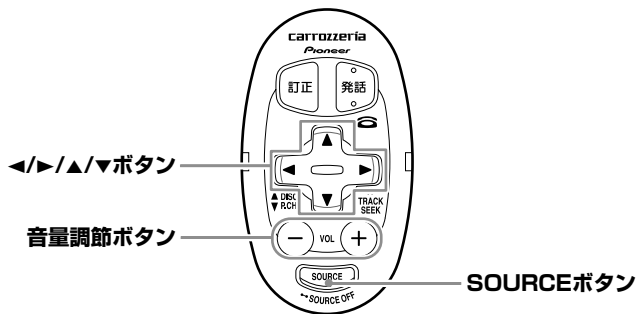
リモコン

AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900 (例)



ステアリングリモコン

AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900



はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D V D

ミュージック
サーバー

オプション
機器

A V 設定

システム設定

その他の機能

付録

基本操作

オーディオ基本操作	18
基本操作	18
タッチ操作とリモコン操作の違いについて	18
AVメニュー操作	18
リスト操作	19
基本的なリストの操作.....	19
サブメニューの操作.....	19
チェックリストの操作.....	19
ソースの切り替えかた	20
ソースを切り替える	20
AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900	20
AVIC-XH990/XH900	20
AVIC-H990/H900	21
リビングキット	21
ソースをOFFにする	21
画面の切り替えかた	22
ソース画面とナビ画面を切り替える	22
ソース画面を切り替える	22

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D
V
D

ミ
ュ
ー
ジ
ック
サ
ー
バ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
機
器

A
V
設
定

シ
ス
テ
ム
設
定

そ
の
他
の
機
能

付
録

オーディオ基本操作

基本操作

本機はタッチパネルとリモコンのどちらでも操作することができます。(AVIC-H990/H900では、タッチパネルタイプのモニターと組み合わせていない場合は、リモコン操作のみとなります。)

タッチパネルで操作するときは、画面上のタッチキー(項目など)にタッチします。リモコンで操作するときは、ユニバーサルパッドの上/下/左/右に触れることで画面の項目を選び、**決定**を押します。



- 本書では、タッチキーまたはリモコンでの操作を説明する場合、「～を選ぶ」と表記しています。
- 音量の調節方法につきましては、『スタートブック』をご覧ください。

タッチ操作とリモコン操作の違いについて

画面上に表示されるタッチキーのうち、銀色で表示されているボタンはリモコンで選ぶことはできません。その場合は次のボタンを押して操作します。

タッチキー：リモコンボタン

	：	メニュー
	：	戻る
	：	ユニバーサルパッド左/右
	：	ユニバーサルパッド上/下
	：	ユニバーサルパッド上/下
	：	戻る+ 決

AVメニュー操作

AVメニューとは、オーディオや映像に関する設定や各機能の操作を行うためのメニューです。

1 ソース画面で **メニュー** を押す

ソース画面 (→P22) が表示されている状態で **メニュー** を押します。

2 項目を選ぶ



ソースメニュー

※ソースメニューの内容は、ソースごとに異なります。詳しくは、各ソースの説明ページをご覧ください。

AV初期設定

オーディオ設定

オーディオ設定画面を表示する (→P98)
※AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900の場合のみ表示されます

システム設定

システム設定画面を表示する
AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900 (→P120)
AVIC-XH990/H990/XH900/H900 (→P126)

スケジューラー

スケジューラー設定画面を表示する (→P130)



- メニューを閉じるには、**戻る** にタッチするかリモコンの **戻る** または **メニュー** を押します。

リスト操作

再生中などに表示されるリスト画面の共通操作について説明します。

基本的なリストの操作



1行送り

リストを上下に1行移動します。

タッチ操作 : **▲** **▼** にタッチする

リモコン操作 : ユニバーサルパッドを上/下に操作する

ページ送り

一画面ずつ移動します。

タッチ操作 : **▲▲** **▼▼** にタッチする

リモコン操作 : **別ルート** **洗濯** を押す

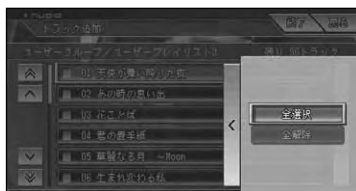
タブ送り

タブ付きリストでは、選んだタブのリストに切り替わります。

タッチ操作 : タブ (例:**プレイリスト**) にタッチする

リモコン操作 : ユニバーサルパッドを左/右に操作する

サブメニューの操作



サブメニュー

> が表示されているときは、サブメニューを表示できます。サブメニューでは、リストの全選択や全解除などの操作をすることができます。

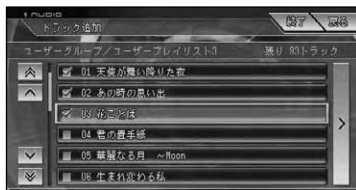
タッチ操作 : **>** にタッチする

リモコン操作 : ユニバーサルパッドを右に操作する



•サブメニューを閉じるには、**<** にタッチするかユニバーサルパッドを左に操作します。

チェックリストの操作



チェックリストでは、項目を選ぶと「**☑**」(チェックマーク)が表示され、選択中であることを示します。もう一度項目を選ぶと「**☑**」が消え、選択が解除されます。

またチェックリストでは、サブメニューを表示できるものがあり、サブメニューから**全選択**、**全解除**を操作することもできます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

ソースの切り替えかた

CD、ミュージックサーバー、DVDなどの音源や映像のことをソースと呼びます。次の手順で希望のソースに切り替えます。

ソースを切り替える

1 SOURCEを押す



- ナビゲーション画面のときにソースを切り替えると音声のみ切り替わりません。**NAVWAV**を押すとソース画面に切り替えることができます。(→P22)
- 接続していないソースや、再生の準備ができていないソースには切り替わりません。
- 切り替えられるソースは機種ごとに異なります。以下を参照してください。

AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900

SOURCEを押すごとに、以下のように切り替わります。

DVD・CD・ROM(WMA/MP3)→マルチCD→ミュージックサーバー→テレビ→VTR1→VTR2→FM/AM→MD→EXT1→EXT2→元に戻る

本体の各ソースボタンでもソースを切り替えられます。

DVD/CD : DVD・CD・WMA/MP3→マルチCD→OFF→DVD・CD・WMA/MP3に戻る

MSV : ミュージックサーバー↔OFF

TV/VTR : テレビ→VTR1→VTR2→OFF→テレビに戻る

FM/AM : FM/AM↔OFF

MD/EXT : MD→EXT1→EXT2→OFF→MDに戻る



- AV入力設定(→P121)でVTR1またはVTR2をONにしないと、VTR1またはVTR2に切り替わりません。
- VTR2をバックカメラとして使用している場合は、VTR2には切り替わりません。
- EXT1、EXT2は、マルチCDプレーヤー以外のIPバス機器(エクスターナルユニット)のためのソースです。本機では、2台のエクスターナルユニットをコントロールすることができます(→P96)。
- AVIC-ZH990/ZH900はMD再生機能を搭載していません。**MD/EXT**は**EXT**になります。

AVIC-XH990/XH900

SOURCEを押すごとに、以下のように切り替わります。

DVD・CD・ROM(WMA/MP3)→ミュージックサーバー→テレビ→VTR1→VTR2→元に戻る



- AV入力設定(→P127)でVTR1またはVTR2をONにしないと、VTR1またはVTR2に切り替わりません。
- VTR2をバックカメラとして使用している場合は、VTR2には切り替わりません。

AVIC-H990/H900

タッチパネルモニターと組み合わせた場合

SOURCE を押すと、テレビモニターのソースが順に切り替わり、本機のソースを選ぶことができます。

N-DVD : DVD・CD・ROM(WMA/MP3)

MSV : ミュージックサーバー

→『テレビの取扱説明書』



- 「AVH-P9DVA II」、「AVH-P7DV」と組み合わせた場合は、リモコンの操作モード切替スイッチを“AUDIO”に切り替えてから **SOURCE** を押してください。
- テレビモニター側のソースボタンでもソースを切り替えることができます。
→『テレビの取扱説明書』

AVH-P9DVAまたは 他社モニターと組み合わせた場合

SOURCE を押すごとに、以下のように切り替わります。

DVD・CD・ROM(WMA/MP3) ↔ ミュージックサーバー



- あらかじめテレビモニター側のソースを**NAVI**に切り替えておく必要があります。→『テレビの取扱説明書』

リビングキット

リビングキットでは **SRC** を押すごとに、以下のように切り替わります。

ミュージックサーバー ↔ AUX(外部入力)

ソースをOFFにする

1 **SOURCE** を長く押す

ソースがOFFになります。
もう一度 **SOURCE** を押すと、OFFにする前のソース画面に戻ります。



- AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900 MD/ ZH900では、本体の各ソースボタン(→P20)でもソースをOFFにすることができます。
- リビングキットでは、**SRC** を長く押します。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D
V
D

ミ
ュ
ー
ジ
ッ
ク
サ
ー
バ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
機
器

A
V
設
定

シ
ス
テ
ム
設
定

そ
の
他
の
機
能

付
録

画面の切り替えかた

ソース画面とナビ画面を切り替える

ソースの音声はそのまま、画面だけナビゲーション画面とソース画面を切り替えることができます。

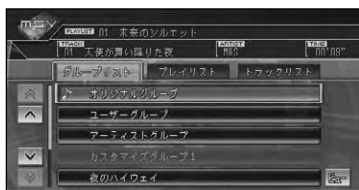
1 NAVI/AVを押す

NAVI/AVを押すことに、以下のように映像が切り替わります。

ナビゲーション画面



ソース画面



- AVIC-H990/H900とタッチパネルモニターを組み合わせた場合は、モニター側のV.ADJボタンでも切り替えることができます。

ソース画面を切り替える

ソース画面の表示方法を切り替えることができます。

1 ビューを選ぶか、ビューを押す

選ぶごとに画面表示が以下のように切り替わります。

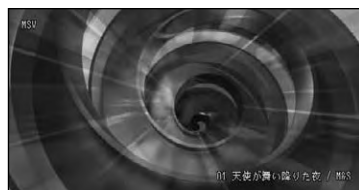
通常画面



ソースプレートのみの画面



タイトルなどのみの画面



通常画面に戻る



- テレビ、DVD、VTRのときは、映像画面と通常画面が切り替わります。通常画面は約8秒間だけ表示されます。
- 画面にタッチすると、通常画面に切り替わります。

放送受信

ここではテレビ、ラジオ、交通情報の受信方法や
いろいろな操作方法を説明します。

放送の受信

(AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/ ZH900MD/ZH900/XH900)	24
テレビやラジオの放送を受信する	24
メモリーやバンドを切り替える	25
プリセットの種類を選ぶ	25

いろいろなテレビ・ラジオ操作のしかた

(AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/ ZH900MD/ZH900/XH900)	26
AVメニューを表示する	26
ソースメニューについて	26
ソースメニューでのいろいろな受信操作	26
放送局の自動記憶	26
音声多重の切り替え (テレビ)	27
リストの切り替え (テレビ)	27
放送局の手動記憶	27

交通情報を聞く

(AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900)	28
交通情報を受信する	28
交通情報の受信をやめる	28

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージック
サーバー

オプション
機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

放送の受信 (AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/ZH900MD/ZH900/XH900)

テレビやラジオの基本的な使い方を説明します。

テレビやラジオの放送を受信する

ご注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、テレビ映像を見ることができます。走行中は安全のために、テレビ映像は表示されません。



- AVIC-XH990/XH900にラジオの受信機能はありません。
- 地上デジタルテレビジョン放送は、本機で受信することはできません。
- 地上デジタルテレビジョン放送については、別添えの「地上デジタルテレビジョン放送について」をご覧ください。

1 [SOURCE]を押して、ソースをテレビまたはラジオに切り替える

ソース画面(→手順 2)が表示され、前回受信していた放送局を受信します。



- テレビのソース画面は約8秒で消えます。もう一度ソース画面を表示したいときは、画面にタッチします。
- 映像がナビゲーション画面のときに、ソースをテレビやラジオにした場合は、音声のみ切り替わります(→P20)。**[NAVI/AV]**を押すとソース画面になります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所、電波の弱い地域では、感度が悪くなる場合があります。
- **[SOURCE]**を長く押すと、ソースをOFFにすることができます(→P21)。

2 放送局をリストから選ぶ



操作ボタンで選ぶ場合：

[▲]/[▼]：リストの放送局を順に送る

[◀]/[▶]：チャンネルまたは周波数を順に送る



- **[◀]/[▶]**を押し続けると、離れた位置から受信できる放送局を自動的に探します(SEEK)。
- ステレオ放送を受信した場合は、[STEREO]が表示され、テレビの音声多重放送を受信した場合は、[BILIN-GUAL]が表示されます。
- 放送局がリスト表示されていても、現在の環境や電波状況によって、受信できない場合があります。

メモリーやバンドを切り替える

プリセットのメモリーやラジオのバンド(FMとAM)を切り替えます。本機では、バンドごとに2つのプリセットメモリーがあり、テレビは各12局、ラジオは各6局のメモリーを使い分けることができます。

1 BAND/ESC を押す

押すごとに以下のように切り替わります。

■ テレビ (各12局)

TV1 ↔ TV2

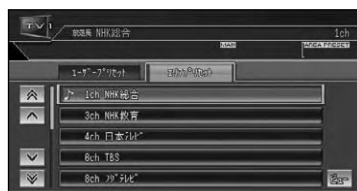
■ ラジオ (各6局)

FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1 に戻る

プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが記憶させた放送局(ユーザープリセット)を呼び出すか、ハードディスクに収録されている自車位置付近の放送局(エリアプリセット)を呼び出すかを選びます。

1 ユーザープリセット または エリアプリセット を選ぶ



- ユーザープリセットでは、ソースプレートにプリセットNo. (例:P1)が表示されます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数(チャンネル)変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

いろいろなテレビ・ラジオ操作のしかた

放送局の自動記憶や音声多重の切り替えなど、いろいろな機能の使い方を説明します。

AVメニューを表示する

基本操作以外の機能を使うには、AVメニューを表示させてから操作します。

1 **メニュー**を押す

AVメニュー画面が表示されます。

ソースメニューについて

ソースメニューの内容は、ソースによって異なります。各ソースメニューの中から機能を選んで実行します。

■ テレビ



■ ラジオ



ソースメニューでの いろいろな受信操作

放送局の自動記憶

メモリー (→P25) ごとに、受信状態の良いチャンネルをテレビはTV1とTV2に各12局、ラジオはFM1とFM2、AM1、AM2に各6局まで、自動的に記憶させることができます。

1 **BSSM** (テレビ)、または **BSM** (ラジオ)をサーチが開始されるまでタッチし続ける



中止 を選ぶと、BSSMやBSMを中断します。

ユーザープリセットに放送局が記憶されます。



- AVIC-XH990/XH900では、**BSSM** を長く押し続ければBSSMを開始することもできます。
- 受信状態の良い放送局が記憶可能数より少ない場合は、前の記憶が残る場合があります。

音声多重の切り替え(テレビ)

音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切り替えることができます。



- 音声多重放送の場合は、一般的に主音声を日本語、副音声を外国語で放送していますが、逆の場合もあります。

1 音声多重を選ぶ

選ぶごとに、以下のように切り替わります。
MAIN→SUB→MAIN+SUB→MAINに戻る

MAIN : 主音声(日本語)

SUB : 副音声(外国語)

MAIN+SUB : 主・副音声(日本語+外国語)



- 「MAIN+SUB」の場合、左側スピーカーより主音声、右側スピーカーより副音声が出力されます。

リストの切り替え(テレビ)

表示されるリストの大小を選ぶことができます。

1 リスト小を選ぶ



- すでにリスト小で画面表示されている場合は、タッチキーが **リスト大** となります。



リストの大小を設定して通常画面に戻ります。



- 走行中は、リストの大小の設定に関係なくリスト大で表示されます。

放送局の手動記憶

ユーザープリセットメモリー(→P25)に、テレビはTV1とTV2に各12局、ラジオはFM1とFM2、AM1、AM2に各6局まで、手動で記憶させることができます(マニュアルプリセット)。

1 ◀/▶を押して記憶させたい放送局を選ぶ

2 記憶させたいリストのプリセットの枠をピッと鳴るまで選び続ける



現在受信中の放送局が、選んだプリセットに記憶されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

交通情報を聞く

(AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900)

高速道路などで放送されているAMの交通情報の受信のしかたを説明します。



- この機能は、ソースがOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。

交通情報を受信する

1 **TI/ANT** を押す



交通情報画面が表示されます。
前回聞いた周波数の交通情報を受信します。

2 **◀/▶** を押して周波数を切り替える

◀ : 1.620kHzにするとき

▶ : 1.629kHzにするとき



- 交通情報を受信しているときに、音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。別のソースに切り替えて音量を調節しても、次に交通情報を受信するときは、前回設定した音量で聞くことができます。
- 交通情報を受信しているときはAVメニューを表示することはできません。

交通情報の受信をやめる

1 もう一度 **TI/ANT** を押す

交通情報を受信する前のソースに戻ります。

音楽ディスクの再生(CD、WMA/MP3、MD)

ここではいろいろな音楽ディスクの再生、
操作方法を説明します。

音楽ディスクの再生	30
再生する	30
再生画面について	30
再生を一時停止する	32
詳細情報を表示する(MP3)	32
いろいろな再生操作のしかた	33
AVメニューを表示する	33
ソースメニューについて	33
ソースメニューでのいろいろな再生操作	33
リピート再生	33
ランダム再生	34
スキャン再生	35
サーチモードの切り替え(CD、WMA/MP3) ...	36
ミックスCD内のデータ形式の切り替え	36

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D
V
D

ミュージック
サーバー

オフシヨ
ン
機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

音楽ディスクの再生

CD、WMA/MP3、MDなどの基本的な再生のしかたについて説明します。

再生する

- MDは、AVIC-ZH990MD/ZH900MDのみ再生できます。

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、ソースを切り替えてください(→P20)。
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。特にCD-RWディスクはより時間がかかります。
- [SOURCE]**を長く押しすと、ソースをOFFにすることができます(→P21)。

2 聴きたい曲をリストから選ぶ



操作ボタンで選ぶ場合：

◀/▶：トラック/ファイルの操作

- ◀/▶を押し続けると、早戻し/早送りの動作となります。
- 早戻し/早送りの動作は、10曲飛びに選曲する「ラフサーチ」に切り替えることもできます(→P36)。

再生画面について

■CD (通常再生中)

トラックNo. トラックタイトル
ディスクタイトル アーティスト名



再生中の曲 再生中のトラックの経過時間

■CD→MSV (録音中)

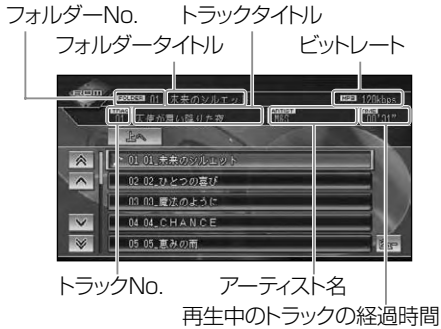
録音表示 録音プログレスバー 録音済み曲数



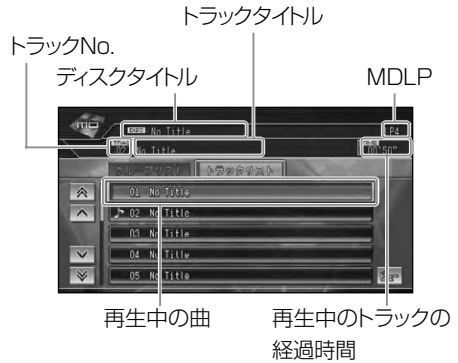
再生中の曲

- 録音していないCDを再生すると、自動的にミュージックサーバー(MSV)への録音が始まります。全ての曲の録音が終わると通常再生に切り替わります。
- 全ての曲の録音が完了するまで、選曲操作や特殊再生(ランダム再生など)はできません。選曲操作が必要な場合は、**[削除]**を押して録音を中止してください。
- 内蔵のGracenote音楽認識サービス(CDDb)から情報が取得できた場合は、ソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。
- ミュージックサーバーへの録音およびタイトル表示については、「ミュージックサーバーに録音する」(→P53)を参照してください。

■ WMA/MP3



■ MD



- MP3はID3 Tag(→P153)からタイトル情報を取得できた場合、ソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。
- フォルダータイトルやトラックタイトル、アーティスト名は全角16文字(半角32文字)の表示ができます。
- MP3は、タイトル情報を取得できなかった場合、フォルダー名がフォルダータイトル、ファイル名がトラックタイトルとしてソースプレートに表示されます。アーティスト名は表示されません。
- WMAは、フォルダー名がフォルダータイトル、ファイル名がトラックタイトルとして表示されます。アーティスト名は表示されません。
- WMAの時にタグのAuthor情報があった場合、アーティスト名として表示します。
- [上]** を選ぶと、選んだフォルダー内の情報を表示します。
- [上へ]** を選ぶと、上位階層のフォルダー内の情報を表示します。
- 音楽データ(CD)とWMA/MP3形式のデータが混在したディスクを挿入した場合、最初に音楽データ(CD)が再生されます。WMA/MP3ファイルを再生するには、**[BAND/ESC]** を押します。



- タイトルは、全角16文字(半角32文字)の表示ができます。(ただし、半角、全角の混在はできません。)
- 一部、表示できない文字があります。
- タイトルが記憶されていない場合は、[No Title]と表示されます。
- [トラックリスト]** を選ぶと、MDに録音されている全ての曲をリスト表示します(再生中の曲を先頭)。
- [グループリスト]** を選ぶとグループリストを表示します。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

再生を一時停止する

1 再生中の曲をリストから選ぶ

ポップアップが表示されます。

2 ポーズ/再生 を選ぶ



▼
ディスクの再生が一時停止します。

ポーズ/再生 をもう一度選ぶと、再生を再開することができます。

詳細情報を表示する (MP3)

MP3では現在再生中の曲の詳細情報を見ることができます。

1 再生中の曲をリストから選ぶ

ポップアップが表示されます。

2 詳細情報 を選ぶ



▼
ID3 Tagの情報がある場合には、現在再生中の曲の詳細情報(ディスク名、トラック名、フォルダー名、ファイル名、アーティスト名、ジャンル名、発売年)が表示されます。

戻る を選ぶと元の画面に戻ります。

いろいろな再生操作のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生など、いろいろな機能の使い方を説明します。

AVメニューを表示する

基本操作以外の機能を使うには、AVメニューを表示させてから操作します。

1 [メニュー] を押す

AVメニュー画面が表示されます。

ソースメニューについて

ソースメニューの中から機能を選びます。

■ CD



■ WMA/MP3



■ MD



ソースメニューでの いろいろな再生操作

それぞれのソースメニューから、いろいろな再生操作をすることができます。



•CD 録音中は **リピート**、**ランダム**、**スキャン**、**サーチモード**、**CD↔MP3/WMA** は操作できません。

リピート再生

リピートとは繰り返し聴く再生範囲を指定することです。例えば、リピートを TRACK REPEAT にすると再生中の曲を繰り返し聴くことができます。

1 リピートを選ぶ



選ぶごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

■ CD

DISC REPEAT ↔ TRACK REPEAT

■ WMA/MP3

DISC REPEAT → TRACK REPEAT
→ FOLDER REPEAT → DISC REPEAT
に戻る

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージック
サーバー

オプション
機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

MD

DISC REPEAT→TRACK REPEAT
→GROUP REPEAT→DISC REPEAT
に戻る

DISC REPEAT	: 通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	: 再生中のトラック(曲)を繰り返します。
FOLDER REPEAT	: 再生中のフォルダーを繰り返します。(WMA/MP3のみ)
GROUP REPEAT	: 再生中のグループを繰り返します。(グループ指定してあるMDのみ)



- リピート再生中にリピートの範囲を越える操作(TRACK REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- 通常再生であるDISC REPEATは、ソースプレートに表示されません。

ランダム再生

選んだリピートの範囲内(→前項)で、曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムを選ぶ



選ぶごとに、ランダム再生のON/OFFが切り替わります。



- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はそれぞれ以下のように自動的に切り替わります。
 - CD : DISC REPEAT
 - WMA/MP3 : FOLDER REPEAT
 - MD : GROUP REPEAT
- グループ指定していないMDはDISC REPEATにします。
- ランダム再生中にその他の再生操作(リピート再生、スキャン再生など)やリピートの範囲を越える操作(フォルダーの切り替えなど)を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

スキャン再生

選んだリピートの範囲(→P33)で、ディスク内の各曲の演奏開始部分や、各フォルダー/グループ内の1曲目の演奏開始部分を、約10秒間ずつ聴くことができます。聴きたい曲やフォルダー、グループを探すときに使います。

1 リピートの範囲を以下のように指定する(→P33)

■ 聴きたい曲を探すとき

再生中のディスク(CD)、フォルダー(WMA/MP3)、グループ(MD)内の各曲の演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。

リピートの範囲を以下のように指定します。

CD	: DISC REPEAT
WMA/MP3	: FOLDER REPEAT
MD	: GROUP REPEAT



- グループ指定していないMDはDISC REPEATにします。
- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、スキャン再生をONにすると、上記のリピートの範囲に切り替わります。

■ 聴きたいフォルダー(WMA/MP3)、グループ(MD)を探すとき

ディスク内の全フォルダー/グループの1曲目だけの演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。

リピートの範囲をDISC REPEATに指定します。

2 スキャンを選ぶ



選ぶごとに、スキャン再生のON/OFFが切り替わります。



- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

3 聴きたい曲またはフォルダー/グループが再生されたら、もう一度スキャンを選ぶ

スキャン再生がOFFになり、選んだ曲またはフォルダー/グループが再生されます。



- スキャン再生中にその他の再生(リピート再生、ランダム再生など)やリピートの範囲を越える操作(フォルダーの切り替えなど)を行うと、スキャン再生が中止される場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D
V
D

ミュージック
サーバー

オプション
機器

A
V
設定

システム設定

その他の機能

付
録

サーチモードの切り替え (CD、WMA/MP3)

CD、WMA/MP3では(◀)/(▶)を長く押したときに、早送り/早戻しにするか、10曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

1 サーチモードを選ぶ



2 設定するサーチモードを選ぶ



FF/REW : 早送り/早戻しになります。

ラフサーチ : ラフサーチになります。

ミックスCD内のデータ形式の 切り替え

CD-ROM、CD-R/RWなどで、音楽データ(CD)とWMA/MP3形式のデータが混在しているディスク(ミックスCD)の場合に形式を切り替えます。

1 CD↔MP3/WMAを選ぶ



再生するデータ形式が切り替わります。



- **BANDSC** を押して切り替えることもできます。
- 音楽データ側に記録された文字情報は表示されません。

DVD

DVDビデオの見かた	38	DVDビデオの各種設定のしかた ...	46
再生する	38	AVメニューを表示する	46
DVDが自動的に再生しないときは	38	ソースメニューについて	46
操作タッチキーの表示のしかた	39	ソースメニューでの各種設定	46
ディスクメニューの操作	39	リピート範囲の設定	46
DVDビデオの操作	40	音声出力の切り替え (AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900)	47
チャプターを進める／戻す	40	DVDビデオの初期設定のしかた	48
タイトルを進める／戻す	40	初期設定をする	48
一時停止／再生	40	基本字幕	48
コマ送り再生	40	基本音声	49
スロー再生	41	メニュー言語	49
再生を停止する	41	アシスト字幕	49
CMスキップ／バック	42	マルチアングル	49
ブックマークの記憶	42	テレビアスペクト	50
ダイレクトサーチ	43	視聴制限	50
字幕言語の切り替え	44	オートプレイ	50
音声言語の切り替え	44		
アングルの切り替え	45		
リターン再生	45		

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D
V
D

ミュージック
サーバー

オフ
シジョン
機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

DVDビデオの見かた

再生する

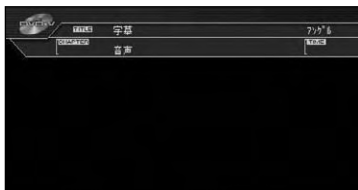
DVDビデオを見るには、次のようにします。

ご注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

1 DVDを挿入する

自動的に再生が始まります。



- すでに再生したいDVDが挿入されている場合は、**[SOURCE]**を押してソースをDVD-Vに切り替えてください。(→P20)
- ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に再生が開始されない場合があります。→「DVDが自動的に再生しないときは」(次項)
- DVDの録音レベルは他のソースより低い場合、他のソースからDVDに切り替えると、音が小さく感じられる場合があります。AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900では、ソースレベルアジャスターでソース毎の音量の違いをそろえることができます(→P104、115)。
- **[SOURCE]**を長く押しと、ソースをOFFにすることができます(→P21)。

DVDが自動的に再生しないときは

ディスクによっては、ディスクメニューなどが表示されて自動的に再生を開始しない場合があります。そのような場合は、次の手順で操作タッチキーを表示させてディスクメニューを操作します。



- ディスクメニューは直接タッチしても操作できません。
- オートプレイの設定をONにすると、若いタイトルから自動的に再生することができます。→「オートプレイ」(P50)

1 ディスクメニューなどが表示されたら、画面にタッチするか(決定)または**[ビュ]**を押す

2 を選ぶ



メニューが操作できる状態になりますので、「ディスクメニューの操作」(→P39)の手順**2**の操作をして再生を開始します。

操作タッチキーの表示のしかた

DVDの操作をタッチパネルで行うときは、操作タッチキーを表示して操作します。

1 再生中に画面にタッチするか(決定)または(ビュー)を押す

- メモ • **ビュー** にタッチするか **ビュー** を押すと操作タッチキーは消えます。

■ 操作タッチキー1 (1ページ目)



- メモ • **次ページ** を選ぶと2ページ目の操作タッチキーを表示させることができます。

■ 操作タッチキー2 (2ページ目)



- メモ • **前ページ** を選ぶと1ページ目の操作タッチキーに戻ります。

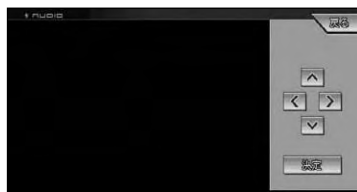
ディスクメニューの操作

ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法は、再生するディスクによって異なります。

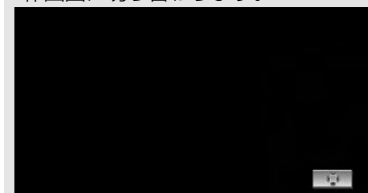
1 操作タッチキー1 (→前項) の **トップメニュー** または **メニュー** を選ぶ



2 <> ^ v でメニューを操作して **決定** にタッチする



- メモ • リモコンで操作するときは、再生中に **TOPM** または **MENU** を押してから、ユニバーサルパッドで操作します。
- リモコン操作中は次の画面が表示されます。画面にタッチすると、タッチ操作画面に切り替わります。



はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

DVDビデオの操作



ここで説明されている各機能は、ディスクや再生位置によって、 (禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。

チャプターを進める/戻す

チャプターを前後に送ったり、早送り/早戻しをすることができます。

1 操作タッチキー1 (→P39) の

または を選ぶ



• / ボタンでも操作できます。
• / または / を選び続けると、早戻し/早送りの動作となります。約5秒以上選び続けると、早送り/早戻しのままになります。通常の再生に戻すには、 を選ぶか、スケールレバーを[広域] ()側に倒します。

タイトルを進める/戻す

タイトルを順に進めたり戻したりすることができます。

1 または を押す



• 操作タッチキーではこの操作はできません。

一時停止/再生

再生中の映像を一時停止して静止画にしたり、通常の再生に戻すことができます。

1 操作タッチキー1 (→P39) の

を選ぶ



- スケールレバーを[広域] ()側に倒して操作することもできます。
- 通常の再生に戻すには、もう1度 を選ぶかスケールレバーを[広域] ()側に倒します。
- を選んでも一時停止します。

コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 操作タッチキー1 (→P39) の

を選ぶ

2 を選ぶ

選ぶごとに、映像が1コマずつ送られます。



- 通常の再生に戻すには、 を選ぶかスケールレバーを[広域] ()側に倒します。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。

スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 操作タッチキー1 (→P39) の ▶▶ を選ぶ

2 ▶▶ を選び続ける

送り方向にスロー再生されます。



スロー再生中は、再生スピードを変えることができます。

スロー-DOWN : 再生スピードが遅くなります

スロー-UP : 再生スピードが速くなります



- 通常の再生に戻すには、▶▶ を選ぶかスケールレバーを[広域] (▶▶)側に倒します。
- ディスクによっては、スロー再生時に映像が乱れることがあります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。

再生を停止する

ディスクの再生を停止します。

1 操作タッチキー1 (→P39) の ■ を選ぶ



- スケールレバーを[詳細] (■)側に倒して操作することもできます。
- 通常の再生に戻すには、▶▶ を選ぶかスケールレバーを[広域] (▶▶)側に倒します。
- 再生を停止した場所を記憶し、次回ディスクを再生したときは前回の続きから再生されます(ディスクによっては続きから再生されない場合があります)。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

CMスキップ/バック

再生中の映像を、一定の秒数だけ早送り/早戻しします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 操作タッチキー1 (→P39) のCMスキップまたはCMバックを選ぶ



選ぶごとに以下のような秒数で、早送り/早戻しされます。

CMスキップ (早送り) : 「30秒」→「1分」
→「1分30秒」→
「2分」→「3分」→
「5分」→「10分」
→「0秒」→「30
秒」に戻る

CMバック (早戻し) : 「5秒」→「15秒」
→「30秒」→「1分」
→「2分」→「3分」
→「0秒」→「5秒」
に戻る

ブックマークの記憶

ブックマークとは、ディスク再生中に場面を選んで登録する機能です。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。

■再生中に記憶する

1 操作タッチキー1 (→P39) のブックマークを選ぶ



選んだ場面がブックマークとして記憶され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

上記操作で記憶したブックマークを消去する場合は、**ブックマーク** を選び続けます。



- **ブックマーク** を押して記憶することもできます。記憶したブックマークを消去する場合は **ブックマーク** を長く押し続けます。
- 再生中によるブックマークの記憶（前記操作）は、ディスク1枚につき1場面記憶でき、ディスク5枚分のブックマークを記憶します。
- 5枚を越えて新しいディスクにブックマークが記憶されると、一番使用時期の古いディスクのブックマーク情報に上書きされます。
- 1枚のディスクに **ブックマーク** または **ブックマーク** とディスク取り出しボタンの両方を記憶することができます。その場合、ディスク取り出しボタンで記憶したブックマークが優先されます。

■ ディスク取り出しの際に記憶する

1 再生中にディスク取り出しボタン (→P12、P13) を押し続けて ディスクを取り出す

ボタンが押されたときに再生中だった場面がブックマークとして記憶され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

上記操作で記憶したブックマークを消去する場合は、ディスク取り出しボタンを短く押してディスクを取り出します。



- ディスク取り出しボタンによるブックマークの記憶（前記操作）は、ディスク1枚分のブックマークを記憶します。
- 1枚のディスクに **ブックマーク** または **(*/○)** とディスク取り出しボタンの両方を記憶することができます。その場合、ディスク取り出しボタンで記憶したブックマークが優先されます。

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 操作タッチキー2 (→P39) の サーチ/10キー を選ぶ



2 TITLE、CHAPTER、TIME、 10キーモードのいずれかを選ぶ



3 見たい場面の番号を入力し、 決定 を選ぶ

TITLE : タイトル番号を入力します。

CHAPTER : チャプター番号を入力します。

TIME : 時間を分・秒で入力します。
分、**秒** を選ぶと分と秒を確定します。

10キーモード : 数字のコマンドを入力します。

指定した場面から再生を始めます。



- 映像画面に戻るには、**戻る - ビュー** の順に操作します。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージック
サーバー

オプション
機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

字幕言語の切り替え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り替えることができます(マルチ字幕)。

1 操作タッチキー2 (→P39) の字幕切替を選ぶ



選ぶごとに、字幕言語が切り替わります。



- **削除字幕** を押して切り替えることもできます。
- DVDパッケージについている **?** マークの数字が、字幕の収録数です。
- ディスクによっては、DVDに収録されているディスクメニューでしか切り替えることができない場合があります。

音声言語の切り替え

音声は複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り替えることができます(マルチ音声)。

1 操作タッチキー2 (→P39) の音声切替を選ぶ



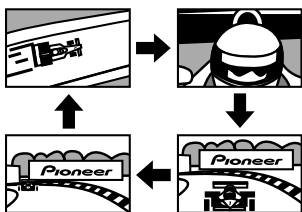
選ぶごとに、音声言語が切り替わります。



- **切替音声** を押して切り替えることもできます。
- DVDのパッケージについている **Ⓜ** マークの数字が、音声の収録数です。
- ディスクによっては、DVDに収録されているディスクメニューでしか切り替えることができない場合があります。
- DTS音声は、デジタル出力のみ対応しています。本機のデジタル出力を接続していない場合、DTS音声は出力されませんので、DTS以外の音声を選んでください。
- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、DVDに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

アングルの切り替え

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り替えることができます(マルチアングル)。



- マルチアングルが収録されている場面で操作します。マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。


1 操作タッチキー2 (→P39) のアングル切替を選ぶ

アングル選択マークが表示されている間は、アングル切り替えが行えます。



選ぶごとに、アングルが切り替わります。



- [決定]**を押して切り替えることもできます。
- DVDパッケージについている  マークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示の表示/非表示は、初期設定メニューの「マルチアングル」で行います。→「マルチアングル」(P49)

リターン再生

戻る位置の指定が収録されているディスクの場合、指定された位置まで戻って再生することができます。

1 操作タッチキー2 (→P39) のリターンを選ぶ



ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

DVDビデオの各種設定のしかた

リピート再生、音声出力の切り替えなど、AVメニューを表示してソースメニューから行う操作について説明します。



●ソースメニューの **DVD初期設定** については「DVDビデオの初期設定のしかた」(→P48)で説明しています。

AVメニューを表示する

基本操作以外の機能を使うには、AVメニューを表示させてから操作します。

1 **メニュー** を押す

AVメニュー画面が表示されます。

ソースメニューについて

ソースメニューの中から機能を選びます。



ソースメニューでの各種設定

リピート範囲の設定

リピートとは繰り返して再生する範囲を指定することです。例えば、リピートをCHAPTER REPEATにすると再生中のチャプターを繰り返し見ることができます。

1 **リピート** を選ぶ



選ぶごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

DISC REPEAT→**CHAPTER REPEAT**
→**TITLE REPEAT**→**DISC REPEAT**に戻る

DISC : 通常の再生状態です。再生
REPEAT 中のディスクを繰り返します。

CHAPTER : 再生中のチャプターを
REPEAT 繰り返します。

TITLE : 再生中のタイトルを繰り返
REPEAT します。



- 設定したリピート範囲は、ソースプレートに表示されます。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク)が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲をこえる操作(CHAPTER REPEAT中のCHAPTERの切り替えなど)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。
- オートプレイ (→P50) の設定がONのときは機能しません。
- 通常再生であるDISC REPEATはソースプレートに表示されません。

音声出力の切り替え

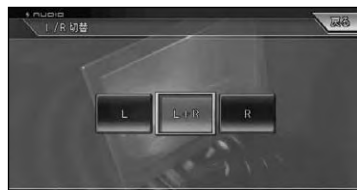
(AVIC-ZH990MD/ZH990/
ZH900MD/ZH900)

音声のリニアPCMのディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り替えます。

1 L/R切替 を選ぶ



2 設定項目を選ぶ



L : 左の音声を出力

R : 右の音声を出力

L+R : 左右両方の音声を出力

▼
選んだ側の音声を出力します。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D
V
D

ミュージック
サーバー

オプション
機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

DVDビデオの初期設定のしかた

DVD機能をあらかじめ使用する環境に合わせて設定しておきます。初期設定できる項目は、以下のとおりです。

- 基本字幕言語
- 基本音声言語
- メニュー言語
- アシスト字幕の表示／非表示
- アンクル選択マークの表示／非表示
- テレビアスペクト（画面の縦横比）
- 視聴制限（パレンタルロック）
- オートプレイのON/OFF

初期設定をする

1 AVメニューを表示する(→P46)

2 ソースメニューから **DVD初期設定** を選ぶ



3 各項目を選び、設定を行う



各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。

基本字幕

優先して表示させたい字幕の言語を設定することができます(マルチ言語字幕)。工場出荷時は「日本語」です。

日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、その他 から選びます。




- **その他** を選んだときは、「言語コード表」(→P156)より、4桁の言語コードを数字で入力します。
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている字幕言語が選ばれます。
- この設定にかかわらず、再生中に **削除字幕** を押して字幕言語を切り替えることができます。押すごとに字幕が切り替わりますが、初期設定には反映されません。
- ディスクによっては設定した基本字幕言語が優先されない場合があります。

基本音声

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます(マルチ音声)。工場出荷時は「日本語」です。

日本語、英語、フランス語、ドイツ語、
イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、
韓国語、その他 から選びます。



- **その他** を選んだときは、「言語コード表」(→P156)より、4桁の言語コードを数字で入力します。
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている音声言語が選ばれます。
- この設定にかかわらず、再生中に  を押して音声言語を切り替えることができます。押すたびに音声言語が切り替わりますが、初期設定には反映されません。

メニュー言語

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。工場出荷時は「日本語」です。

日本語、英語、フランス語、ドイツ語、
イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、
韓国語、その他 から選びます。



- **その他** を選んだときは、「言語コード表」(→P156)より、4桁の言語コードを数字で入力します。
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。

アシスト字幕

アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。ただし、アシスト字幕は、ディスクに収録されている場合のみ表示することができます。工場出荷時は「非表示」です。

表示 : アシスト字幕を表示する
非表示 : アシスト字幕を表示しない

マルチアングル

マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示/非表示を設定することができます。工場出荷時は「非表示」です。

表示 : アングルマークを表示する
非表示 : アングルマークを表示しない



- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像(マルチアングル)が収録されているディスクに対して有効です。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D
V
D

ミュージック
サーバー

オプション
機器

A
V
設定

システム設定

その他の機能

付録

テレビアスペクト

接続したテレビのアスペクト(画面の縦横比)を設定します。工場出荷時は「16:9」です

16:9 : ワイドモニター(16:9)使用時に選びます。16:9で収録された画像が16:9で表示されます。

レターボックス : ノーマルモニター(4:3)使用時に選びます。16:9で収録された画像の横幅を4:3モニターの横幅に合わせて16:9の比率で表示します。

パンスキャン : ノーマルモニター(4:3)使用時に選びます。16:9で収録された画像の縦幅を4:3モニターの縦幅に合わせて16:9の比率で表示します(左右にはみ出た映像は表示されません)。



- 通常は **16:9** に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。
- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、**パンスキャン** に設定してもレターボックスで再生されます。ディスクのパッケージなどで **16:9 PS** マークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

視聴制限

視聴制限レベルが設定されているディスクでは、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面にパスワードを設定して視聴制限をかけることができます(パレンタルロック)。

設定レベル : 内容

8 : ディスクを全て再生する

7~2 : 成人向けディスクの再生を禁止する(子供向けや一般向けディスクを再生する)

1 : 子供向けのディスクのみ再生する



- **視聴制限** を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されますので、希望の暗証番号を登録してください。以後、視聴制限されたディスクを再生するときや制限レベルを変更するときは、登録した暗証番号の入力が必要になります。

暗証番号を忘れたときは

暗証番号入力画面で **削除** に10回連続でタッチするか(●**削除**字幕)を10回連続で押すと、暗証番号が解除されます。

オートプレイ

DVDディスクを挿入したときに、メニューの若いタイトルから自動的に再生を開始するかどうかを設定します。工場出荷時は「OFF」です。

ON : 自動再生する

OFF : 自動再生しない



- オートプレイの設定をONにしても、ご使用されるディスクにより期待通りの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイをOFFにして再生してください。
- オートプレイの設定がONの時はリピート再生は機能しません。

ミュージックサーバー

ミュージックサーバーについて	52	マニュアルモードで再生する	67
ミュージックサーバーとは	52	マニュアルモードの操作画面について	68
録音できるメディアについて	52	再生曲が選択した曲調と合わないとき	68
ミュージックサーバーに録音する	53	通常のミュージックサーバー再生に戻る	68
録音についてのご注意	53	フィーリングプレイの設定	69
CD録音の制限について	53	フィーリングプレイ設定画面を表示する	69
タイトル表示について	53	フィーリングプレイ対象外設定	69
CDを自動的に録音する	54	オートモード設定	70
CDを手動で録音する	54	学習クリア	70
CDの1曲目だけを自動的に録音する	54	プレイリストやグループを作成する	71
CD以外のソースを録音する	55	ユーザーグループに	
録音設定	55	プレイリストを作成する	71
録音時間	55	カスタマイズグループに	
録音モード	56	プレイリストを作成する	72
無音検出	56	プレイリストやグループ、トラックを編集する	74
ミュージックサーバーの聴きかた	57	グループを編集する	74
グループ、プレイリスト、		グループの詳細情報を表示する	75
トラックについて	57	グループ内のプレイリストを消去する	75
再生する	57	グループ内のプレイリストの	
再生を一時停止する	58	再生順を変更する	76
詳細情報を表示する	58	カスタマイズグループを初期化する	76
いろいろな再生操作のしかた	59	プレイリストを編集する	77
AVメニューを表示する	59	プレイリストの詳細情報を表示する	78
ソースメニューについて	59	プレイリストのタイトルや	
ソースメニューでのいろいろな再生操作	59	よみを変更する	78
リピート再生	59	プレイリストの	
ランダム再生	60	アーティスト名を変更する	78
ダイジェストスキャン再生	60	プレイリストのジャンルを変更する	79
ヒットチャートプレイ	61	プレイリストに画像を設定する	79
ヒットチャートについて	61	ユーザープレイリストに	
ヒットチャート順に再生する		トラックを追加する	80
(ヒットチャートプレイ)	62	プレイリストからトラックを消去する	80
ヒットチャートの		ユーザープレイリストの	
通常操作画面について	63	トラック再生順を変更する	81
カウントダウンとカウントアップを		オリジナルプレイリストの	
切り替える	63	トラック情報を編集する	82
ヒットチャートプレイを中止して		タイトル情報を取得する	83
通常再生に戻す	63	タイトル情報について	83
チャート情報を更新する	64	取得できる情報	83
最新のヒットチャートを見る	64	NO TITLE表示について	83
リンクを付ける	65	タイトル情報を取得する	83
フィーリングプレイ	66	マイデータベースの作成	84
フィーリングプレイとは	66	メモリーカードから曲を読み込む	86
プレイモード選択画面を表示する	66	メモリーカードから曲を読み込む	86
オートモードで再生する	67		
オートモードの操作画面について	67		

ミュージックサーバーについて

ミュージックサーバーとは

音楽CDやラジオなどの音源を本機のハードディスクに録音しているいろいろな方法で再生できる機能です。ミュージックサーバーを楽しむには、まずCDなどから音源を録音することから始めます。



- ミュージックサーバーには、CD約200枚分の録音ができます。

録音できるメディアについて

録音方法と録音できるメディアおよびソースは次のとおりです。

ナビゲーション本体で録音する場合

●デジタル録音

- CD

●アナログ録音

AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/
ZH900 :

- テレビ、VTR、AM/FM、交通情報、MD (AVIC-ZH990MD/ZH900MDのみ)、マルチCD

AVIC-XH990/XH900 :

- テレビ、VTR

●PCからメモリーカード経由で転送^{*1}

- WMAファイルおよびMP3ファイル

※録音できないソース

- DVDビデオ、ROM (WMA/MP3)、EXT

※録音できないメディア

- CD-Rやメモリーカードに保存されているWMA/MP3ファイル^{*1}、コンバインドディスク、CDなどからデジタル録音した記録媒体

リビングキットで録音する場合

●アナログ録音

- AUX

●PCから直接HDDへ転送^{*1}

- WMAファイルおよびMP3ファイル

●PCからメモリーカード経由でHDDへ転送^{*1}

- WMAファイルおよびMP3ファイル



●AVIC-H990/H900の場合、組み合わせたテレビなどの音声は録音できません。

※WMA/MP3ファイルを記録した媒体 (CD-Rやメモリーカードなど) から、ミュージックサーバーに直接録音することはできません。但し、パソコンリンクソフト「ナビスタジオ」を使用することにより、パソコンからWMA/MP3ファイルの音楽データをHDDに直接転送したり、メモリーカード経由で転送する事ができます。

●パソコンリンクソフト「ナビスタジオ」は、弊社ホームページからダウンロードできます。

●VBR形式のWMAファイルは分秒がずれる場合があります。

ミュージックサーバーに録音する

音楽用CDなどの音楽を、本機のハードディスクに録音することができます。

録音についてのご注意

録音する前に必ずお読みください。

ご注意

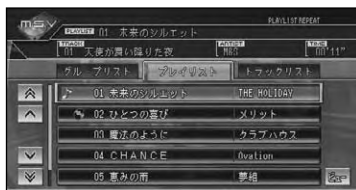
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音操作の確認や録音後に録音内容の確認を行ってください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- お客さまが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 高効率の圧縮方式を採用しているため、音源によっては原音と異なって聞こえる場合があります。またノイズが発生する可能性があります。ご容赦ください。

CD録音の制限について

- 標準的なCD(44.1kHz、16ビットステレオのPCMデジタル音声データ)以外のCDからは録音できません。
- コピーコントロールCDの録音については保証していません。
- CDなどをデジタル録音した記録媒体(CD-Rなど)から、ミュージックサーバーに録音(コピー)することはできません。また、ミュージックサーバーからメモリーカードにコピーすることもできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム(SCMS)の動きによるものです。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- ライブCDなどの曲間が途切れないCDを録音しているときにエンジンを停止したりプレイユニットを取り外したりして電源がOFFになった場合には、再生時に曲間で音が途切れる場合があります。

タイトル表示について

内蔵のGracenote音楽認識サービス(CDDDB)から情報が取得できた場合は、ソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。



- タイトル情報に複数の候補があった場合や、タイトル情報が収録されていなかった場合は、「No Title」と表示されます。その場合は、タイトル情報を取得しなおすと、正しいタイトルを表示させることができます場合があります。
→「タイトル情報を取得する」(P83)
- CD再生中画面やCD→MSV録音中画面に表示されるタイトル情報は、ミュージックサーバーと共通のタイトル情報を使用しています。ミュージックサーバーでタイトル情報を編集すると、それぞれの画面のタイトルにも反映されます。
- タイトル情報は、そのディスクの曲が1曲以上ミュージックサーバーに録音されていないと編集できません。
→「プレイリストを編集する」(P77)

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

CDを自動的に録音する

録音していないCDを再生すると、自動的にミュージックサーバー (MSV) への録音が始まります。

1 録音モードをオートにする

※出荷時はオートになっています。
→「録音設定」(P55)

2 録音したいCDを挿入する

自動的に録音が始まります。

CD→MSV (録音中画面)

録音表示 録音プログレスバー 録音済み曲数



再生中の曲



- 録音が完了した曲のトラックタイトルに色が付きます。現在再生中の曲には♪マークが付きます。
- 全ての曲の録音が完了するまで、選曲操作や特殊再生(ランダム再生など)はできません。選曲操作が必要な場合は、**●/削除 字幕** を押して録音を中止してください。
- 全ての曲の録音が終わるとCD再生画面に切り替わります。
- CDからの録音は4倍速で録音しています。録音中に再生している音はミュージックサーバーに録音された音になります。
- CD録音中に他のソースを楽しむことができます。他のソースに切り替えてもCDの録音は継続しています。
- 地図画面のときは、右上に録音中のマーク **R** が表示されます。

CDを手動で録音する

CDの中から、好みの曲だけを録音することができます。

1 録音モードをマニュアルにする

→「録音設定」(P55)

2 録音したい曲を再生する

3 ●/削除 字幕 を押す

「MANUAL」表示



再生中の曲は始めに戻って録音が始まります。録音が終了すると、CD再生画面に切り替わります。

CDの1曲目だけを自動的に録音する

CDの1曲目だけを録音することができます。シングルCDなどを連続して録音するときに便利なモードです。

1 録音モードをシングルにする

→「録音設定」(P55)

2 録音したいCDを挿入する

「SINGLE」表示



自動的に録音が始まります。1曲目の録音が終了すると、CD再生画面に切り替わります。

CD以外のソースを録音する

CD以外のソースを録音するときは、アナログ録音となります。



- アナログ録音の場合は、CDの録音と異なり、録音の開始と終了のタイミングは手動となります。
- 録音時間(→次項)で設定された時間が経過すると、録音は自動停止します。
- DVDビデオ、ROM(WMA/MP3)、EXTソースは録音できません。

1 録音するソースに切り替える

→「ソースを切り替える」(P20)

2 を押して録音を開始する

録音表示



録音が始まります。



- 実際に録音が始まるまで数秒かかります。
- アナログ録音の場合、1回の操作で1つのプレイリストが作成されます。
- 「録音の設定」の「無音検出」(→P56)を「ON」に設定しておく、無音箇所を検出すると自動的にトラックを区切り、以降を新しいトラックとして作成します。
- 無音検出により作成されるトラックは、最大で99個までです。

3 を押して録音を停止する

録音設定

CDの録音モード(自動録音、手動録音)やCD以外のソースの録音時間、無音検出などの録音設定を行います。



- 録音中は設定できません。

1 AVメニューを表示する(→P59)

2 システム設定 - 録音設定 を選ぶ



3 設定する



録音時間

CD以外のソースをアナログ録音する場合の設定をします。設定された時間になると、録音は自動停止します。工場出荷時は「70分」です。

- AVIC-H990/H900では、録音時間の設定はありません。

10分、30分、50分、70分、90分、160分、320分 から選択します。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

録音モード

CDの録音モードを設定します。
工場出荷時は「オート」です。

オート	: CDを再生すると、自動的に全ての曲を録音します
マニュアル	: 録音したい曲を手動で選び、録音します
シングル	: CDの1曲目だけを自動的に録音します

無音検出

MD、マルチCD、AUXソースのアナログ録音時に、2秒間の無音箇所が検出された時点でトラックを区切り、その箇所以降を新しいトラックとして作成します
工場出荷時は「ON」です。

ON	: 無音箇所を検出します
OFF	: 無音箇所を検出しません



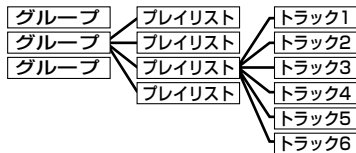
- 録音する曲によっては、曲の途中を終わりと判断したり、曲の終わりの判断ができない場合があります。

ミュージックサーバーの聴きかた

ハードディスクに録音した音楽は、ミュージックサーバーというソースで聴きます。

グループ、プレイリスト、トラックについて

ミュージックサーバーは、次のようにグループ、プレイリスト、トラックの3つの階層で構成されています。



グループには以下のようなものがあります。

オリジナルグループ : 録音した曲データそのものが格納されているグループです。CDを1枚録音すると1つのプレイリストが作成されます。

アーティストグループ : タイトル情報のアーティスト名別に自動分類されたプレイリストが格納されているグループです。

ユーザーグループ : ユーザーが好みに応じて作成したお好みの曲順プレイリストが格納されているグループです。

カスタマイズグループ1~5 : ユーザーが好みに応じて作成したお好みのプレイリストが格納されているグループです。

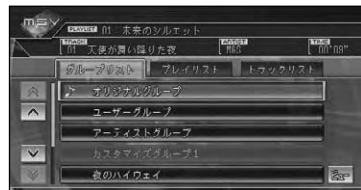
再生する

ミュージックサーバーに録音した曲などを再生します。

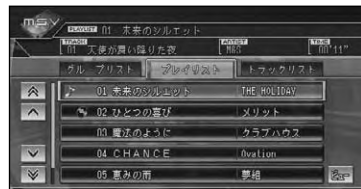
1 SOURCEを押して、ソースをミュージックサーバー(MSV)に切り替える

前回再生していたプレイリストから再生されます。

2 グループリストのタブを選び、再生したいグループを選ぶ



3 プレイリストまたはトラックリストのタブを選び、再生したいプレイリストやトラックを選ぶ



操作ボタンで選ぶ場合：

▲/▼ : プレイリストを順に送る

◀/▶ : トラックを順に送る

つづく→



- ◀/▶ を押し続けると、早戻し/早送りの動作となります。
- 再生中のグループ、プレイリスト、トラックには、項目名の頭に 🎵 マークが付きます。
- アナログ録音した曲のプレイリストおよびトラック名には 🎧 マーク、PCから転送した曲のプレイリストおよびトラック名には 🖥️ マークが付きます。PCから転送した曲のプレイリストおよびトラックは、デジタル録音中は再生できません。
- [SOURCE] を長く押しすと、ソースをOFFにすることができます (→P21)

詳細情報を表示する

現在再生中のグループやプレイリスト、トラックの詳細情報を表示することができます(詳細情報)。

1 各リストの再生中の項目を選ぶ

ポップアップが表示されます。

2 詳細情報/編集 を選ぶ

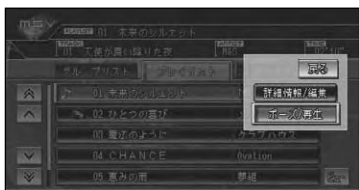


再生を一時停止する

1 各リストの再生中の項目を選ぶ

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポーズ/再生 を選ぶ



再生が一時停止します。

[ポーズ/再生] をもう一度選ぶと、再生を再開することができます。



詳細情報(タイトル、よみ、アーティスト、ジャンルなど)が表示されます。

[戻る] を選ぶと、元の画面に戻ることができます。



- **タイトル**、**よみ**、**アーティスト**、**ジャンル** などを選ぶとそれぞれの編集画面が表示され、編集することができます。→「プレイリストやグループ、トラックを編集する」(P74)
- 詳細情報表示画面内に **その他** がある場合は、選ぶことで他の情報も表示することができます。

いろいろな再生操作のしかた

リピート再生など、AVメニューから行う操作について説明します。

AVメニューを表示する

ミュージックサーバーのAVメニューを表示させます。

1 メニューを押す

AVメニューが表示されます。

ソースメニューについて

ソースメニューの中から機能を選びます。



ソースメニューでの いろいろな再生操作

ソースメニューから、いろいろな再生操作をすることができます。

リピート再生

リピートとは繰り返して聴く再生範囲を指定することです。例えば、リピートをトラックリピートにすると再生中のトラックを繰り返し聴くことができます。

1 リピートを選ぶ



選ぶごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

GROUP REPEAT→**TRACK REPEAT**→**PLAYLIST REPEAT**→**GROUP REPEAT**に戻る

GROUP REPEAT : 通常の再生状態です。再生中のグループを繰り返します。

TRACK REPEAT : 再生中のトラックを繰り返します。

PLAYLIST REPEAT : 再生中のプレイリストを繰り返します。



- ヒットチャート再生中は、ヒットチャートをプレイリストとしたリピート再生をします。
- リピート再生中にリピートの範囲を越える操作を行うと、リピート再生が中止される場合があります。
- TRACKリピート再生中に、ランダム再生、ダイジェストスキップ再生を行うと、リピート範囲はPLAYLIST REPEATに切り替わります。
- 通常再生であるGROUP REPEATは、ソースプレートに表示されません。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

ランダム再生

選んだリピートの範囲内(→P59)で、トラックの再生順を変えて再生することができます。

1 ランダムを選ぶ



選ぶごとに、ランダム再生のON/OFFが切り替わります。



- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はPLAYLIST REPEATに自動的に切り替わります。
- ヒットチャート再生中はヒットチャートをプレイリストとしたランダム再生をします。
- ランダム再生中にその他の再生操作(リピート再生、スキャン再生など)やリピートの範囲を越える操作(プレイリストの切り替えなど)を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

ダイジェストスキャン再生

選んだリピートの範囲(→P59)で、各トラックや各プレイリストの先頭曲のハイライトの部分を約15秒間ずつ聞くことができます。



- ハイライト部分は、本機の曲調・ハイライト検出処理機能で検出します。検出できなかったトラックに関しては、演奏開始部分約15秒間を再生します。
- VBR方式のファイルに対するダイジェストスキャンは先頭からの再生になります。

1 ダイジェストを選ぶ



選ぶごとに、ダイジェストスキャンのON/OFFが切り替わります。



- 聴きたいトラックまたはプレイリストが再生されたら、もう一度**ダイジェスト**を選びます。
- ダイジェストスキャン再生を始めたトラックまで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- ヒットチャート再生中はヒットチャートをプレイリストとしたダイジェストスキャン再生をします。
- ダイジェストスキャン再生中にその他の再生(リピート再生、ランダム再生など)やリピートの範囲を越える操作(プレイリストの切り替えなど)を行うと、ダイジェストスキャン再生が中止される場合があります。

ヒットチャートプレイ

ヒットチャートについて

ヒットチャートプレイとは、お客様が録音した曲をヒットチャート順に再生する機能です。また、画面でチャート情報を見ることもできます。

チャート情報は、本機のハードディスクまたはインターネットから取得することができます。

お知らせ

- ヒットチャートプレイの通信サービスは、2009年6月30日をもって終了しました。最新のヒットチャート情報をインターネットから取得することはできません。

ヒットチャートプレイ

年別のヒット曲 : 過去10年間までの最大100位までの年間チャート、タイアップ(テレビ、CMなど)別チャート

最近のヒット曲 : 3ヶ月前までの発売日順のリスト(100曲まで)

ヒットチャート表示

最新週間チャート : 3週間前までの30位

最新月間チャート : 3ヶ月前までの50位



- ヒットチャートはオリコンヒットチャートをもとに作成されています。
- インターネットから取得したヒットチャート情報(年間チャート10年分、最近のヒット曲3ヶ月分、月間チャート3ヶ月分、週間チャート3週間分)はハードディスク内に保存され、古い情報は削除されます。
- インターネットから取得できるのは、チャート情報のみで、曲そのもののダウンロードはできません。
- ヒットチャートプレイは、タイトル情報取得で自動的にリンクされた曲のみ有効です。しかし、自動的にリンクされなかった場合は、自分でリンクを付けることができます。→「リンクを付ける」(P65)
- タイトルがついていない曲はヒットチャートプレイできません。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

ヒットチャート順に再生する (ヒットチャートプレイ)

選んだヒットチャート順にしたがってミュージックサーバー内の曲が再生されます。

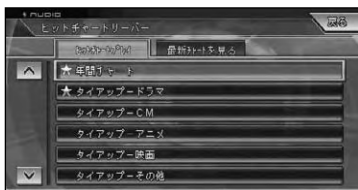
1 AVメニューを表示する(→P59)

2 ヒットチャートプレイを選ぶ



- メモ
- ヒットチャート再生を解除 (通常再生) するには、ソースメニューの **通常再生** を選びます (→P59)。

3 ★マークのついている項目を選ぶ



- メモ
- チャート内に録音済み(再生可能)の曲がある場合のみ ★マークが表示されます。

4 ★マークのついているチャートを選ぶ



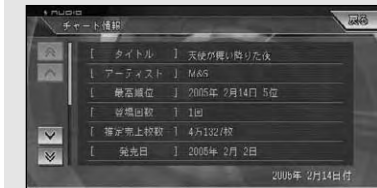
- メモ
- 走行中は、選んだヒットチャートで再生が始まり、通常操作画面が表示されます。

5 > を選び、このチャートを再生を選ぶ



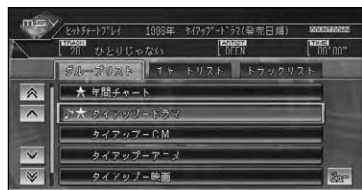
選んだチャートをカウントダウンしながら再生します。

- メモ
- ★マークが表示されている曲を選び、**この曲から再生** を選ぶと、選んだ曲からチャートをカウントダウンしながら再生していきます。
 - リスト中の曲を選び、**チャート情報** または **ディスク情報** を選ぶと、選んだ曲の情報を表示させることができます。



ヒットチャートの 通常操作画面について

ヒットチャートの通常操作画面は、チャート種別、順位(「最近のヒット曲」、タイアップチャートは除く)、トラックタイトル、アーティスト名、チャート再生順を表示します。



再生できる曲がある場合は、★が表示されます。通常ミュージックサーバー同様リストから選曲できます。

操作ボタンで選ぶ場合：

▲/▼：次の年/前の年のヒットチャートを選ぶ

◀/▶：リスト内で前の曲/次の曲を選ぶ



- 自動でリンク付けされたタイトルには[✕マーク]、マニュアルでリンク付けしたタイトルには[★マーク]が表示されます。

カウントダウンとカウントアップ を切り替える

ヒットチャートプレイ中に、チャートに沿ったカウントダウン(下位から上位へ)、カウントアップ(上位から下位へ)を切り替えることができます。

1 ヒットチャート再生中に AVメニューを表示する(→P59)

2 カウントアップ または カウントダウン を選ぶ



ヒットチャートプレイを 中止して通常再生に戻る

ヒットチャートプレイを止めて通常のミュージックサーバーに戻します。

1 ヒットチャート再生中に AVメニューを表示する(→P59)

2 通常再生 を選ぶ



▼
通常再生に戻ります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージック
サーバー

オプション
機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

チャート情報を更新する

ヒットチャートの情報を更新します。最近発売されたCDなどをヒットチャートプレイで再生するには、チャート情報を更新してください。



• ヒットチャートプレイの通信サービスは、2009年6月30日をもって終了しました。最新のヒットチャート情報をインターネットから取得することはできません。

1 ヒットチャートのトラックリストを表示する(→P63)

2 > を選ぶ



3 チャート情報を更新 を選ぶ



通信が開始されます。

ダウンロードが完了すると、最新チャートが表示されます。

最新のヒットチャートを見る

インターネットから最新の週間、月間ヒットチャートをダウンロードして見ることができます。



• ヒットチャートプレイの通信サービスは、2009年6月30日をもって終了しました。最新のヒットチャート情報をインターネットから取得することはできません。

1 AVメニューを表示する(→P59)

2 ヒットチャートプレイ を選ぶ

3 最新チャートを見る を選ぶ



4 週間チャートを見る または 月間チャートを見る を選ぶ



5 はい を選ぶ



通信が開始されます。

ダウンロードが完了すると、最新チャートが表示されます。

6 見たい週や月を選ぶ



チャートが表示されます。



リンクを付ける

ヒットチャートリンク情報はタイトル情報と一緒にダウンロードされますが、発売直後のCDなどは、リンク情報が更新されていない場合があります。そのような場合は、タイトル情報とのリンクをマニュアルで行います。

1 リンク付けたい曲をリスト表示する

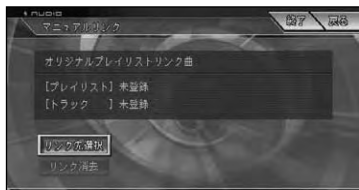
2 曲名を選ぶ



3 マニュアルリンク を選ぶ

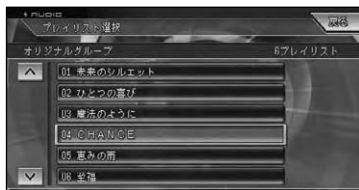


4 リンク先選択 を選ぶ

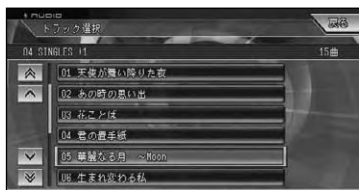


•リンク設定後に**リンク消去**を選ぶと、リンクを解除できます。

5 リンクする曲のプレイリストを選ぶ



6 リンクする曲を選ぶ



リンク付けが完了すると、手順**4**の画面に戻ります。**終了**を選ぶか**戻る**を押すとリンク付けを終了します。



•1つのトラックに対して最大5件までのチャートをリンクさせることができます。
•この操作でリンク付けしたトラックが優先して再生されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージック
サーバー

オプション
機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

フィーリングプレイ

フィーリングプレイとは

録音時に抽出した曲の特徴（明るい、ノリがいい、静かな、かなしい、癒される）から、周りの環境（走行状態・天気・時間）に合った曲を本機が自動的に選曲したり、お客様が曲の特徴を選び、それに合った選曲で再生することができる機能です。また、最後まで聴いた曲を学習して、よりお客様好みの選曲をするよう成長していきます。なお、以下の場合にはフィーリングプレイの選曲対象外となります。

- 音楽でないもの
- 1分以下の楽曲
- アナログ録音（→P69）されたもの
- パソコンリンクソフト「ナビスタジオ」で、曲調検出をOFFにして転送したWMA/MP3ファイル



- フィーリングプレイ機能は、ポップスやロックなどの音楽に調節されています。
- フィーリングプレイで再生したくない場合は、対象外設定を行うことができます。（→P69）
- フィーリングプレイを解除（通常再生）するには、ソースメニューの**通常再生**を選びます。（→P59）
- 表示されるトラックリストは、これまでの学習内容（曲を最後まで聴く/UNFIT）を考慮した上で、曲調にマッチする曲をランダムに並べたものです。
- オートモード時の「天気」は、ウェザーライブ（→『ナビゲーションブック』）による天候情報が取得されているときに考慮されます。
- 再生中の曲調に応じて背景が変化します。

プレイモード選択画面を表示する

1 AVメニューを表示する（→P59）

2 フィーリングプレイを選ぶ



プレイモード選択画面が表示されます。



- フィーリングプレイの再生では、リピート再生やダイジェストスキャン再生を行うことはできません。

オートモードで再生する

走行状態や天気、現在の時間を考慮して、現在のシチュエーションに合った曲を自動的に選曲し再生します。
→「オートモード設定」(P70)

1 プレイモード選択画面を表示する (→P66)

2 オートモードを選ぶ



オートモードの操作画面が表示されます。



- 現在のシチュエーションに該当する曲がない場合は、フィーリングプレイ対象の曲をランダムに再生します。
- 再生される曲はマニュアルモードにおける学習を反映したものです。

オートモードの操作画面について

オートモードの操作画面には、走行状態や天気、時間などで選曲された曲のリストが表示されます。



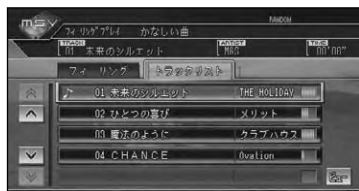
現在再生中の曲には♪マークが表示されます。

マニュアルモードで再生する

フィーリング(明るい、ノリがいい…)からお好みの曲調を選ぶと、それに合った曲を自動的に選曲し再生します。
マニュアルモードでの再生操作は、基本的にミュージックサーバーと同様です (→P57)。選べるプレイリストがフィーリングリストになります。

1 プレイモード選択画面を表示する (→P66)

2 聴きたい曲調を選ぶ



選んだ曲調の曲が再生され、マニュアルモード操作画面が表示されます。

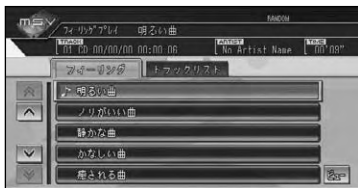


- 選んだ曲調に該当する曲がないときは、メッセージが表示されます。
- AVメニューから「ランダム」を選ぶと、再生順を曲調にマッチする曲順に切り替えることができます。

マニュアルモードの 操作画面について

フィーリングプレイの再生画面は、フィーリングリストとトラックリストの表示があります。

1 フィーリングリスト



リストには本機で選択できるジャンル(曲調)の名前が表示されます。

現在再生中の曲調には、♪が表示されます。表示されている曲調を選択すると、その曲調にマッチした曲が選択されます。

2 トラックリスト



選曲した曲の情報(タイトル、アーティスト名)がリストで表示されます。

現在再生中のトラックには、♪が表示されます。

選曲した曲の曲調との一致度合いが右側のバーに表示されます。

トラックリストから選曲した場合は、その曲からリスト順に再生されます。

通常のミュージックサーバー同様リストから選曲できます。

操作ボタンで選ぶ場合：

◀/▶：リスト内で前の曲/次の曲を選ぶ

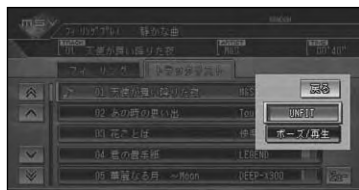
再生曲が選択した曲調と 合わないとき

再生している曲が選択した曲調と合わないときは、次の操作をすることにより本機に学習させることができます。

1 トラックリストを表示し再生中のトラックを選ぶ



2 UNFIT を選ぶ



再生している曲が選択した曲調と合わない判断し、次回以降のトラックリスト作成に反映します。

再生は次のトラックに切り替わります。

通常のミュージックサーバー 再生に戻る

フィーリングプレイを止めて通常のミュージックサーバーに戻るには、以下のように操作します。

1 AVメニューを表示する(→P59)

2 通常再生 を選ぶ

通常再生に戻ります。

フィーリングプレイの設定

フィーリングプレイで再生したくないプレイリストがある場合、そのプレイリストをフィーリングプレイの対象外として設定することができます。また、オートモードの周りの環境に対する曲調を変更したり、学習値をクリアすることもできます。

フィーリングプレイ設定画面を表示する

1 プレイモード選択画面を表示する(→P66)

2 設定を選ぶ



フィーリングプレイ設定画面が表示されます。

フィーリングプレイ対象外設定

プレイリストをフィーリングプレイ対象から外すことができます。

1 フィーリングプレイ対象外設定を選ぶ



2 リストからプレイリストを選ぶ



選ばれたプレイリストには (禁止マーク) が付き、フィーリングプレイでは再生できなくなります。



- もう一度 (禁止マーク) の付いたプレイリストを選ぶと、設定した対象外設定は解除されます (禁止マークが消えます)。
- アナログ録音されたプレイリストは選ぶことはできません。
- 対象外の設定は、次にフィーリングプレイで再生するときから有効となります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

オートモード設定

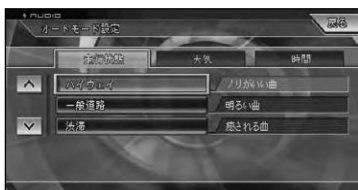
1 オートモード設定を選ぶ



2 設定を選ぶ



3 変更したい項目を選ぶ



4 変更する曲調を選ぶ



・「走行状態」・「天気」・「時間」に適した曲調を設定できます。

•手順2で**初期化**を選ぶと、設定した曲調を工場出荷時の状態に戻すことができます。工場出荷時の状態は以下のとおりです。

走行状態	ハイウェイ	: ノリがいい曲
	一般道路	: 明るい曲
	渋滞	: 癒される曲
天気	晴れ	: ノリがいい曲
	曇り	: 明るい曲
	雨	: 静かな曲
	雪	: かなしい曲
時間	早朝	: 癒される曲
	朝	: 明るい曲
	昼	: ノリがいい曲
	夜	: 静かな曲
	深夜	: かなしい曲

学習クリア

本機がマニュアルモード(→P67)により学習してきた学習値をクリアします。

1 学習クリアを選ぶ



2 はいを選ぶか(決定)を押す



学習値をクリアします。

プレイリストやグループを作成する

プレイリストやグループを作成しておく、いつでも呼び出して指定した順番で再生することができます。

ユーザーグループにプレイリストを作成する

ミュージックサーバーの曲を選んでプレイリストを作成しておく、いつでも呼び出して指定した順番で曲を再生することができます。作成したプレイリストはユーザーグループに保存されます。

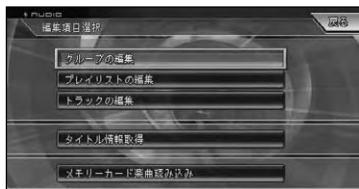
- プレイリストは99個まで作成できます。
- 1つのプレイリストには、99曲(トラック)まで登録できます。

1 AVメニューを表示する(→P59)

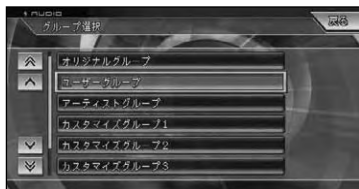
2 編集 を選ぶ



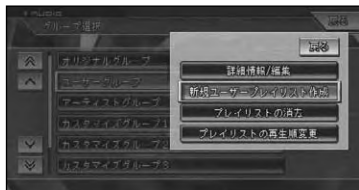
3 グループの編集 を選ぶ



4 ユーザーグループ を選ぶ



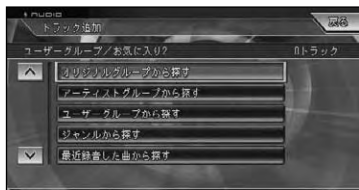
5 新規ユーザープレイリスト作成 を選ぶ



6 タイトルを入力し、入力終了 を選ぶ



7 トラックを探す方法を選ぶ



- 最近録音した曲以外を選んだ場合は、プレイリストやジャンルを順に選びます。

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機能

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

8 登録したいトラックを選ぶ

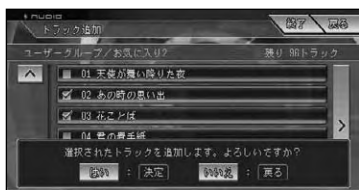


他のリストからもトラックを選びたい場合は、**戻る** を選んで手順 **7** に戻り、他のリストからトラックを選びます。



- **>** を選んでサブメニューを表示すると、**全選択** が表示され全ての曲を選択することができます。ただしリストに100曲以上ある場合は、選択できません。選択を解除するには、**全解除** または解除したい曲を選びます。

9 終了 - はい を選ぶ



▼
ユーザープレイリストが作成され、ユーザーグループに登録されます。

カスタマイズグループにプレイリストを作成する

ミュージックサーバー内のプレイリストを選んでグループを作成しておく、いつでも呼び出して指定した順番でプレイリストを再生することができます。作成したグループには好きな名前が付けられます。



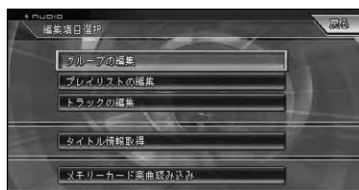
- グループは5個まで作成できます。
- 1つのグループには、99個のプレイリストまで登録できます。

1 AVメニューを表示する(→P59)

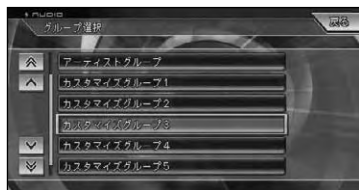
2 編集 を選ぶ



3 グループの編集 を選ぶ



4 カスタマイズグループ1~5のいずれかを選ぶ

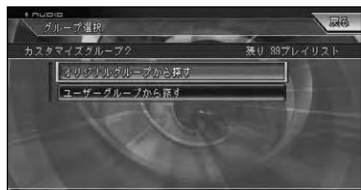


- カスタマイズグループ名(カスタマイズグループ1~5)は、他の名称に変更することができます。→「グループを編集する」(P74)

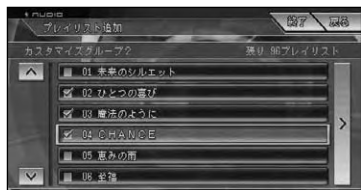
5 プレイリストの追加 を選ぶ



6 プレイリストを探すグループを選ぶ



7 登録したいプレイリストを選ぶ

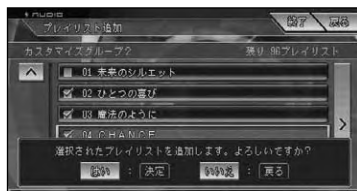


他のグループからもプレイリストを選びたい場合は、**戻る** を選んで手順 **5** まで戻り、他のグループからプレイリストを選びます。



- ▶ を選んでサブメニューを表示すると、**全選択** が表示され全てのプレイリストを選択することができます。ただしリストにプレイリストが100以上ある場合は、選択できません。選択を解除するには、**全解除** または解除したい曲を選びます。

8 終了 — はい を選ぶ



選んだプレイリストが追加されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージック
サーバー

オプション
機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

プレイリストやグループ、トラックを編集する

ミュージックサーバーに録音した曲やユーザーが作成したグループやプレイリストの編集や削除をすることができます。

グループを編集する

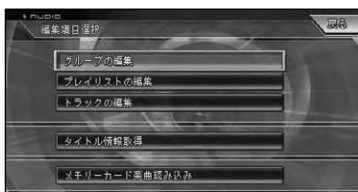
グループ内のプレイリストの消去や再生順の変更などを行います。

1 AVメニューを表示する(→P59)

2 編集 を選ぶ



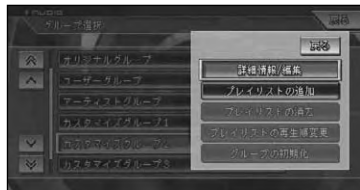
3 グループの編集 を選ぶ



4 編集するグループを選ぶ (→P72)



5 編集したい内容を選ぶ



詳細情報/編集 :

グループの詳細情報の表示と名称やよみの編集ができます (→P75)

新規ユーザープレイリスト作成 :

ユーザーグループにユーザープレイリストを新規作成します (→P71)

プレイリストの追加 :

カスタマイズグループに、プレイリストを追加します (→P72)

プレイリストの消去 :

プレイリストを消去します (→P75)

プレイリストの再生順変更 :

プレイリストの再生順を変更します (→P76)

グループの初期化 :

カスタマイズグループのグループを初期化します (→P76)



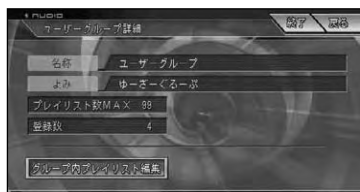
• 選択したグループによって表示される内容は異なります。

グループの詳細情報を表示する

グループの詳細情報を表示します。
カスタマイズグループを選んだときは、
名称とよみの変更ができます。

1 P74手順5で 詳細情報/編集 を選ぶ

2 詳細情報を確認する



グループ内プレイリスト編集 :

グループ内のプレイリストの編集ができます。(→P77)



•カスタマイズグループを選んだときは、**名称** または **よみ** を選ぶとそれぞれの内容を編集することができます。「よみ」は音声操作で再生するグループを呼び出すときに使われます。

グループ内のプレイリストを消去する

オリジナル、ユーザー、カスタマイズの各グループに登録されているプレイリストを消去します。

消去するプレイリストの種類により、消去されるデータが異なります。

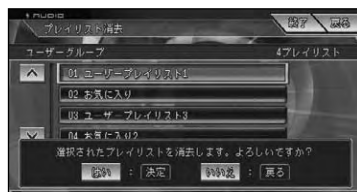
オリジナル : ユーザーが録音した曲グループのデータがプレイリストごプレイリストと消去されます。

ユーザー : ユーザーが作成した曲順グループのデータがプレイリストごプレイリストと消去されます。

カスタマイズ : ユーザーが作成したプレイリスト順データがプレイリストごと消去されます。

1 P74手順5で プレイリストの消去 を選ぶ

2 消去するプレイリストを選び、はい を選ぶ



•オリジナルグループのプレイリストを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したトラックおよびプレイリストがユーザーグループおよびカスタマイズグループ内で登録されていた場合は、そのトラックおよびプレイリストも同時に消去されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション
機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

グループ内のプレイリストの再生順を変更する

オリジナル、ユーザー、カスタマイズの各グループに登録されているプレイリストの再生順を変更します。



- アーティストグループは再生順を変更できません。

カスタマイズグループを初期化する

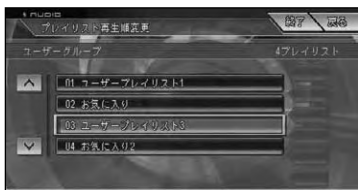
お好みで作成したカスタマイズグループは、初期化して全てのプレイリストを消去できます。



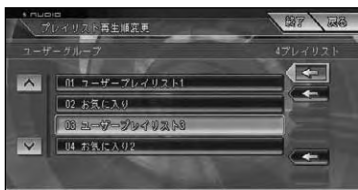
- カスタマイズグループ以外は初期化できません。

1 P74手順5でプレイリストの再生順変更を選ぶ

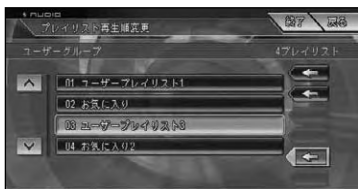
2 順番を変更したいプレイリストを選ぶ



3 移動先 (←) を選ぶ



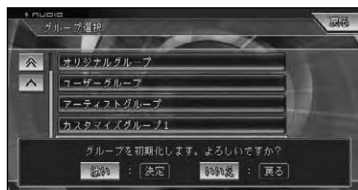
4 編集を終了する場合は 終了 を選ぶ



- 戻る を選ぶと引き続き他のプレイリストの情報を編集することができます。

1 P74手順5でグループ初期化を選ぶ

2 初期化するカスタマイズグループを選び、はい を選ぶ



プレイリストを編集する

各グループに登録されているプレイリストの情報を編集します。また、プレイリストの再生順を変更したり、トラックの追加・消去を行うことができます。



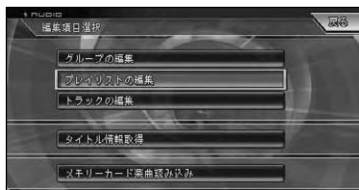
•カスタマイズグループ内のプレイリストは編集できません。他のグループを選んでプレイリストを変更した場合、その変更内容が反映されます。

1 AVメニューを表示する(→P59)

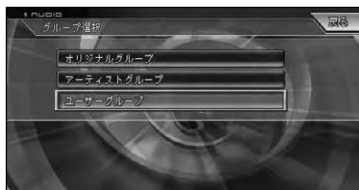
2 編集 を選ぶ



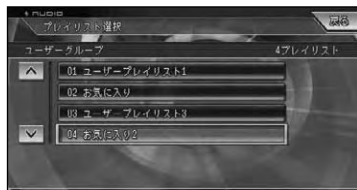
3 プレイリストの編集 を選ぶ



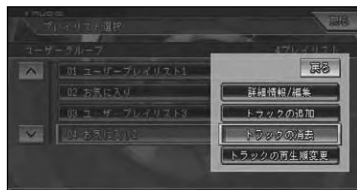
4 編集したいプレイリストが登録されているグループを選ぶ



5 編集するプレイリストを選ぶ



6 編集する内容を選ぶ



詳細情報/編集 :

ユーザーグループの詳細情報を表示したり、タイトルなどの編集ができます (→P78)

トラックの追加 :

ユーザーグループにトラックを追加します (→P80)

トラックの消去 :

オリジナルグループとユーザーグループのトラックを消去します (→P80)

トラックの再生順変更 :

ユーザーグループのトラックの再生順を変更します (→P81)



•選択したグループによって表示される内容は異なります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

プレイリストの詳細情報を表示する

プレイリストの詳細情報を表示します。この画面からよみなどの編集をすることができます。

1 P77手順6で 詳細情報/編集を選ぶ

プレイリスト詳細情報画面が表示されます。



タイトル、よみ :
プレイリストのタイトルやよみを変更できます (→次項)

アーティスト :
プレイリストのアーティスト名を変更できます (→次々項)

ジャンル :
プレイリストのジャンル変更ができます (→P79)

プレイリスト内トラック編集 :
オリジナルプレイリストのトラック情報を編集できます (→P82)

消去 :
プレイリストを消去できます (→P75)

画像 :
プレイリストの背景画像を設定できます (→P79)

その他 :
オリジナルプレイリストの「録音時間」、「録音日」、「曲数」、「発売年」が表示されます

メモ •各項目の編集後は、プレイリスト詳細画面に戻ります。終了するときは、**終了**を選びます。

プレイリストのタイトルやよみを変更する

プレイリストのタイトルとよみを変更します。タイトルは表示用に、よみは音声操作に使用します。ここで変更したタイトルはCDやミュージックサーバーの再生画面に表示されます。

メモ •アーティストグループのプレイリストは、「よみ」のみ変更できます。

1 プレイリスト詳細情報画面で タイトル または よみ を選ぶ (→前項)

2 文字を入力して 入力終了 を選ぶ

プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

プレイリストのアーティスト名を変更する

オリジナルグループまたはユーザーグループ内のプレイリストのアーティスト名を変更します。

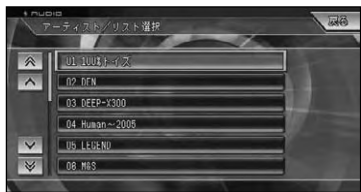
1 プレイリスト詳細情報画面で アーティスト を選ぶ (→前々項)

2 リスト選択 を選ぶ

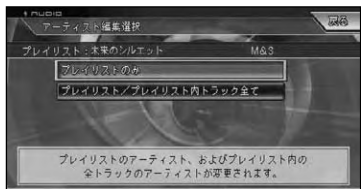


メモ • **マニュアル** を選ぶと文字入力画面になり、文字が入力できます。
• **消去** を選ぶとアーティスト選択画面が表示され、消去するアーティストを選択できます。他のプレイリストにも登録されているアーティストは消去できません。

3 変更するアーティストを選ぶ



4 編集方法を選ぶ (オリジナルプレイリスト選択時のみ)



プレイリストのみ :

プレイリストに表示されるアーティスト名のみを変更します

プレイリスト/プレイリスト内トラック全て :

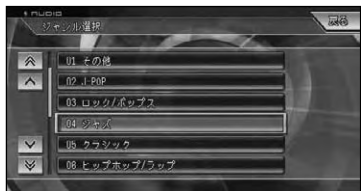
プレイリストとプレイリスト内の全トラックで表示されるアーティスト名を変更します

▼
プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

プレイリストのジャンルを変更する

1 プレイリスト詳細情報画面(→P78)でジャンルを選ぶ

2 ジャンルを選ぶ



▼
プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

プレイリストに画像を設定する

ミュージックサーバー再生時に、オーディオ画面の背景に画像を表示させることができます(プレイリスト画像リンク)。デジタルカメラなどで撮影した画像を使用することもできます。



- デジタルカメラなどで撮影した画像を使用するには、画像が保存されているCF型メモリーカードをナビゲーション本体にセットしてください。
- 設定できる画像の形式は、デジタルカメラで対応している一般的なJPEG形式のみです。プログレッシブJPEG形式の画像は使用できません。
- ファイル名が長いと画像リストにファイル名が表示されない場合があります。
- 画像リストに表示される画像は、最大200枚です(ハードディスク内の画像ファイル含む)。表示されないときは、メモリーカード内の画像ファイルを削除してください。
- メモリーカード内のフォルダ(ディレクトリ)は8階層(ルートディレクトリを含む)まで認識できます。

1 メモリーカードをセットする(→『スタートブック』)

2 プレイリスト詳細情報画面(→P78)で画像を選ぶ

3 リストから好みの画像を選ぶ



▼
プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

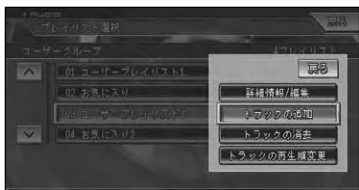
ユーザープレイリストに トラックを追加する

ユーザープレイリストには、トラックを追加することができます。



- オリジナルグループ、アーティストグループのプレイリストには追加できません。

1 P77手順6でトラックの追加 を選ぶ



以降は、「ユーザーグループにプレイリストを作成する」(P71)の手順 7以降と同様です。

プレイリストからトラックを 消去する

オリジナルグループ、ユーザーグループのプレイリスト内のトラックを消去します。消去するプレイリストの種類により、消去されるデータが異なります。

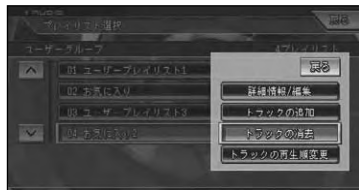
オリジナルグループの : ユーザーが録音した曲
トラック データが消去されます

ユーザーグループの : ユーザーが作成した曲順
トラック データが消去されます

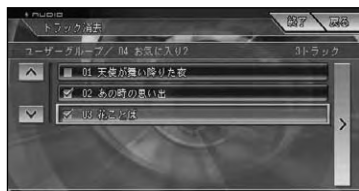


- オリジナルプレイリストのトラックを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したトラックがユーザーグループおよびカスタマイズグループ内で登録されていた場合は、そのトラックも同時に消去されます。
- アーティストグループ、カスタマイズグループからプレイリスト内のトラックは消去できません。

1 P77手順6でトラックの消去 を選ぶ

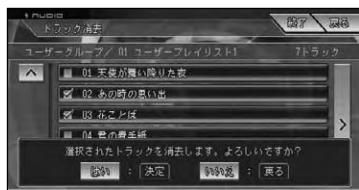


2 消去したいトラックを選ぶ



- > を選んでサブメニューを表示すると、**全選択**が表示され全ての曲を選択することができます。選択を解除するには、**全解除** または解除したい曲を選びます。

3 終了—はい—を選ぶ



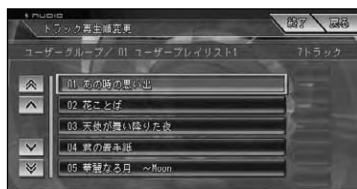
ユーザープレイリストの トラック再生順を変更する

ユーザープレイリスト内のトラックの再生順を変更します。



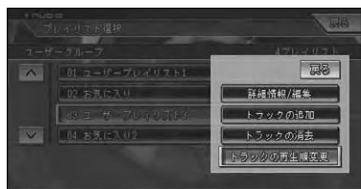
- オリジナルプレイリスト、アーティストプレイリストは、再生順を変更することはできません。

4 編集を終了する場合は **終了** を選ぶ



1 P77手順6で

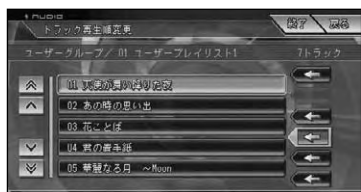
トラックの再生順変更を選ぶ



2 順番を変更したいトラックを 選ぶ



3 移動先(←)を選ぶ



はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージック
サーバー

オプション
機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

オリジナルプレイリストのトラック情報を編集する

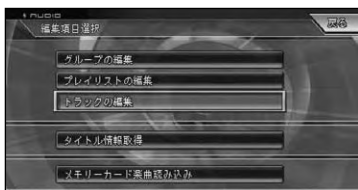
オリジナルプレイリストのトラックの詳細情報を編集します。オリジナルプレイリストのトラックの内容を編集すると、ユーザープレイリストのトラックの内容も変更されます。

1 AVメニューを表示する(→P59)

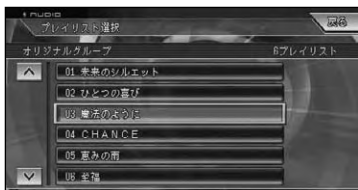
2 編集 を選ぶ



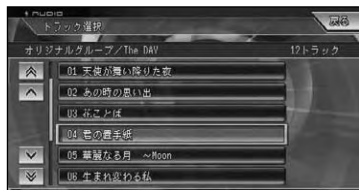
3 トラックの編集 を選ぶ



4 編集したいトラックが登録されているプレイリストを選ぶ



5 編集するトラックを選ぶ



メモ
•プレイリスト詳細情報画面(→P78)から「プレイリスト内トラック編集」を選んで、この画面を表示することもできます。

6 編集したい項目を選ぶ

各項目の編集操作は、「プレイリストを編集する」(P77)とほぼ同様ですので、参照してください。

タイトル、よみ：

トラックのタイトルやよみを変更できます(→P78)

アーティスト：

トラックのアーティスト名を変更できます(→P78)

ジャンル：

トラックのジャンル変更ができます(→P79)

プレイリスト情報取得：

タイトル情報を取得できます(→P83)

消去：

編集中のトラックを消去できます

その他：

トラックの「録音時間」、「録音日」、「音楽ソース」、「録音ビットレート」、「コンテンツID」が表示されます

タイトル情報を取得する

ハードディスク内のGracenote音楽認識サービス(CDDDB)にタイトル情報が見つからなかったときは、インターネットやテキストファイルからタイトル情報を取得することができます。

タイトル情報について

取得したタイトル情報は、CDやミュージックサーバーの再生画面などに表示されます。

取得できる情報

CDまたは曲によっては取得できない情報もあります。

- アルバムタイトル
- アルバムタイトルのよみ
- アルバムのアーティスト
- アルバムのジャンル
- アルバムの発売年
- トラックタイトル
- トラックタイトルのよみ
- トラックのアーティスト
- トラックのジャンル



- タイトル情報は、まずハードディスクから探し、見つからないときは自動的に通信で探します。
- インターネットから取得したタイトル情報はハードディスクに保存されます。
- 通信で探すには、本機またはリビングキットに通信機器が接続されており、インターネットに接続可能な状態である必要があります。(→『ナビゲーションブック』)

NO TITLE 表示について

CDやミュージックサーバーの再生画面に「NO TITLE」と表示されたときは、次のことが考えられます。

- タイトル情報が見つからなかった
 - タイトル情報が複数候補あった
- タイトル情報が複数候補あった場合は、タイトル情報の取得を行うと、複数のタイトルの中から選択することができます。

タイトル情報を取得する

タイトル情報の取得は、まず本機のGracenote音楽認識サービス(CDDDB)から検索され、該当する情報がなかった場合は、自動的にインターネットのGracenote音楽認識サービス(CDDDB)に検索しに行きます。また、メモリーカードからタイトル情報を取得することもできます(マイデータベース)。



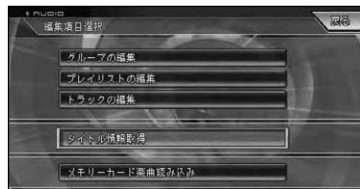
- 通信で探すには、本機またはリビングキットに通信機器が接続されており、インターネットに接続可能な状態である必要があります。(→『ナビゲーションブック』)
- プレイリスト詳細情報画面(→P78)やトラック詳細情報画面(→P82)の**プレイリスト情報取得**を選んで情報を取得することもできます。

1 AVメニューを表示する(→P59)

2 編集 を選ぶ



3 タイトル情報取得 を選ぶ



つづく→

4 情報を取得するプレイリストを選ぶ



自動的に情報の検索が開始されます。



- タイトル情報は、まず本機内蔵のハードディスク内から探し、見つからなかった場合は自動的に通信で探していきます。
- タイトルが取得できた場合は、取得情報表示画面が表示されます。

5 タイトルを選ぶ



- ハードディスクからの取得情報表示画面でリスト内にタイトル情報が見当たらない場合は、> を選んでサブメニューから **通信で取得** を選ぶと、通信でタイトル情報を取得することができます。
- メモリーカード内にマイデータベース(→次項)がある場合は、タイトル候補の選択画面から曲数が一致しているタイトルを選ぶことができます。テキストファイルのタイトルは頭に [] が付きます。
- タイトル候補は、メモリーカード内のマイデータベースのタイトルを含め、最大105タイトルを表示できます。

6 終了を選ぶ



- 通信で情報を取得した場合、通信の状態および検索サーバの状況によっては情報の取得に失敗することがあります。

マイデータベースの作成

タイトル情報が見つからなかった場合、お客様がパソコンで作成したタイトル情報(マイデータベース)をメモリーカード経由で取り込んで使用することができます。作成するファイル形式は、テキスト方式です。



- パソコンリンクソフト「ナビスタジオ」を使うと、テキストエディターを使わずに簡単にマイデータベースを作成することができます。

■ CDタイトル情報

テキストエディターを使用する場合は、以下の形式でテキストを入力します。
#PLAYLIST [TAB] 曲数 [TAB] タイトル [TAB] タイトルよみ [TAB] アーティスト [TAB] ジャンルコード [TAB] 発売年 [TAB] アーティストよみ [改行]



項目	入力形式
曲数	1~99
タイトル	半角で32文字、全角で16文字まで
タイトルよみ	全角ひらがなで32文字まで
アーティスト	半角で32文字、全角で16文字まで

ジャンルコード1：その他、2：J-POP、3：ロック/ポップス、4：ジャズ、5：クラシック、6：ヒップホップ/ラップ、7：ブラック/ソウル、8：クラブ/ダンス、9：ブルース、10：レゲエ、11：テクノ、12：フュージョン、13：サウンドトラック、14：ワールド、15：演歌/民謡

発売年 西暦年の4桁（2005年の場合、「2005」）、または「0」（なし、または不明の場合）

アーティストよみ 全角ひらがなで32文字まで

項目	入力形式
トラック番号	1～99
タイトル	半角で32文字、全角で16文字まで
タイトルよみ	全角ひらがなで32文字まで
アーティスト	半角で32文字、全角で16文字まで
ジャンルコード	1：その他、2：J-POP、3：ロック/ポップス、4：ジャズ、5：クラシック、6：ヒップホップ/ラップ、7：ブラック/ソウル、8：クラブ/ダンス、9：ブルース、10：レゲエ、11：テクノ、12：フュージョン、13：サウンドトラック、14：ワールド、15：演歌/民謡



- 「#PLAYLIST」は必ず半角で入力してください。
- 数値は半角で入力してください。
- [TAB] では [TAB] キーを、[改行] では [ENTER] または [RETURN] キーを押してください。
- タイトル候補の選択画面にタイトル以外を表示させたい場合は、「アーティストよみ」と [改行] の間に [TAB] とテキスト（半角で32文字、全角で16文字まで）を入力してください。
- 曲数は未録音を含めた総曲数を入力しないと、タイトル候補の選択画面に表示されません。
- 半角スペースを入力すると、その項目は削除されます。（タイトルは削除できません。）



- 「#TRACK」は必ず半角で入力してください。
- [TAB] では [TAB] キーを、[改行] では [ENTER] または [RETURN] キーを押してください。
- 入力されていないトラック、項目があるときは、そのトラック、項目は更新されません。
- 半角スペースを入力すると、その項目は削除されます。（タイトルは削除できません。）

■ CDトラック情報

タイトル情報に続けてトラック情報を以下の形式で入力します。


#TRACK [TAB] トラック番号 [TAB] タイトル [TAB] タイトルよみ [TAB] アーティスト [TAB] ジャンルコード [改行]



■ テキストファイルを保存する

入力したテキストを、ファイル名：MyDB.txt（全て半角）でメモリーカードの一番上の階層に保存します。

■ テキストファイルをタイトルにする

テキストファイルの保存されているメモリーカードをナビゲーション本体にセットし、タイトル情報の取得（→P83）を行います。タイトル候補の選択画面から曲数が一致しているタイトルを選ぶことができます。（テキストファイルのタイトルの頭にが付きま

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージック
サーバー

オプション
機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

メモリーカードから曲を読み込む

パソコンリンクソフト「ナビスタジオ」を使用すると、パソコンからメモリーカードを經由して音楽データ読み込むことができます。

メモリーカードから曲を読み込む

パソコンリンクソフト「ナビスタジオ」を使用してパソコンからメモリーカードに保存した音楽データをミュージックサーバーに読み込みます。読み込まれた音楽データは、オリジナルグループのプレイリストとして保存されます。



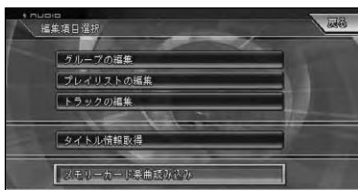
- パソコンリンクソフト「ナビスタジオ」は、弊社ホームページからダウンロードできます。

1 AVメニューを表示する(→P59)

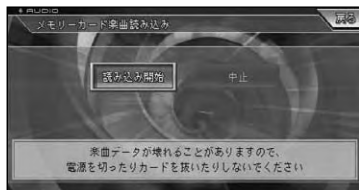
2 編集 を選ぶ



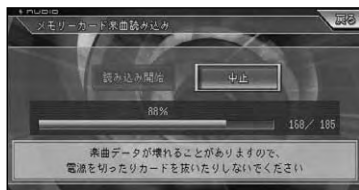
3 メモリーカード楽曲読み込み を選ぶ



4 読み込み開始 を選ぶ



読み込み状況を示すバーが表示されます。



- 読み込み中は、エンジンを切ったり、かけたりしないでください。
- 読み込みが途中で中止された場合、すでに読み込みを完了したファイルのみがプレイリストとして保存されます。

オプション機器

マルチCDプレーヤーの操作のしかた (AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900) 88

- 再生する 88
 - 再生画面について 89
 - CD TEXTについて 89

マルチCDのいろいろな再生操作のしかた (AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900) 90

- AVメニューを表示する 90
 - ソースメニューについて 90
- ソースメニューでのいろいろなディスク操作 90
 - リピート再生 90
 - ランダム再生 91
 - スキャン再生 91
 - 再生の一時停止 92
 - CDの音質を調節する 92

マルチCDで指定した曲だけを 再生する(ITS機能) (AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900) 94

- ITSを指定する 94
- ITSで再生する 94
- ITSの指定を消去する 95

エクスターナルユニットの操作のしかた (AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900) 96

- 基本操作 96
- 操作例 96

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D V D

ミュージック
サーバー

オプション
機器

A V 設定

システム設定

その他の機能

付録

マルチCDプレーヤーの操作のしかた

(AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900)

再生する

マルチCDプレーヤーでCDを再生するには、次のようにします。

1 **[SOURCE]** または **[DVD/CD]** を押して、ソースをマルチCD (M-CD) に切り替える

ソースプレートとディスクリストが表示され、再生が開始されます。



- マルチCDにマガジンが入っていないときや再生中にマガジンを取り出したときは、OELディスプレイに「NO MAGAZINE」と表示されます。またマルチCDが準備動作（CDの有無の確認やCD情報の読み込みなど）をしているときに、ソースをマルチCDに切り替えると「READY」と表示されます。
- 50連奏マルチCDをお使いの場合、50連奏マルチCD特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。また、手順2のディスクリストは表示されません。ディスクの選択は、本体またはリモコンで操作します。
- [SOURCE]** を長く押しと、ソースをOFFにすることができます。(→P21)

2 聴きたいディスクまたはトラックを選ぶ



- タッチ操作では、トラックの選択はできません。

■本体またはリモコンでの操作

[▲]/**[▼]** : ディスクの選択

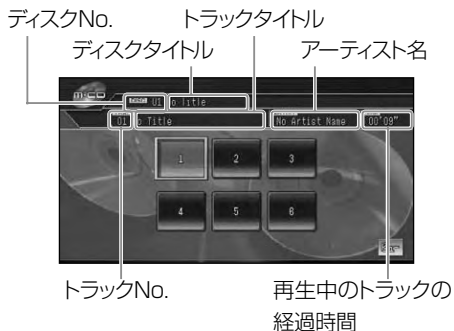
[◀]/**[▶]** : トラックの選択



- [◀]**/**[▶]** を押し続けると、早戻し/早送りの動作となります。

再生画面について

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など)で「CD TEXT」再生中にソースプレートにタイトルやアーティスト名、再生時間が表示されます。



- タイトルやアーティスト名は、半角、全角の混在はできません。
- 表示可能文字数は画面の状態（1画面、ピクチャーサイドピクチャー）により異なります。
- 「CD TEXT」が収録されていない場合は、ソースプレートに「No Title」、「No Artist Name」と表示されます。
- 「CD TEXT」の内容はミュージックサーバーには反映されません。

CD TEXTについて

CD TEXTとは

CDのタイトルやアーティスト名などの文字情報が収録されているCDです。ディスクタイトル面に下記のマークの付いているCDは「CD TEXT」ディスクです。(下記マークの付いていない「CD TEXT」ディスクもあります。)



はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

マルチCDのいろいろな再生操作のしかた

(AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900)

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生、再生の一時停止など、AVメニューを表示してソースメニューから行う再生操作や、その他の機能の操作を説明します。

AVメニューを表示する

マルチCDソースのAVメニューを表示させます。

1 **メニュー** を押す

AVメニュー画面が表示されます。

ソースメニューについて

ソースメニューの中から機能を選びます。



ソースメニューでの いろいろなディスク操作

ソースメニューから、いろいろな再生操作をすることができます。

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 **リピート** を選ぶ



選ぶごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

MAGAZINE REPEAT→**TRACK REPEAT**→**DISC REPEAT**→**MAGAZINE REPEAT**に戻る

MAGAZINE REPEAT : マガジン内の全てのディスクを繰り返します

TRACK REPEAT : 再生中のトラック(曲)を繰り返します

DISC REPEAT : 再生中のディスクを繰り返します



- リピート再生中にリピートの範囲を越える操作 (TRACK REPEAT中の選曲操作など) を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

ランダム再生

選んだリピートの範囲内(→P90)で、曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムを選ぶ



選ぶごとに、ランダム再生のON/OFFが切り替わります。



- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はDISC REPEATに自動的に切り替わります。
- ランダム再生中にその他の再生操作(リピート再生、スキップ再生など)やリピートの範囲を越える操作(DISC REPEAT中のディスクの切り替えなど)を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

スキャン再生

選んだリピートの範囲(→P90)で、ディスク内の各曲の演奏開始部分や、各ディスクの1曲目の演奏開始部分を、約10秒間ずつ聴くことができます。

1 リピートの範囲を以下のように指定する(→P90)

■ 聴きたい曲を探するとき

再生中のディスク内の各曲の演奏開始部分を約10秒間ずつ再生します。リピート範囲をDISC REPEATに指定します。



- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、スキャン再生をONにすると、DISC REPEATにリピートの範囲が切り替わります。

■ 聴きたいディスクを探するとき

マガジン内全ディスクの1曲目だけの演奏開始部分を約10秒間ずつ再生します。リピート範囲をMAGAZINE REPEATに指定します。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

つづく→

2 スキャンを選ぶ



選ぶごとに、スキャン再生のON/OFFが切り替わります。



- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

3 聴きたい曲またはディスクが再生されたら、もう一度スキャンを選ぶ

スキャン再生がOFFになり、選んだ曲またはディスクが再生されます。



- スキャン再生中にその他の再生（リピート再生、ランダム再生など）やリピートの範囲を越える操作（DISC REPEAT中のディスクの切り替えなど）行くと、スキャン再生が中止される場合があります。

再生の一時停止

1 ポーズ/再生を選ぶ



▼
ディスクの再生が一時停止します。もう一度 **ポーズ/再生** を選ぶと再生を再開することができます。

CDの音質を調節する

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりします。（デジタルコンプレッション）



- COMP/DBE機能付きのマルチCDを接続したときに操作できます。
- COMPとは、「Compression」の略で、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。
- DBEとは、「Dynamic Bass Emphasis」の略で、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 COMP/DBEを選ぶ



2 お好みの設定を選ぶ



選ぶごとに、以下のように切り替わります。
OFF→COMP1→COMP2→COMP OFF
→DBE1→DBE2→OFFに戻る



- COMP、DBEともに、1より2のほうが効果が大きくなります。
- コンプレッション非対応のチェンジャーが接続されている場合は、**COMP/DBE**は選べません。またOELディスプレイに「NO COMP」と表示されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

マルチCDで指定した曲だけを再生する (ITS機能)

(AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900)

聞きたい曲だけを指定しておき、それを再生する(「ITS再生」)機能です。



- ITSとは、「Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション)」の略です。
- 曲の指定はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの指定は消えません。
- CD1枚につき99曲まで指定することができます。(一部のマルチCDプレーヤーでは24曲までになります。)
- ITSは、CD100枚分の指定ができます。(100枚を超えたときは、いちばん古いCDから消去されます。)

ITSを指定する

1 ITS指定したい曲のあるディスクを再生する

2 AVメニューを表示する (→P90)

3 ITSを選ぶ



4 ◀ または ▶ で指定する曲を選ぶ



5 1曲登録を選ぶ



「1曲登録しました」のメッセージが表示され、ITS指定されます。

ITSで再生する

ITS指定された曲だけを検索して再生します。



- 検索されるのは、指定してあるリピート範囲(→P90)内です。
- リピート範囲内にITS指定された曲が無い場合は、OELディスプレイに「ITS EMPTY」と表示されます。

1 ITS指定された曲のあるディスクを再生する

2 AVメニューを表示する (→P90)

3 ITSを選ぶ



3 ITSを選ぶ



4 ONを選ぶ



4 ◀または▶で指定を削除する曲を選ぶ



5 1曲消去を選ぶ



ITS指定された曲だけが順番に再生され、再生状態表示部に「ITS」と表示されます。
OFF を選ぶと通常の再生に戻ります。

メッセージが表示され、選んだ曲が消去されます。

ITSの指定を消去する

ITSの指定は、1曲ずつ、または全ての指定を一度に消去することができます。



- 消去の結果、現在再生中のリピート範囲内にITS指定させた曲が無くなった場合は、OELディスプレイに「ITS EMPTY」と表示され、ITS再生がOFFになります。
- モニターには「1曲も登録されていません」とメッセージが表示されます。

1 ITS指定された曲のあるディスクをITSで再生する

2 AVメニューを表示する (→P90)

■ 全消去する場合

手順 4 で **全消去** を選ぶと、全てのITS指定を消去できます。

全消去 を選び、**はい** を選んでください。

エクスターナルユニットの操作のしかた (AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900)

本機では、マルチCDプレーヤー以外のIPバス機器は、エクスターナルユニットとして扱われます。



- エクスターナルユニットは、最大2台まで接続することができます。
- 本機に映像ソースのエクスターナルユニット(マルチDVDプレーヤー「XDVP9 II」など)を接続したときは、「システム設定」の「AV入力設定」を「EXT」に設定する必要があります。→「ビデオなどを見る」(P138)
- 本機にIPバス音声入力コネクタ(CD-RB10/RB20/AV20)を接続しても機能しません。

基本操作

1 **[SOURCE]** を押して、ソースを **EXT1**

または **EXT2** に切り替える

2 **[▲]/[▼]/[◀]/[▶]** または画面の

1 ~ 6 で操作する (→操作例)



- 本機に映像ソースのエクスターナルユニットを接続した場合は、しばらくすると映像画面に切り替わります。操作画面を再表示させたい場合は画面にタッチするか、**[決定]** ボタンを押してください。

■ファンクションキーの操作

基本操作画面で **[メニュー]** を押してAVメニュー画面を表示すると、ファンクションキーの操作が行えます。(→操作例)



操作例



- 接続した製品によって、操作内容が異なります。詳しくは、接続した製品の取扱説明書をご覧ください。

●iPodアダプター「CD-IB10」の場合

[▲]/[▼] : リストの選択

[◀]/[▶] : 曲の頭出し*1

1 ~ 6 : 未使用

FUNCTION1 : 一時停止

FUNCTION2 : リピート再生範囲の設定、ランダム再生の設定*2

FUNCTION3 : 表示切り替え、タイトルのスクロール*2

FUNCTION4 : 未使用

BAND/ESC : カテゴリの選択

AUTO/MANU : モード切り替え

*1 MANUALモードになっているときは、曲の早送り/早戻し動作となります。

*2 2秒以上タッチしたときの動作です。

AV設定

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

オーディオ設定のしかた (AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900)	98
オーディオ設定をする	98
グラフィックイコライザー	98
オートイコライザー	100
タイムアライメント	100
リスニングポジション	101
フェーダー/バランス	101
SFC	
(サウンドフィールドコントロール)	101
ラウドネス	102
ASL	102
サブウーファー	103
ハイパスフィルター設定	104
ソースレベルアジャスター	104

オーディオ設定のしかた (「DEQ-P9」と 組み合わせた場合) (AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900)	106
オーディオ設定をする	106
パラメトリックイコライザー	106
オートイコライザー	108
タイムアライメント	108
リスニングポジション	109
フェーダー/バランス	109
SFC	
(サウンドフィールドコントロール) ..	109
デジタルダイレクト	110
Dolby Pro Logic II	110
ダイナミックレンジコントロール	111
スピーカー設定	111
クロスオーバー周波数	113
スピーカー出力レベル	113
テストトーン	114
ダウンMIX	114
ソースレベルアジャスター	115

車に合わせて音場を自動で補正する (オートTA&EQ) (AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900)	116
オートTA&EQを行う前に	116
オートTA&EQを行う	117

オーディオ設定のしかた

(AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900)

お好みに合わせてオーディオの音などを調節することができます。



- 別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続して音の調節を行う場合は、「オーディオ設定のしかた(「DEQ-P9」と組み合わせた場合)」(→P106)をご覧ください。

オーディオ設定をする

本機の音に関する設定を行います。

1 AVソース画面で **メニュー** を押す

2 オーディオ設定 を選ぶ



オーディオ設定画面が表示されます。

3 各項目を選び、設定を行う



- AV設定内の画面を表示中に、音声案内、ハンズフリー通話、音声操作などがあった場合は、各種設定はできません。ただし、消音設定がOFFに設定されている場合は、各種設定を行うことができます。
- システム設定の **5.1chDSPユニット** の設定がONになっている場合は設定できません。
- 走行中は操作できない設定項目があります。

グラフィックイコライザー

あらかじめ用意された5つの設定(ファクトリーカーブ)とお好みで調節した設定(CUSTOM)からイコライザーカーブを選ぶことができます。

工場出荷時は「CLARITY」です。



- 本体の **EQ** を押して、イコライザーカーブを選ぶこともできます。
- 設定した調節値は、ミュージックサーバーへの録音には反映されません。

1 オーディオ設定画面(→前項)で **グラフィックイコライザー** を選ぶ

2 お好みの設定を選ぶ



選ぶたびにイコライザーカーブが切り替わります。

CLARITY、**RHYTHM**、**SENSITIVE**、**NARROW**、**FLAT** :

各設定のカーブを微調整します(→P99)

CUSTOM1、**CUSTOM2** :

お好みに合わせて調節した設定



- **FLAT** は、何の補正もしません。
- **詳細設定** を選ぶと、CUSTOM用のグラフィックイコライザーカーブ詳細設定(→次項)に切り替わります。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

■ イコライザーカーブをだまかに補正する

呼び出したイコライザーカーブを、全体的なバランスはくずさず、強めたり弱めたり調節できます。

1 グラフィックイコライザー設定画面(→前項)で調節するカーブを選ぶ

2 + または - (ニュアンスコントロール)を選んでイコライザーカーブを調節する



- 選択したカーブによって調節範囲は異なりますが、最大±6の範囲で調節できます。
- **FLAT** および **CUSTOM1**、**CUSTOM2** がFLATになっているときは、イコライザーカーブを調節できません。

■ イコライザーカーブを細かく調節する

お好みに合わせてイコライザーカーブの周波数レベルを細かく調節することができます。

ここで調節した設定はCUSTOM1またはCUSTOM2に登録されます。

1 グラフィックイコライザー設定画面(→前々項)で調節するカーブを選ぶ

2 詳細設定を選ぶ

3 調節する周波数を選び、▲ または ▼ を選んで、レベルを調節する



50Hz、80Hz、125Hz、200Hz、315Hz、500Hz、800Hz、1.25kHz、2kHz、3.15kHz、5kHz、8kHz、12.5kHzから周波数を選べます。



- ±0を基準に±6段階の範囲で調節ができます。
- **CUSTOM1** はソースごとに記憶されますが、同じ設定になるものは以下の通りです。
 - ・ DVD、CD、WMA/MP3
 - ・ ラジオ、交通情報
 - ・ テレビ、VTR1、VTR2
 - ・ EXT1、EXT2
- **CUSTOM2** は、各ソース共通の設定で記憶されます。
- **CUSTOM2** 以外のカーブを選んでいるときにレベル調節すると、**CUSTOM1** に記憶されます。
- **CUSTOM2** のカーブを選んでいるときに、レベル調節すると、**CUSTOM2** に記憶されます。
- 交通情報を受信しているときは、調節できません。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して調節することもできます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オフシヨン機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

オートイコライザー

自動調節したイコライザーを使用する設定を行うことができます。
工場出荷時は「OFF」です。



- 「オートTA&EQ」(→P116)を行っていない場合は、設定できません。

1 オーディオ設定画面 (→P98) でオートイコライザーを選ぶ

2 ON または OFF を選ぶ



自動調節されたイコライザーを働かせない場合は、**OFF**を選びます。



- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

タイムアライメント

タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節する機能です。
工場出荷時は「INITIAL」です。

1 オーディオ設定画面 (→P98) でタイムアライメントを選ぶ

2 お好みの設定を選ぶ



INITIAL : 距離補正しません。

AUTO TA : オートTA&EQで作成されたタイムアライメントの設定

CUSTOM : お好みに合わせて調節した設定

詳細設定 : CUSTOM用のタイムアライメント詳細設定(→下記)に切り替わります。



- **AUTO TA** は、システム設定の **オートTA&EQ** を行うと選ぶことができます。「オートタイムアライメント/イコライジング」(→P116)を参照してください。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

■ タイムアライメントを詳細に設定する

タイムアライメントをお好みに調節することができます。調節した値は、タイムアライメント(→上記)の **CUSTOM** に反映されます。



- リスニングポジション(→P101)で **フロントL** か **フロントR** を選んでいないと、タイムアライメントを調節することができません。

1 詳細設定 を選ぶ

2 距離を設定したいスピーカーを選び、< または > を選んでスピーカーまでの距離を設定する





- 0~400cmの範囲で、スピーカーまでの距離を2.5cmステップで設定が可能です。
- サブウーファー出力の設定(→P103)がOFFの場合は、サブウーファーの距離は設定できません。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選択や調節をすることもできます。

リスニングポジション

乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を選択することができます。
工場出荷時は「OFF」です。

1 オーディオ設定画面(→98)でリスニングポジションを選ぶ

2 お好みのポジションを選ぶ



フロント R : 右ハンドル車に運転者のみがいるときに切り替えます。

フロント L : 左ハンドル車に運転者のみがいるときに切り替えます。

フロント : 同乗者が助手席にいるときに切り替えます。

オール : 同乗者が後部座席にいるときに切り替えます。



- ポジションが選ばれていないときはOFFになります。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

フェーダー/バランス

前後左右の音量バランスを調節することができます。

1 オーディオ設定画面(→P98)でフェーダー/バランスを選ぶ

2 ▲、▼、<、>を選んで前後左右のバランスを調節する



カーソルの位置で前後の音のバランスを確認できます。



- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して調節することもできます。

SFC (サウンドフィールドコントロール)

イメージに合ったリアルな音場を設定することができます。
工場出荷時は「OFF」です。



- SFCとは、「Sound Field Control (サウンドフィールドコントロール)」の略です。
- 本体の **SFC** を押して、音場を選ぶこともできます。

1 オーディオ設定画面(→P98)でSFCを選ぶ

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

2 お好みの音場を選ぶ

各音場を選ぶと色が変わり、選択 (ON) されたことを表示します。再度選ぶと選択が解除 (OFF) されます。



- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

■ BBEで調節する

BBEとは、高音域の補正とともに低音域を押し上げることで、高音は鮮明に細部まで再現され、低音は締まりのある明確な音となります。このため、ライブ演奏に近い、自然で臨場感のある音で再現することができます。

1 BBE を選ぶ

2 + または - を選んでレベルを調節する



- ユニバーサルパッドを左/右に操作して調節することもできます。
- この製品はBBEサウンド・インコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。この製品は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。BBEとBBEのシンボルはBBE Sound,Inc.の登録商標です。

ラウドネス

小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。工場出荷時は「OFF」です。

1 オーディオ設定画面 (→P98) でラウドネスを選ぶ

2 ON または OFF を選ぶ



ラウドネスを働かせない場合は、「OFF」を選びます。



- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

ASL

ASLは、走行速度や道路状況によって変化する車内の騒音を検出して、自動的に音量が変わるようにすることができます。工場出荷時は「OFF」です。



- 音量が十分あるときは、騒音が大きくなって、音量の上がり幅は小さくなります。
- この機能が働いて音量が上がりすぎたとき、音が歪むことがあります。その場合は、音量を調節してください。

1 オーディオ設定画面 (→P98) でASLを選ぶ

2 お好みの感度を選ぶ



感度を選ぶと色が変わり、選択 (ON) されたことを表示します。再度選ぶと選択が解除 (OFF) されます。

設定できるレベルは、**LOW**、**MID LOW**、**MID**、**MID HIGH**、**HIGH** です。



- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

サブウーファー

サブウーファーから出力される音の設定を行うことができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 オーディオ設定画面 (→P98) でサブウーファーを選ぶ

2 「出力」の **ON** または **OFF** を選んで、サブウーファー出力のON/OFFを設定する



3 「位相」の **NORMAL** または **REVERSE** を選んで、位相を設定する

NORMAL : フロント/リアスピーカーと同じ位相で出力するとき

REVERSE : フロント/リアスピーカーと逆の位相で出力するとき



- 「**詳細設定**」を選ぶとサブウーファー詳細設定 (→次項) に切り替わります。
- サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件によりこれらの音の位相どうしが反転(干渉)すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り替えです。車内条件によって、位相の正相(フロント/リアスピーカーと同時に出力される)が良いか、逆相(フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される)が良いかを選んで設定してください。
- ユニバーサルパッドで操作することもできます。

■ サブウーファー出力を詳細に設定する

サブウーファーの周波数、レベル、効果の傾きの設定を行うことができます。

1 「詳細設定」を選ぶ

2 各項目の **<** または **>** を選んで設定する



- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して調節することもできます。

「周波数」:

50Hz、63Hz、80Hz、100Hz、125Hz、160Hz、200Hzから周波数を選べます。選んだ周波数より低い周波数の音域がサブウーファーから出力されます。

つづく→

「レベル」：
-24～+6の範囲で調節ができます。

「スロープ」：
選ぶごとに以下のようにスロープが切り替わり
ます。
-6dB→-12dB→-18dB→-6dBに戻る

ハイパスフィルター設定

選んだ周波数より低い周波数の音がサブ
ウーファー以外の各スピーカーから出力
されないように設定できます。フロント
スピーカー、リアスピーカーのそれぞれ
でお好みの周波数を設定することができ
ます。

1 オーディオ設定画面(→P98)で ハイパスフィルター設定を選ぶ

2 フロントまたはリアを選ぶ



フロント、リアそれぞれで、周波数、レベル、
効果の傾きの設定を行うことができます。

3 各項目の<または>を選ぶ



「周波数」：
50Hz、63Hz、80Hz、100Hz、125Hz、
160Hz、200Hzから周波数を選べます。
選んだ周波数より低い周波数の音域が選
んだスピーカーから出力されないように
設定できます。

「レベル」：
-24～±0の範囲で調節ができます。

「スロープ」：
選ぶごとに以下のようにスロープが切り替
わります。
スルー→-6dB→-12dB→スルーに戻る
「スルー」を選ぶと、調節値をフロントまた
はリアのスピーカーに反映しません。



• **MUTE** を選ぶと、ON/OFFを設定す
ることができます。リアの調節をした
いときにフロントのMUTE（消音）を
ONにしてリアの調節をする場合など
に使用します。

ソースレベルアジャスター

ソースを切り替えたときに音量の違いが
出ないように、FMの音量を基準にして各
ソースの音量の違いをそろえることがで
きます。
工場出荷時は「0dB」です。



• FMの音量を基準に他のソースとの音
量を調節するため、FMを聞いていると
きは、ソースレベルアジャスターを設
定することはできません。
• ソースごとに記憶されますが、同じ設
定になるものは以下の通りです。
・ CD、WMA/MP3、マルチCD
・ AM、交通情報
・ テレビ、VTR1、VTR2
・ EXT1、EXT2

1 オーディオ設定画面(→P98) でソースレベルアジャスターを選ぶ

2 + または - を選ぶ



- -8dB～+8dBの範囲で2dBごとに調節できます。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して調節することもできます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D
V
D

ミュージック
サーバー

オプション
機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

オーディオ設定のしかた (「DEQ-P9」と組み合わせた場合) (AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900)

お好みに合わせてオーディオの音などを調節することができます。



●別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P7」とオーディオマスターユニット「AXM-P7」を組み合わせて使用し、音の調節を行う場合は、先にシステム設定の「5.1chDSPユニットの設定」をONにしてから、AXM-P7側で調節してください(→「AXM-P7」取扱説明書)。内蔵のDSPを使う場合は「5.1ch DSPユニット」(→P124)を参照してください。

オーディオ設定をする

本機の音に関する設定を行います。

1 AVソース画面で「メニュー」を押す

2 オーディオ設定 を選ぶ



オーディオ設定画面が表示されます。

3 各項目を設定して「終了」を選ぶ



●AV設定内の画面を表示中に、音声案内、ハンズフリー通話、音声操作などがあつた場合は、各種設定はできません。
●走行中は操作できない設定項目があります。

パラメトリックイコライザー

あらかじめ用意された5つの設定(ファクトリーカーブ)とお好みに調節した設定(CUSTOM1、CUSTOM2)からイコライザーカーブを選ぶことができます。また、各スピーカーのバンドごとに中心周波数を設定し、レベル調節やカーブの傾きの切り替えを行うことができます。工場出荷時は「POWERFUL」です。

●イコライザーの調節について

センタースピーカーは、音像を定位させるのに影響が大きいスピーカーです。このため、他のスピーカーと同時にバランスをとるのは、とても難しい作業です。全体のバランスをとるため、2チャンネルの音声(CDなど)を再生し、センターを除く全てのスピーカーのバランスを調節した後、5.1チャンネルの音声(ドルビーデジタルやDTS)を再生し、センタースピーカーを全体のバランスに合わせるように調節すると、スムーズに行うことができます。

●中心周波数について

各バンドの中心周波数は、26種類の周波数の中から選ぶことができます。周波数は、1/3オクターブずつのステップで切り替えることができますが、各バンドの中心周波数の間隔を1オクターブ未満に設定することはできません。



- 本体の **EQ** を押して、イコライザーカーブを選ぶこともできます。
- 設定した調節値は、ミュージックサーバーへの録音には反映されません。

1 オーディオ設定画面 (→P106) でパラメトリックイコライザーを選ぶ

2 各項目の < または > を選んで設定する



「EQ」:

表示されるカーブを参考にお好みの設定を選びます。

選ぶごとに、以下のように切り替わります。
SUPER BASS→**POWERFUL**→**NATURAL**→**VOCAL**→**FLAT**→**CUSTOM 1**→**CUSTOM 2**→**SUPER BASS**に戻る



- ユニバーサルパッドを右に操作して選ぶこともできます。
- FLAT** は、何の補正もしません。
- CUSTOM 1** はソースごとに記憶されますが、同じ設定になるものは以下の通りです。
 - ・DVD、CD、WMA/MP3、マルチCD
 - ・ラジオ、交通情報
 - ・VTR1、VTR2
 - ・EXT1、EXT2
- CUSTOM 2は、各ソース共通の設定で記憶されます。
- CUSTOM 2以外のカーブを選んでいるときにレベル調節すると、CUSTOM 1に記憶されます。
- CUSTOM 2のカーブを選んでいるときに、レベル調節するとCUSTOM 2に記憶されます。
- 交通情報を受信しているときは、調節できません。

「スピーカー」:

選ぶごとに以下のように切り替わります。

リア↔**センター**↔**フロント**



- 「スピーカー設定」(→P111) でOFFに設定したスピーカーは選ぶことができません。

「バンド」:

選ぶごとに以下のように切り替わります。

Low (低音)↔**Mid** (中音)↔**High** (高音)

「周波数」:

選ぶごとに各バンドの中心周波数が、以下のように切り替わります。

40Hz、50Hz、63Hz、80Hz、100Hz、125Hz、160Hz、200Hz、250Hz、315Hz、400Hz、500Hz、630Hz、800Hz、1kHz、1.25kHz、1.6kHz、2kHz、2.5kHz、3.15kHz、4kHz、5kHz、6.3kHz、8kHz、10kHz、12.5kHz

「レベル」:

-12dB~+12dBの範囲で、2dBごとに調節できます。

「Qファクタ」:

選ぶごとにカーブの傾きが**NARROW**と**WIDE**で切り替わります。

NARROW : 急な傾き

WIDE : 緩やかな傾き



- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

オートイコライザー

自動調節したイコライザーを使用する設定を行うことができます。
工場出荷時は「OFF」です。



- 「オートTA&EQ」(→P116)を行っていない場合は、設定できません。

1 オーディオ設定画面(→P106)でオートイコライザーを選ぶ

2 ON または OFF を選ぶ



自動調節されたイコライザーを働かせない場合は、**OFF** を選びます。



- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

タイムアライメント

タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節する機能です。
工場出荷時は「INITIAL」です。

1 オーディオ設定画面(→P106)でタイムアライメントを選ぶ

2 お好みの設定を選ぶ



INITIAL : 距離補正しません。

AUTO TA : オートTA&EQで作成されたタイムアライメントの設定

CUSTOM : お好みに合わせて調節した設定

詳細設定 : CUSTOM用のタイムアライメント詳細設定(→下記)に切り替わります。



- **AUTO TA** は、システム設定の **オートTA&EQ** (→P116) を行うと選ぶことができます。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

■ タイムアライメントを詳細に設定する

タイムアライメントをお好みに調節することができます。調節した値は、タイムアライメント(→上記)の **CUSTOM** に反映されます。



- リスニングポジション(→P109)で **フロントL** か **フロントR** を選んでいないと、タイムアライメントを調節することができません。

1 詳細設定 を選ぶ

2 ▲ または ▼ で距離を設定したいスピーカーを選び、◀ または ▶ を選んでスピーカーまでの距離を設定する





- 「スピーカー設定」(→P111)で「OFF」に設定したスピーカーは選択できません。
- 0~500cmの範囲で、スピーカーまでの距離を2.5cmステップで設定ができます。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

リスニングポジション

乗車位置や乗車人数に合わせて、聴く位置を選択することができます。
工場出荷時は「OFF」です。

1 オーディオ設定画面(→P106)でリスニングポジションを選ぶ

2 お好みのポジションを選ぶ



フロントR : 右ハンドル車に運転者のみがいるときに切り替えます。

フロントL : 左ハンドル車に運転者のみがいるときに切り替えます。

フロント : 同乗者が助手席にいるときに切り替えます。

オール : 同乗者が後部座席にいるときに切り替えます。



- ポジションが選ばれていないときはOFFになっています。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

フェーダー/バランス

前後左右の音量バランスを調節することができます。

1 オーディオ設定画面(→P106)でフェーダー/バランスを選ぶ

2 ▲、▼、◀、▶を選んで前後左右のバランスを調節する



カーソルの位置で前後の音のバランスを確認できます。



- 前後または左右のスピーカーバランスは、それぞれ25ステップの範囲で調節できます。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して調節することもできます。

SFC (サウンドフィールドコントロール)

イメージに合ったリアルな音場を設定することができます。
工場出荷時は「OFF」です。



- SFCとは、「Sound Field Control (サウンドフィールドコントロール)」の略です。

1 オーディオ設定画面(→P106)でSFCを選ぶ

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

つづく→

2 OFF または音場の表示されたボタンを選ぶ



選ぶごとに音場が以下のように切り替わります。
OFF→MUSICAL→DRAMA→ACTION
→JAZZ→HALL→CLUB→OFFに戻る

デジタルダイレクト

調節した各設定内容に影響されない、オリジナルの音質で聴くことができます。調節したオーディオ設定の効果を確かめるのに便利です。
工場出荷時は「OFF」です。

1 オーディオ設定画面 (→P106) でデジタルダイレクトを選ぶ

2 ON または OFF を選ぶ



- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。
- ON** に設定中は、音量調節とドルビープロロジック II の設定のみ行なうことができます。

Dolby Pro Logic II

ドルビープロロジック II は、2チャンネルの音声を5チャンネルで全帯域再生します。オリジナルの録音の空間情報から、より立体的なサウンド空間を作り出す機能です。
工場出荷時は「OFF」です。



- センタースピーカーとリアスピーカーの接続設定がOFFの場合は、この機能は使えません。

1 オーディオ設定画面 (→P106) でDolby Pro Logic IIを選ぶ

2 お好みの設定を選ぶ



MOVIE :

映画やテレビドラマなどのステレオ音声を5.1ch録音に迫る立体的な音で楽しめます。

MUSIC :

広く深い音場を再現し、音楽などを臨場感豊かに楽しめます。また3つのパラメータを調節することで、お好みに合わせた空間を再現することができます。
→「ミュージックモードの調節」(次項)

MATRIX :

方向性強調回路がオフになるため、シンプルなサウンド再生になります。FMやテレビなどのステレオ放送で受信状態が不安定な場合に向いています。



- MUSIC ADJUST** は、**MUSIC** 選択時のミュージックモードの調節に切り替わります。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

■ ミュージックモードの調節

MUSIC 設定時にミュージックモードを調節できます。

1 MUSIC ADJUST を選ぶ



2 お好みのモードを選び、それぞれを調節する



PANORAMA :

フロントのステレオイメージをサラウンドスピーカーまで拡張して包み込みの効果を大きくします。

DIMENSION :

音場の位置をフロント側、リア側に、-3 ~ +3の間で調節します。▶ はフロント側(+)、◀ はリア(サラウンド)側(-)に音を移動します。

CENTER WIDTH :

センターの音を、フロントのLRチャンネルとセンターチャンネルの3つのスピーカーに、どのように振り分けるかを0~7の間で設定します。

▶ は7側に、◀ は0側に調節します。

推奨は3で、ほとんどの録音に適しています。0はセンタースピーカーだけでセンターの音を再生します。7は通常のステレオと同様にセンターの音をフロントのLRIに振り分けます。

ダイナミックレンジコントロール

ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音との幅です。ダイナミックレンジコントロールは、この幅を圧縮することで、音量を下げて楽しむ場合に小さな音も聞きとりやすくすることができます。

工場出荷時は「ON」です。



•ダイナミックレンジコントロールの効果が見られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。

1 オーディオ設定画面(→P106)でダイナミックレンジコントロールを選ぶ

2 ON または OFF を選ぶ



•ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

スピーカー設定

スピーカー接続の有無や接続したスピーカーのサイズ(低音域再生能力)を設定することができます。この設定により、スピーカーを接続していないために再生できないチャンネルの音を他のスピーカーから出力させることができます。

•スピーカーサイズについて

スピーカーサイズ設定は、100Hz以下の周波数帯域を再生可能かどうかが目安になります。再生可能な場合は「LARGE」に、再生不可能な場合は「SMALL」に設定してください。

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

1 オーディオ設定画面 (→P106) でスピーカー設定を選ぶ

2 各項目の < または > を選んで設定する



選ぶごとに以下のように切り替わります。

フロント :
SMALL ↔ LARGE

センター :
OFF ↔ SMALL ↔ LARGE

リア :
OFF ↔ SMALL ↔ LARGE

サブウーファー :
OFF ↔ ON



- 接続していないスピーカーの設定は必ず「OFF」にしてください。
- **Phase** は、サブウーファーがONに設定されているときに選ぶことができます(→次項)。
- サブウーファーを接続していない場合、フロントまたはリアスピーカーに低音再生能力がある限り、スピーカー設定は「LARGE」を選んでください。フロントとリア両方のスピーカー設定を「SMALL」にすると、低音が不足した感じになることがあります。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作しても選ぶことができます。

■ サブウーファーの位相を切り替える

車内条件により、サブウーファーから出力される周波数帯域が、フロント/リアのスピーカーから出力される周波数帯域と打ち消し合ってしまう、聞き取りにくくなるような場合は、位相を逆にすることで聞き取りやすくすることができます。スピーカー設定で、サブウーファーがONのときに設定できます。

1 Phase を選ぶ



2 < または > を選ぶ

選ぶごとに**NORMAL** ↔ **REVERSE**が切り替わります。

NORMAL : フロント/リアスピーカーと同じ位相で出力される

REVERSE : フロント/リアスピーカーと逆の位相で出力される



- ユニバーサルパッドを左/右に操作しても選ぶことができます。

クロスオーバー周波数

クロスオーバー周波数は、サブウーファーや、スピーカーサイズを「SMALL」に設定したスピーカーの再生音域を設定します。サブウーファーからは、選んだ周波数より低い音域が出力されます。また「SMALL」に設定したスピーカーからは、選んだ周波数より高い音域が出力され、カットされた低い音域はサブウーファーから出力されるようになります。サブウーファーを接続していない場合、カットされた低い音域は「LARGE」に設定したスピーカー（フロントまたはリア）から出力されるようになります。

1 オーディオ設定画面（→P106）でクロスオーバー周波数を選ぶ

2 ▲または▼でスピーカーを選び、<または>を選んで設定する



選ぶごとに選んだスピーカーの周波数が、以下のように切り替わります。

63Hz↔80Hz↔100Hz↔125Hz
↔160Hz↔200Hz



- 「スピーカー設定」(→P111)で「OFF」に設定したスピーカーは選択できません。
- サブウーファーのローパスフィルターと、スピーカーサイズを「SMALL」に設定したスピーカーのハイパスフィルターのクロスオーバー周波数を設定します。サブウーファーが「OFF」で、他のスピーカーのサイズが「LARGE」や「OFF」に設定されている場合、クロスオーバー周波数の設定は無効になります。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作しても選ぶことができます。

スピーカー出力レベル

テストトーンで調節した各スピーカーからの出力レベルを、実際の音声を聞きながらもう一度調節することができます。

1 オーディオ設定画面（→P106）でスピーカー出力レベルを選ぶ

2 ▲または▼で調節したいスピーカーを選び、<または>を選んで設定する



このモードで調節した出力レベルは、テストトーンで調節したレベルと同じ値になります。



- 「スピーカー設定」(→P111)で「OFF」に設定したスピーカーは選択できません。
- 10dB～+10dBの範囲で調節できます。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作しても選ぶことができます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

テストトーン

テストトーンを聴きながら、各スピーカーからの出力レベルを調節し、スピーカーシステム全体のバランスを整えます。工場出荷時は「OFF」です。

1 オーディオ設定画面 (→P106) で **テストトーン** を選ぶ

2 **開始** を選ぶ



約2秒間ずつ、以下の順番で各スピーカーからテストトーンが出力されます。フロントL→センター→フロントR→リアR→リアL→サブウーファー

テストトーン出力中のスピーカーには **<**、**>** が表示され、調節が可能になります。



- 「スピーカー設定」(→P111)で「OFF」に設定したスピーカーは飛び越されます。

3 **< または >** を選ぶ



このモードで調節した出力レベルは、スピーカー出力レベルで調節したレベルと同じ値になります。



- -10dB～+10dBの範囲で調節できます。
- 調節を行っている間は、次のスピーカーには切り替わりません。
- **停止** を選ぶと、調節を中止することができます。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選択や調節することもできます。

ダウンMIX

マルチチャンネル音声を2チャンネルにダウンミックスして再生することができます。

工場出荷時は「Lo/Ro」です。

1 オーディオ設定画面 (→P106) で **ダウンMIX** を選ぶ

2 **Lt/Rt** または **Lo/Ro** を選ぶ



Lt/Rt : サラウンド成分を復元(デコード)できるようにダウンミックスします

Lo/Ro : オリジナルの音声サラウンド成分を含まないようなチャンネルモードをステレオミックスします



- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

ソースレベルアジャスター

ソースを切り替えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。



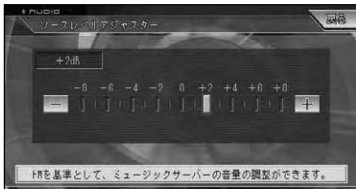
- FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- ソースごとに記憶されますが、同じ設定になるものは以下の通りです。
 - ・ CD、WMA/MP3
 - ・ AM、交通情報
 - ・ VTR1、VTR2
 - ・ EXT1、EXT2

1 FMラジオを適切な音量で聴く (→P24)

2 調整したいソースに切り替える (→P20)

3 オーディオ設定画面(→P106) でソースレベルアジャスターを選ぶ

4 **+** **-**を選んでレベルを調節する



- 8～+8の範囲で2dBごとに調節できます。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して調節することもできます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

車に合わせて音場を自動で補正する (オートTA&EQ)

(AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900)

車室内の音響特性を自動的に計測して、最適に自動補正することができます。

オートTA&EQを行う前に

オートTA&EQ (オートタイムアライメント&イコライジング)を行う前に必ずお読みください。



警告

走行中にオートTA&EQを行わない



禁止

自動車が走行中にオートTA&EQを行わないでください。オートTA&EQ機能は車室内の音響特性を測定するために、スピーカーから大音量の計測音を出すことがあります。この場合、運転の妨げになり事故の原因となることがあります。

■スピーカー破損防止について

次の状態でオートTA&EQを行うと、スピーカーが破損する恐れがあります。オートTA&EQを行う前に、よく確認してください。

- スピーカーの接続を誤っている場合
(例：サブウーファー出力にリアスピーカーを接続している場合)
- スピーカーの耐入力を超える出力のパワーアンプを接続している場合

■オートTA&EQ機能について

• 車室内空間は、その広さや複雑な形状、材質により、ホームオーディオに比べ、一般的に音響特性が大きく乱れています。このような車室内の音響特性を補正するためにイコライザーを使用しますが、測定器などを使用せずに設定するのはかなり困難な作業になります。

- 本機のオートTA&EQ機能は、車室内の音響特性を自動的に測定し、そのデータに基づいて、車室内の音響特性が乱れの少ない滑らかな特性に近づくように自動的に補正します。(イコライザーカーブを呼び出したときは、オートTA&EQにより乱れの少ない滑らかな特性になった上でイコライザーカーブが設定されますので、より効果的になります。)また、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を自動的に測定し、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節します。

■オートTA&EQを行う前にお読みください

- オートTA&EQは、なるべく静かな所で、車のエンジンおよびエアコンやヒーターを止めて行ってください。また、携帯電話や自動車電話などを車載している場合は、電話を車外へ持ち出すか電源を切ってからオートTA&EQを行ってください。計測音以外の音(車周辺の騒音、エンジン音、電話の着信音など)によって、車室内の音響特性が正しく測定できないことがあります。
- オートTA&EQは、必ず付属(本機または「DEQ-P9」)の音響特性測定用マイクを使用して行ってください。付属の音響特性測定用マイク以外のマイクでは、オートTA&EQが実行できなかったり、車室内の音響特性が正しく測定できません。
- フロントスピーカーが接続されていない場合は、オートTA&EQが実行できません。また、DEQ-P9と組み合わせた場合のDSPでお使いの場合は、接続されていないスピーカーが「LARGE」や「SMALL」に設定されている場合は、エラーとなります。

- 入力レベルコントロール付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプの入力レベルコントロールを下げていますと、オートTA&EQが実行できない場合があります。パワーアンプの入力レベルコントロールは推奨位置に合わせてください。
- ローパスフィルター付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプのローパスフィルターはOFFにして測定してください。また、パワードサブウーファー内蔵のローパスフィルターは、カットオフ周波数を最も高い周波数に設定してください。
- オートTA&EQ測定時に算出したタイムアライメントの値は、次の場合に実際の距離と異なることがあります。計測状況によりコンピューターが算出した正確な遅延時間をもとに設定された距離です。そのままの値でご使用ください。
 - ー 車室内の反射音が直接音より強く、かつ遅延を生じている場合。
 - ー パワードサブウーファーや外部アンプのローパスフィルターの影響により、低音に遅延が生じている場合。
- オートTA&EQを行うと、各モードの内容が次のように変更されます。
 - ー 前後左右の音量バランス調節(フェーダー/バランス)の設定がリセットされ、初期設定に戻ります。
 - ー イコライザーカーブは、フラット(FLAT)になります。
 - ー リスニングポジションは、フロントRに設定されます。(ただし、フロントLに設定していたときだけは、フロントLのままになります。)
 - ー フロントやセンター、リアハイパスフィルターの設定が調節されます。内蔵DSPでサブウーファーを接続している場合は、サブウーファー出力とリアハイパスフィルターの設定が調節されます。(サブウーファー出力をOFFにしているも、自動的にONになり調節されます。)

■ オートTA&EQの調節内容について
一度オートTA&EQを行ったあとに、再度オートTA&EQを行うと、前のオートTA&EQの調節内容は消去されます。

オートTA&EQを行う

オートTA&EQは、システム設定の項目から設定を行います。

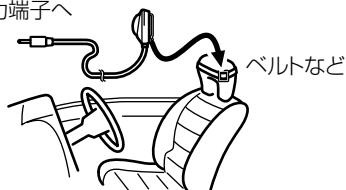
1 車の環境を整える

- 静かな所に車を停車します。
- ドア、窓、サンルーフなどを閉めます。
- 車のエンジンを停止します。

2 マイクをセットする

ベルトなどを使用して、運転席のヘッドレストの中央に付属の音響特性測定用マイクを前向きに固定します。

音響特性測定用マイク入力端子へ 音響特性測定用マイク



ご注意

- マイクの取付位置が悪いと、測定音が大きくなったり測定時間がかかったりして、車のバッテリーが上がる恐れがあります。マイクは必ず指定の位置に取り付けてください。

3 車のエンジンスイッチをACCまたはONにする

ご注意

- 車のエアコンやヒーターがONになっている場合は、OFFにしてください。エアコンやヒーターのファンの騒音によってオートTA&EQが実行できないことがあります。

4 ソースを選ぶ

リスニングポジションを設定するため、いずれかのソースを選びます。

5 乗車位置を決定する

リスニングポジション(→P101、109)を設定して、マイクをセットした座席を乗車位置に設定します。



- 乗車位置をフロントRまたはフロントL以外に設定したときは、オートTA&EQを始めると、強制的にフロントRに再設定されます。

6 ソースをOFFにする (→P21)

7 オートTA&EQ測定画面を表示する

AVメニュー(→P18) → システム設定画面(→P120) → オートTA&EQ測定 を選んで画面を表示します。

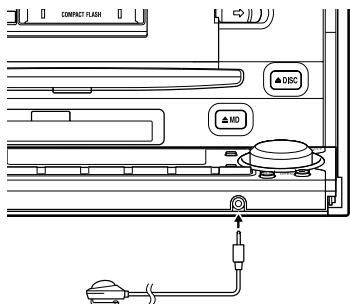


- 内蔵のDSPの場合、フロントパネルが開きます。

「DEQ-P9」と組み合わせていない場合 (内蔵DSP)

8 マイクを本機に接続する

付属の音響特性測定用マイクを音響特性測定用マイク入力端子に接続します。



DEQ-P9と組み合わせている場合

マイクを「DEQ-P9」に接続する

「DEQ-P9」に付属のマイクを「DEQ-P9」のマイク入力端子(オートEQ&オートTA用マイク端子)に接続します。

9 START を選ぶ



中止するときは、STOP を選びます。

10 車外に出る

10秒のカウントダウンが始まるので、10秒以内に車外に出て、ドアを閉めます。計測音(ノイズ)が各スピーカーから出力され、オートTA&EQが始まります。しばらくすると自動的に終了します。



オートTA&EQ操作が終わったらセットしたマイクを取り外します。



- マイクをセットする位置により、オートTA&EQの調節内容が変わります。お好みにより、助手席にセットすることもできます。
- マイクはグローブボックスなどに、大切に保管してください。直射日光の当たる場所に長時間放置すると、高温による変形、変色、故障の原因になる恐れがあります。

システム設定

システム設定のしかた (AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900)	120
システム設定をする	120
オートTA&EQ	120
デジタルアッテネーター	120
録音設定	120
消音設定	121
ワイドモード	121
AV入力設定	121
OEL(OrganicEL)設定	121
ナビ画面リア映像出力	122
オートフラップ設定	123
ガイド/ハンズフリーSP設定	123
オートアンテナ連動	124
5.1ch DSPユニット	124
オーディオ設定リセット	125

システム設定のしかた (AVIC-XH990/H990/ XH900/H900)	126
システム設定をする	126
録音設定	126
消音設定	126
ワイドモード (AVIC-XH990/XH900)	127
AV入力設定 (AVIC-XH990/XH900)	127
ナビ画面リア映像出力 (AVIC-XH990/XH900)	127
ガイド出力設定 (AVIC-XH990/XH900)	127
FMトランスミッター設定 (AVIC-XH990/XH900)	128

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージック
サーバー

オプション
機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

システム設定のしかた

(AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900)

本機のいろいろな機能を使うための基本的な設定をすることができます。



ここではAVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900のシステム設定について説明しています。AVIC-XH990/H990/XH900/H900のシステム設定については、P126をご覧ください。

システム設定をする

本機の動作環境の設定を行います。

1 AVソース画面で「メニュー」を押す

2 システム設定 を選ぶ



システム設定画面が表示されます。

3 各項目を選び、設定を行う



オートTA&EQ

車の特性に合わせて音場を自動で補正します。

→説明は本書の「車に合わせて音場を自動で補正する」(P116)に記載しています。

デジタルアッテネーター

デジタルATT (アッテネーター) はイコライザーカーブの調節による音の歪みをなくすることができます。

工場出荷時は「HIGH」です。



•イコライザーカーブの調節 (→P98、106) で、レベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの調節で音が歪んだように感じたときは、デジタルATT (アッテネーター) の設定をLOWに切り替えてください。

1 ソースをOFFにする (→P21)

2 システム設定画面 (→前記) でデジタルアッテネーター を選ぶ

3 HIGH または LOW を選ぶ



•ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

録音設定

ミュージックサーバーへの録音時間や録音モードを設定します。

→説明は本書の「ミュージックサーバーに録音する」(P53)に記載しています。

消音設定

音声案内、ハンズフリー通話の着信、音声操作などの場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音を聞き取りやすくすることができます。工場出荷時は下記の通りです。

- 消音タイミング（電話・認識）
- 消音レベル（-10dB）

1 システム設定画面（→P120）で消音設定を選ぶ

2 消音タイミングと消音レベルを設定する



「消音タイミング」:

消音するタイミングを設定します。

ガイド・電話・認識 :

音声案内やハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます

電話・認識 :

ハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます

OFF :

オーディオの音量を下げません

「消音レベル」:

消音のレベルを設定します。

-20dB : 音量が1/10になる

-10dB : 音量が1/3になる

MUTE : 音量が0になる



- 消音タイミングがOFFのときは消音レベルは設定できません。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

ワイドモード

映像系ソースの画面表示のモードを設定します。

→説明は本書の「ワイド画面の拡大方法を切り替える」(P135)に記載しています。工場出荷時は「FULL」です。

AV入力設定

VTR（ビデオなど）や別売のバックカメラユニット「ND-BC1」などの外部機器を本機に組み合わせた場合、機器に合った設定に切り替えます。

→説明は本書の「ビデオなどの入力を設定する」(→P138)、「入力設定をバックカメラに切り替える」(→P140)に記載しています。

OEL (OrganicEL) 設定

OELディスプレイの設定を行います。工場出荷時は下記の通りです。

- リバースモード (ON)
- ソースアイコンモーション (ON)
- DIMMER (OFF)
- BRIGHT (12)
- 連続スクロール (OFF)
- ソースOFF画面 (DEMO)

1 システム設定画面（→P120）でOEL (OrganicEL) 設定を選ぶ

2 各項目を設定する



「リバースモード」:

リバースモードのON/OFFを設定します。

ON : 反転する

OFF : 反転しない

つづく→

「ソースアイコンモーション」:

通常画面でのソースアイコンの表示を設定します。

ON : 表示する

OFF : 表示しない

「DIMMER」:

車のライトON/OFFに合わせて、OELディスプレイの明るさ調節する設定をします。

ON : 暗くなる

OFF : 暗くならない

「BRIGHT」:

OELディスプレイの明るさを調節します。[DIMMER]が「ON」に設定されているときは、車のライトON/OFFで別々に調節できます。

< : 暗くする

> : 明るくする

「連続スクロール」:

OELディスプレイに表示される文字を連続してスクロールする設定をします。

ON : 繰り返しスクロール表示する

OFF : 1回のみスクロール表示する

「ソースOFF画面」:

ソースをOFFにしているときのOELディスプレイの表示を設定します。

DEMO : フィーチャーデモを表示する

クロック : 時計を表示する

OFF : 何も表示しない

● リバースモードについて

リバースモードは、各ソースを聞いているときに約30秒間操作しないと画面が自動的に反転する機能です。反転は、10秒間隔で行われます。

● フィーチャーデモについて

フィーチャーデモは、ソースがOFFのときに、各ソースや本機の機能を表示して紹介する機能です。車のエンジンを止めた状態でフィーチャーデモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。



- 赤リード線(アクセサリ電源)は、常に車のバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。車のエンジンスイッチと本機の電源をOFFにしても、フィーチャーデモが表示され、バッテリー上がりの原因になります。
- 安全のため走行中に連続スクロールしないようになっています。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

ナビ画面リア映像出力

リアモニターと組み合わせた場合にソースがOFFまたは音声系ソース(CD、WMA/MP3、MD、ミュージックサーバーなど)のとき、リアモニターにナビゲーション画面を表示するかしないかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

1 システム設定画面 (→P120) でナビ画面リア映像出力を選ぶ

2 ONまたはOFFを選ぶ



- リアモニター出力はコンポジット信号のため、リアモニターに表示されるナビゲーション及びオーディオ画面は、本機のモニターに表示される映像と比べて劣化します。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

オートフラップ設定

エンジンスイッチのACCがONになったとき自動的にモニターを立ち上げ、OFFになったとき自動的に収納する設定をします。また、モニターが立ち上がったときのセットバック(前後位置)を設定します。

1 システム設定画面(→P120)でオートフラップ設定を選ぶ

2 自動開閉とセットバックを設定する



「OPEN/CLOSE」:

モニターの開閉を自動で行うか、手動で行うかの設定をします。

工場出荷時は「オート」です。

オート : ACCのON/OFFでモニターを自動開閉する

マニュアル : モニターの開閉を手動で行う

「SET BACK」:

立ち上がったモニターを後に下げる設定をします。

工場出荷時は「OFF」です。

ON : モニターを後に下げます

OFF : モニターを後に下げない



•ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

ガイド/ハンズフリーSP設定

内蔵のDSPを使用している場合、ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の受話音、音声操作音などを、どのスピーカーから出力するかを設定します。工場出荷時は「フロントL+R」です。



•ガイド/ハンズフリーSP設定は、別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」と組み合わせている場合は表示されません。

1 システム設定画面(→P120)でガイド/ハンズフリーSP設定を選ぶ

2 スピーカーを選ぶ



フロントL : フロント左側から出力する

フロントL+R : フロント左右から出力する

フロントR : フロント右側から出力する



•ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

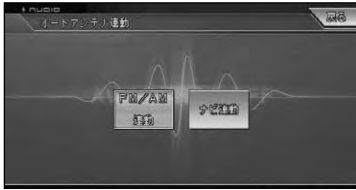
付録

オートアンテナ連動

オートアンテナのON/OFF動作を、エンジンスイッチ（本機の電源）と連動させるか、ラジオ（FM/AM）と連動させるかを設定します。
工場出荷時は「FM/AM連動」です。

1 システム設定画面（→P120） でオートアンテナ連動を選ぶ

2 FM/AM連動またはナビ連動 を選ぶ



FM/AM連動 : ラジオソース(FM/AM) 選択に連動してONにします。

ナビ連動 : エンジンスイッチ(本機の電源)ONと連動してONにします。

メモ •ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

5.1ch DSPユニット

別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P7」および「AXM-P7」を組み合わせた場合のみ「ON」に設定します。「DEQ-P9」と組み合わせた場合は、自動で認識されますので、設定の必要はありません。

- メモ
- 光デジタル端子変換コネクタ「CD-DD25」が接続されていないと、設定ができません。
 - ソースがOFFになっていないと、設定ができません。
 - 5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」が接続されていると**5.1ch DSPユニット**は表示されません。
 - 5.1ch DSPユニットの設定を「ON」にすると、本機のスピーカーから音声は出力されません。

1 システム設定画面（→P120） で5.1ch DSPユニットを選ぶ

2 ONを選ぶ



▼
確認メッセージが表示されます。

メモ •ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

3 はいを選ぶか(決定)を押す

5.1chのDSPユニットが設定され、操作およびスピーカー出力が「DEQ-P7」「AXM-P7」側で行えるようになります。

メモ •5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P7」とオーディオマスターユニット「AXM-P7」を組み合わせて使用しないときは「OFF」を選びます。

オーディオ設定リセット

5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を組み合わせて行った、オーディオの各種設定や調節をリセットすることができます。



- ソースがOFFのときにリセットできます。
- **オーディオ設定リセット** は、別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」と組み合わせていない場合は表示されません。

1 システム設定画面 (→P120) で **オーディオ設定リセット** を選ぶ

2 **リセット** を選ぶか **決定** を押す



▼
確認メッセージが表示されます。

3 **はい** を選ぶか **決定** を押す

各設定・調節がリセットされ、工場出荷時の状態に戻ります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

システム設定のしかた

(AVIC-XH990/H990/XH900/H900)

本機のいろいろな機能を使うための基本的な設定をすることができます。



ここではAVIC-XH990/H990/XH900/H900のシステム設定について説明しています。AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900のシステム設定については、P120をご覧ください。

システム設定をする

本機の動作環境の設定を行います。

1 AVソース画面で「メニュー」を押す

2 システム設定 を選ぶ



システム設定画面が表示されます。

3 各項目を選び、設定を行う



録音設定

ミュージックサーバーへの録音時間や録音モードを設定します。

→説明は本書の「ミュージックサーバーに録音する」(P53)に記載しています。

消音設定

音声案内、ハンズフリー通話の着信、音声操作などの場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声を聞き取りやすくすることができます。

AVIC-H990/H900は、「消音レベル」の設定はできません。組み合わせた製品の「TEL/GUIDE」などを設定してください。工場出荷時は下記の通りです。

- 消音タイミング (電話・認識)
- 消音レベル (ATT)

1 システム設定画面 (→前々項) で「消音設定」を選ぶ

2 消音タイミングと消音レベルを設定する



「消音タイミング」:

消音するタイミングを設定します。

ガイド・電話・認識 :

音声案内やハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます。

電話・認識 :

ハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます。

OFF :

オーディオの音量を下げません。

「消音レベル」:

消音のレベルを設定します。

ATT : 音量が1/10になる

MUTE : 音量が0になる



- 消音タイミングがOFFのときは消音レベルは設定できません。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

ワイドモード

(AVIC-XH990/XH900)

映像系ソースの画面表示のモードを設定します。

→説明は本書の「ワイド画面の拡大方法を切り替える」(P135)に記載しています。工場出荷時は「FULL」です。

AV入力設定

(AVIC-XH990/XH900)

VTR (ビデオなど) や別売のバックカメラユニット「ND-BC1」などの外部機器を本機に組み合わせた場合、機器に合った設定に切り替えます。

→説明は本書の「ビデオなどの入力を設定する」(P138)、「入力設定をバックカメラに切り替える」(P140)に記載しています。

ナビ画面リア映像出力

(AVIC-XH990/XH900)

リアモニターと組み合わせた場合にソースがOFFまたは音声ソース (CD、WMA/MP3、ミュージックサーバー) のとき、リアモニターにナビゲーション画面を表示するかしないかを設定します。工場出荷時は「OFF」です。

1 システム設定画面 (→P126) でナビ画面リア映像出力を選ぶ

2 ON または OFF を選ぶ



- リアモニター出力はコンポジット信号のため、リアモニターに表示されるナビゲーション及びオーディオ画面は、本機のモニターに表示される映像と比べて劣化します。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

ガイド出力設定

(AVIC-XH990/XH900)

モニターの内蔵スピーカーから、ナビゲーションの音声案内と各ソースの音声を出力するか、ナビゲーションの音声案内のみ出力するかを設定をします。工場出荷時は「ガイド+ソース」です。

1 システム設定画面 (→P126) でガイド出力設定を選ぶ

2 出力する音声を選ぶ



ガイド : ナビゲーションの音声案内のみを出力します

ガイド+ソース : ナビゲーションの音声案内と各ソースの音声を出力します

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録



•ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。



•ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して設定することもできます。

FMトランスミッター設定 (AVIC-XH990/XH900)

テレビ、DVD、CD・WMA/MP3、ミュージックサーバーなどの音声をFM電波で送信し、FM付きカーステレオで受信することによって、カーステレオのスピーカーで聴くことができるように設定します。工場出荷時は「OFF」です。

1 システム設定画面 (→P126) でFMトランスミッター設定を選ぶ

2 各項目を設定する



「トランスミッター」:

ON : FMトランスミッターをONにします。

OFF : FMトランスミッターをOFFにします。

「周波数」:

76.4MHz~78.4MHzの間で0.1MHzごとに設定できます。

< : 低くするとき

> : 高くするとき

「レベル」:

-6~+6の間で1ステップごとに設定できます。

< : 下げるとき

> : 上げるとき

3 カーステレオをFMに切り替え、手順2で選んだ周波数を受信する

本機の音声をカーステレオのスピーカーで聞けるようになります。



- ナビゲーションの音声案内を聞くことはできません。
- 送信用アンテナの配置場所や受信する側のラジオのアンテナによっては、ノイズが聞こえたり、受信感度が低くなる場合があります。
- FM放送と混信する場合は、他の周波数を選んでください。
- FMトランスミッターの実用到達距離は、約2mです。(法律により電波の強さが規制されています。)
- FMトランスミッターを使わないときは、必ずOFFにしてください。

その他の機能

AVスケジューラー 130

- AVスケジューラーとは 130
- スケジュールを作成する 130
 - スケジュールが実行されると ... 132
- 予約したスケジュールを
確認・編集する 132
 - 予約したスケジュールを
消去する 133

画面を設定する

- (AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990
ZH900MD/ZH900/XH900) 134
- 画質を調節する 134
 - 明るさマークについて 135
- ワイド画面の拡大方法を
切り替える 135
 - ワイドモードの種類 136
- 画面の表示モードを切り替える 136
 - ピクチャーサイドピクチャーに
変更する 136
 - ピクチャーインピクチャーに
変更する 137

ビデオなどを見る

- (AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/
ZH900MD/ZH900/XH900) 138
- ビデオなどの入力を設定する 138
 - AVIC-ZH990MD/ZH990/
ZH900MD/ZH900の場合 138
 - AVIC-XH990/XH900
の場合 139
- ビデオなどの見かた 139

バックカメラを使う

- (AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/
ZH900MD/ZH900/XH900) 140
- 入力設定をバックカメラに
切り替える 140
- バックカメラの切り替えかた 141




リアモニターを組み合わせる

- (AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/
ZH900MD/ZH900/XH900) 142
- リアモニターに表示される
映像について 142

リアモニター用リモコンを使う

- (AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/
ZH900MD/ZH900/XH900) 143
- 数字ボタンで選ぶとき 143

OELディスプレイについて

- (AVIC-ZH990MD/ZH990/
ZH900MD/ZH900) 144
- OELディスプレイの表示を
切り替える 144
 -  を押したとき 144
 -  を押したとき 145
 -  を押したとき 145
- ファンクションモードを使う 145

リビングキットで操作できる機能 146

- リビングキットとは 146
- 再生する 146
- 情報を取得する 146
- 録音する 146

AVスケジューラー

AVスケジューラーとは

AVスケジューラーとは、指定した時刻に指定したAV機能を実行するものです。

AVスケジューラーでは、次のAV機能が指定できます。

- DVD/CD/WMA・MP3の再生
- MDの再生 (AVIC-ZH990MD/ZH900MD)
- ミュージックサーバーの再生
- 放送の受信 (AVIC-ZH990MD/ZH990/ XH990/ZH900MD/ZH900/ XH900)
- オプション機器やVTRなどを実行する

ご注意

- 音声を再生するスケジュールが実行されると、大きな音量で再生されることがあります。音量設定にご注意ください。



- 最大100件までのスケジュールを作成できます。

スケジュールを作成する

ここでは、スケジュールの例として、指定した時刻になるとミュージックサーバーを実行する(再生する)スケジュールの作成方法を説明します。

1 ミュージックサーバーソースのAVメニューを表示する (→ P59)

2 スケジューラーを選ぶ



3 新規作成を選ぶ



4 実行する日付を指定する



- **毎日** または **毎週** を選ぶと、毎日の同じ時間、毎週の同じ曜日の同じ時間を指定することができます。
- **次月** **前月** を選ぶと、カレンダーの月を切り替えることができます。
- すでにスケジュールが予約されている日付には、オレンジ色の下線が表示されます。

5 時間を指定し、**入力終了**を選ぶ



時刻は1分単位で、24時間制で入力します。
例：09：15→9時15分になるとスケジュールが実行される
実行の開始を、時間で指定して幅を持たせることができます。

例えば、実行開始の時刻にエンジンスイッチがOFFだった場合でも、指定した時間内にエンジンスイッチがONになれば、実行を開始するように指定できます。

例：09：15～10：15→9時15分にはエンジンスイッチがOFFでも、10時15分までにエンジンスイッチがONになると、その時点でスケジュールを実行します。



- 現在の時刻より前の時刻は入力できません。
- 同じ日の同じ時刻に複数のスケジュールを作成することはできません。

6 実行するAVソースを選ぶ



ここでは例として、**ミュージックサーバー**を聴くを選びます。

選んだソースにより以降の操作が異なりますが、操作のしかたは各ソースの操作と同様です。

テレビ・ラジオ放送受信：

プリセットメモリーのリストが表示されますので、受信したい放送局を選びと、手順**10**に進みます。

DVD・CD・MP3/WMA・MDの再生：

手順**10**に進みます。

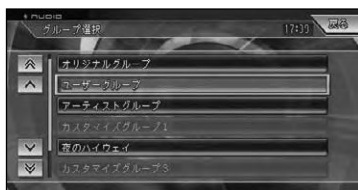
VTR1/2・EXT1/2の実行：

手順**10**に進みます。

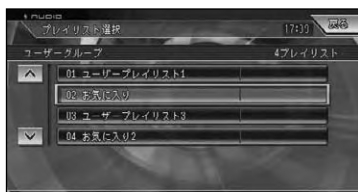


- 接続されていないソースは選択できません。

7 グループを選ぶ



8 再生するプレイリストを選ぶ



9 決定を選ぶ



- トラック**を選ぶと、再生するトラックを選ぶことができます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

つづく→

10 確認を選ぶか(決定)を押す



スケジュールが作成され、予約されます。

スケジュールが実行されると

予約した時刻になると、以下の画面が表示され、スケジュールが実行されます。



はい : スケジュールを実行します。

いいえ : スケジュールをキャンセルします。



- **決定** または **発話** を押しても、スケジュールを実行できます。
- **戻る** または **訂正** を押しても、スケジュールをキャンセルできます。

予約したスケジュールを確認・編集する

日付から予約したスケジュールを確認・編集することができます。



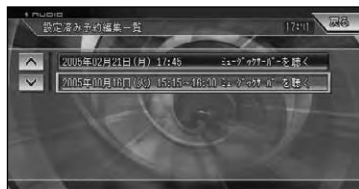
- 編集できる内容は、日時のみです。

1 各ソースのAVメニューで、スケジューラーを選ぶ

2 設定済み予約編集を選ぶ



3 確認・編集したいスケジュールを選ぶ



予約したスケジュールの内容が表示されます。



- スケジュールは、毎週、毎日、日時の順番にリスト表示されます。
- 確認して終了する場合は、**戻る** にタッチするか **戻る** を押してください。
- スケジュールを編集する場合は、次の手順に進んでください。

4 日付 を選ぶ

スケジュールを作成しなします。



選んだスケジュールのカレンダーが表示されます。



以降の操作手順は、「スケジュールを作成する」(→P130) の手順 4、5 と同様です。

予約したスケジュールを
消去する

1 各ソースのAVメニューで、 スケジュール を選ぶ

2 設定済み予約消去 を選ぶ



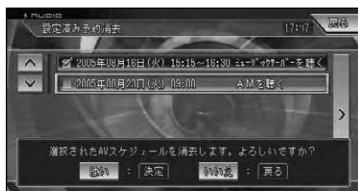
3 消去したいスケジュールを選ぶ



- 選択すると、チェックマーク が付き、引き続き選ぶことができます。再度選ぶと、選択が解除されます。
- > を選んでサブメニューを表示すると、**全選択** が表示され、全てのスケジュールを選択することができます。選択を解除するには、**全解除** または解除したいスケジュールを選びます。

4 戻る を選ぶか **戻る** を押す

5 はい を選ぶか **決定** を押す



選んだスケジュールが消去されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージック
サーバー

オプション
機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

画面を設定する

(AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/ZH900MD/ZH900/XH900)

画質を調節する

周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて「黒の濃さ」、「コントラスト」、「色の濃さ」、「色合い」、「明るさ」を調節することができます。



- 外光センサーで周囲の明るさを感知し、昼と夜の設定を自動的に切り替えます。
- 「黒の濃さ」および「コントラスト」の設定は、昼と夜で別々に設定記憶できます。
- 「明るさ」の設定は、昼と夕方と夜で別々に設定記憶できます。設定後は、中間の明るさのときでも明るさを段階的に自動調節します（3点式インテリジェントディマー）。
- 設定内容は、次の画面および映像ごとに別々に設定記憶できます。
 - ナビゲーション画面
 - DVD映像
 - テレビ映像
 - VTR1映像（またはEXT1、EXT2）
 - VTR2映像（またはバックカメラ）
 - ミュージックサーバーのソース画面
 - その他のソースのソース画面
- ピクチャーサイドピクチャーとピクチャーインピクチャーの画質は、ナビゲーション画面の設定が反映されます。
- 走行中は操作できません。

7 調節したい映像の表示画面で、

V.ADJUST(NAVI STANDBY)または**V.ADJUST**を押す

2 左右のタッチキーにタッチするか、ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して調節する



バックカメラ：バックカメラの画質調整を行います。

黒の濃さ

(白)：薄くなる

(黒)：濃くなる

コントラスト (明暗)

低：白黒の差が小さくなる

高：白黒の差が大きくなる

色の濃さ

淡：薄くなる

濃：濃くなる

色合い

(赤)：赤が強くなる

(緑)：緑が強くなる

明るさ

暗：暗くなる

明：明るくなる



- 「色の濃さ」と「色合い」は、DVD映像、テレビ映像、VTR1映像（またはEXT1、EXT2）、VTR2映像（またはバックカメラ）のときのみ調節できます。

3 終了を選ぶか **メニュー** を押す

明るさマークについて

明るさなどを調節するときに基準となる外光レベルをマークで表します。



黒の濃さとコントラスト

☀️ (黄)：明るいとき(昼間)

🌿 (緑)：暗いとき(夜間)

明るさ

☀️ (黄)：明るいとき(昼間)

🔴 (赤)：中間の明るさのとき(夕方)

🌿 (緑)：暗いとき(夜間)

(▼)：外光レベル

📊 (■)：明るさレベル

外光レベルは、現在の外光レベルを段階的に表します。

明るさレベルは外光に合わせて自動調節している現在の画面の明るさを表します。右に伸びるほど、明るくなります

ワイド画面の拡大方法を切り替える

DVDやテレビおよびVTR（ビデオなど）の映像は、通常の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。



- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。
- DVD、テレビ、VTR1、VTR2で設定内容が別々に記憶されます。
- EXT1、EXT2は、VTR1がEXTの場合、VTR1の設定です。

- ナビゲーションや音声系ソース（CD、WMA/MP3、MD、ミュージックサーバーなど）は、ワイドモードの切り替えはできません。

1 ソースを切り替える(→P20)

2 システム設定画面(→P120)でワイドモードを選ぶ

3 お好みの表示方法を選ぶ



→それぞれの表示の説明は、「ワイドモードの種類」(P136)を参照してください。

- 通常のテレビ放送の番組でズーム、ノーマル以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差がでます。
- シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると(フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

4 戻るを選ぶか戻るを押す

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オフシヨン機器

AV設定

システム設定

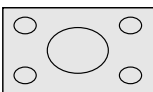
その他の機能

付録

ワイドモードの種類

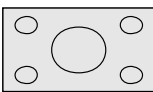
FULL (フル)

4 : 3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



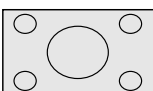
JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



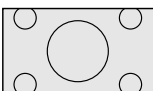
CINEMA (シネマ)

フルとズームの間での比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



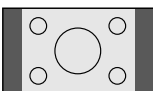
ZOOM (ズーム)

4 : 3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4 : 3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



画面の表示モードを切り替える

本機の画面の表示のしかたには、次の3種類があります。

1画面 地図の1画面表示

ピクチャーサイドピクチャー 画面を2分割して、ナビゲーション画面とソース画面を同時に表示する

ピクチャーインピクチャー ナビゲーション画面の中にソース画面を小さく表示する(子画面)



- ピクチャーサイドピクチャー、ピクチャーインピクチャー表示中に **NAV/AV** を押すとソースの1画面に切り替わります。再度押すと2画面に戻ります。
- ピクチャーサイドピクチャー、ピクチャーインピクチャー表示中に **メニュー** を押すとナビゲーションメニューが表示されます。AVメニューを表示させるには **NAV/AV** を押してソースを1画面にしてから **メニュー** を押してください。

ピクチャーサイドピクチャーに変更する

1 **DISP SEL** を押す

画面表示モード選択画面が表示されます。

2 「PsideP」の **▲** または

■ を選ぶ



1画面に戻すには「1画面」の **▲** を選びます。



- 2画面とも同じ画面にすることはできません。
- ソース画面どうし(テレビとDVD、DVDとビデオなど)の2画面表示はできません。
- ナビゲーションの操作をしやすくするため、一時的にナビゲーション画面だけになる(1画面になる)ことがあります。



- テレビ、ビデオ、DVDを選んでいる場合のみ子画面のサイズを変更することができます。
- 走行中は子画面のサイズを変更することはできません。
- ピクチャーインピクチャーで表示される子画面は、ワイドモードの設定にかかわらず、「ワイド」(テレビアスペクトが16:9)で表示されます。
- ナビゲーションの操作をしやすくするため、一時的にナビゲーション画面だけになる(1画面になる)ことがあります。
- ピクチャーインピクチャーの親画面と子画面の入れ替えはできません。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージック
スーパーオプション
機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

ピクチャーインピクチャー に変更する

1 DISP SEL を押す

画面表示モード選択画面が表示されます。

2 画面サイズ を選ぶ




画面サイズ : 子画面の大きさを以下のように変更することができます。

1/16→1/9→1/4→1/16に戻る

3 「PinP」の 、、、 のいずれかを選ぶ



1画面に戻すには「1画面」の  を選びます。

ビデオなどを見る

(AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/ZH900MD/ZH900/XH900)

本機にビデオなどの映像を表示したい場合は、次のような操作をしてください。

ビデオなどの入力を設定する

ビデオなどの映像を見るためには、システム設定の「AV入力設定」で設定を行ってください。

AVIC-ZH990MD/ZH990/
ZH900MD/ZH900の場合

1 システム設定画面 (→P120) でAV入力設定を選ぶ

2 機器を接続した端子に応じて、以下のように設定する

「VTR1」に接続した場合：ON または EXT



ON : 接続されたビデオなどの映像を表示するとき

EXT : 接続したエクスターナルユニットの映像を表示するとき

OFF : 何も接続されていないとき

「VTR2」に接続した場合：ON



ON : 接続されたビデオなどの映像を表示するとき

バックカメラ : バックカメラの映像を表示するとき (→P141)

OFF : 何も接続されていないとき

メモ •ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

3 戻るを選ぶか戻るを押す

メモ •EXT は映像系エクスターナルユニットをVTR1に接続し、さらにIP-BUSによる接続がされている場合に設定できます。詳しくは販売店にご相談ください。

AVIC-XH990/XH900 の場合

1 システム設定画面 (→P126) でAV入力設定を選ぶ

2 「VTR1」または「VTR2」 のONを選ぶ



ON : 接続されたビデオなどの映像を表示するとき

バックカメラ : バックカメラの映像を表示 (VTR2のみ) するとき (→P141)

OFF : 何も接続されていないとき



•ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

3 戻るを選ぶか戻るを押す

ビデオなどの見かた

VTR1またはVTR2に切り替えてビデオなどの映像を見ます。

ご注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときは、モニターでビデオなどの映像を見られます。走行中は安全のためにモニターには、ビデオなどの映像は表示されません。

1 SOURCEを押して、ソースをVTR1 またはVTR2に切り替える

ビデオなどの画面が表示されます。



- AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900では、**TV/VTR**でも切り替えられます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージック
サーバー

オプション
機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

バックカメラを使う

(AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/ZH900MD/ZH900/XH900)

本機にバックカメラ(「ND-BC2」など)を接続して、車の後方の映像を画面に表示させることができます。映像を表示したい場合は、次のような操作をしてください。

入力設定をバックカメラに切り替える

バックカメラの映像を表示するためには、システム設定の「AV入力設定」で、「VTR 2」を「バックカメラ」に設定してください。またバックカメラの極性も設定してください。

1 システム設定画面 (→P120、P126)で **AV入力設定** を選ぶ

2 「VTR2」の **バックカメラ** を選ぶ



3 「バックカメラ極性設定」の **LOW** または **HIGH** を選んで、車両のバック信号の極性に合わせる



LOW : グラウンド(バックギアに入れたときに、バック信号線の電圧がLOWとなる車両の場合に選択します。)

HIGH : バッテリー(バックギアに入れたときに、バック信号線の電圧がHIGHとなる車両の場合に選択します。)

メモ •必ずバック信号入力線(紫/白)を接続してください。バック信号の極性については、ナビゲーションの情報メニューから「ハードウェア情報」で確認できます。→『ナビゲーションブック』

4 **戻る** を選ぶか **戻る** を押す

バックカメラの切り替えかた

シフトレバーをR(リバース)の位置にすると後方画面に切り替わります。駐車場で後退するときなどに便利です。

1 バックギアを入れる



シフトレバーを他のギアに切り替えると、画面表示は元の映像に切り替わります。



- バックカメラ表示中に **NAVAV**、**現在地**、**メニュー** を押すと、バックカメラ映像は解除します。
- バックカメラを正常に動作させるためには、バック信号入力線の接続が必要です。→『取付説明書』
- 本機にはバックカメラの映像を左右反転する機能はありません。
- バックカメラの使いかたは、バックカメラの説明書をご覧ください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

リアモニターを組み合わせる

(AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/ZH900MD/ZH900/XH900)

本機のリアモニター出力端子に後部座席用モニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

→接続のしかたは『取付説明書』を参照してください。

リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、本機で表示されている映像が表示されます。ただし、テレビ、DVDまたはVTRのときは、本機の映像に関係なく、常にテレビ、DVDまたはVTRの映像のみが表示されます。
- システム設定の「ナビ画面リア映像出力（→P122、P127）でONに設定してあると、ソースがOFFまたは音声系ソース（CD、WMA/MP3、MD、ミュージックサーバーなど）のとき、リアモニターにナビゲーション画面を表示することができます。
- リアモニターは、走行中／停車中に関係なく映像が表示されます。このため、走行中でもテレビ、DVDやVTRの映像を見ることができます。
- バックカメラ映像はリアモニターに出力されません。テレビ、DVDまたはVTR以外の場合には黒画面になります。

ご注意

- リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

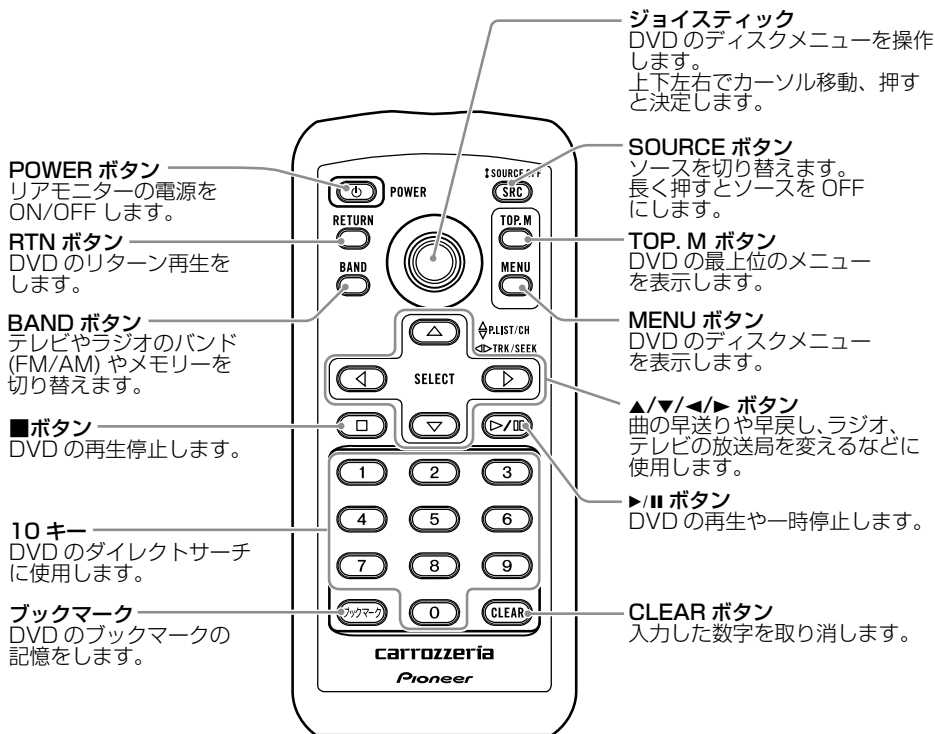


• リアモニター出力はコンポジット信号のため、リアモニターに表示されるナビゲーション及びオーディオ画面は、本機のモニターに表示される映像と比べて不鮮明になります。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。

リアモニター用リモコンを使う

(AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/ZH900MD/ZH900/XH900)

リアモニター用リモコン「CD-RR1」は、本機にリモコン信号出力付きのリアモニター(例:「TVM-W6500」)を組み合わせたときに、テレビやDVD、CD/WMAなどの操作を後席から行うためのリモコンです。リモコン信号出力付きのリアモニターと組み合わせていない場合やリモコン信号出力に対応していないリアモニター(例:「TVM-W8000」)と組み合わせた場合はご使用になれません。



数字ボタンで選ぶとき

見たいチャプター番号の数字を押すと指定したチャプターから再生が始まります。

3を選ぶとき 「0」と「3」を押します。

10を選ぶとき 「1」と「0」を押します。

23を選ぶとき 「2」と「3」を押します。

OELディスプレイについて

(AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900)

OELディスプレイには、オーディオ操作やAV設定(EQやSFC)の状態、時計などが表示されます。モニターを収納した状態でもオーディオの動作状態が確認できます(エラーも表示されます)。

OELディスプレイの表示を切り替える

DISP、**ENT**、**CLK** を押すといろいろな表示の切り替えを行うことができます。

・通常表示 (例：CD)



・時計表示



・エンタテインメント表示



DISP を押したとき

DISP を押すと、動作中のソースの情報が表示されます。ボタンを押すたびに表示が切り替わります。またボタンを長く押すと、以下の表示をスクロールして表示することができます。



CD :
通常表示 (Track/再生経過時間) → Disc title → Disc artist name → Track title → Track artist name → 通常表示に戻る

WMA/MP3 :

通常表示 (Folder/Track/再生経過時間)
→ Folder name → File name → Track title → Artist name → Album title → Bit rate → 通常表示に戻る

MD :

通常表示 (Group/Track/再生経過時間)
→ Disc title → Group title → Track title
→ 通常表示に戻る

テレビ :

通常表示 (P.ch/ch) → Station name
→ 通常表示に戻る

ラジオ :

通常表示 (周波数表示) → Station name → 通常表示に戻る

ミュージックサーバー :

通常表示 (Playlist/再生経過時間) → Playlist name → Track title → Artist name → 通常表示に戻る

マルチCD :

通常表示 (Disc/Track/再生経過時間)
→ Disc title → Track title※ → Disc artist name※ → Track artist name※
→ 通常表示に戻る

※ 「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤーで「CD TEXT」再生中に表示できます。



・WMAファイルではAlbum titleは表示できません。また、Track title、Artist nameについても正確に表示できない場合があります。

ENT を押したとき

ENT を押すと、表示をエンタテインメント表示に切り替えます。ボタンを押すたびに以下のようにエンタテインメントの種類が切り替わります。

通常画面→BGV1→BGV2→MOVIE1→MOVIE2→MOVIE ALL→アナログパワーメーター→レベルインジケーター→スピーアナ1→スピーアナ2→スピーアナ3→スピーアナALL→オートサウンドレベライザー表示→クロック→通常画面に戻る



•本機に5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続するとDTSコンテンツの収録されたDVDディスクを再生することが可能ですが、その場合には「アナログパワーメーター」「レベルインジケーター」「スピーアナ」は表示されません。

CLK を押したとき

CLK を押すと、時計を約8秒間表示します。



•GPSより時刻情報を受信して本機の時計を合わせているので、時報などを利用して時刻を合わせる必要はありません。

ファンクションモードを使う

ファンクションモードは、ソースメニューを表示することなく、リピート再生やランダム再生などの設定をすることができます。

FUNCTION を押すごとに機能が切り替わります。設定したい機能表示後、**▲**/**▼**/**◀**/**▶**で設定します。



機能 設定

▲/**▼**/**◀**/**▶**の使用できるボタンを表示します。



•ファンクションモードを解除するには、**BAND/ESC**を押します。
•**FUNCTION**を押して約30秒何も操作しないと、OELディスプレイの表示は、元に戻ります。

DVD :

Repeat→Pause→L/R select→Repeatに戻る

CD、WMA/MP3 :

Repeat→Random→Scan→Pause→Search→Repeatに戻る

MD :

Repeat→Random→Scan→Pause→Repeatに戻る

テレビ :

BSSM→MPX→BSSMに戻る

ラジオ :

BSM

ミュージックサーバー :

Repeat→Random→Digest→Pause→Repeatに戻る

マルチCD :

Repeat→Random→Scan→Pause→ITS play→ITS memory→COMP/DBE→Repeatに戻る



•「ITS memory」選択時は、**◀**/**▶**で選曲ができます。また**▲**でメモリー、**▼**で消去ができます。**▼**を長く操作すると、全消去ができます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

リビングキットで操作できる機能

リビングキットとは

リビングキットでは、オーディオソース（ミュージックサーバー、音声入力）の操作が行え、操作の状態表示をテレビなどの画面に表示することができます。また、音声入力（ホームテレビやコンポ）による、ミュージックサーバーへの録音も可能です。

ミュージックサーバーを自宅で楽しむ場合など、基本的な操作は、車載時と同様です。オーディオブックの該当箇所を参照してください。

リビングキットの接続や独特の操作など、リビングキットに関する事項は、『リビングキット取扱説明書』と『HDD [サイバーナビ] ブロードバンド関連指定機器のご案内』を参照してください。



- 音声入力はAUXとして、ソースの切り替えができます。
- リビングキットでミュージックサーバーのヒットチャートプレイを楽しむ場合、時刻の情報が取得できていないと、ヒットチャートの再生・閲覧・取得・編集ができません。手動で時刻を取得してください。→『ナビゲーションブック』

再生する

ミュージックサーバーに録音されたデータを再生することができます。

→ミュージックサーバーの操作に関しては、『ミュージックサーバーの聴きかた』(P57)を参照してください。

情報を取得する

ご自宅のインターネット環境を利用して、ヒットチャートやタイトルなどの情報の取得操作が可能です。

→情報取得の操作に関しては、『ミュージックサーバー』の「最新のヒットチャートを見る」(P64)、「タイトル情報を取得する」(P83)を参照してください。

録音する

ご自宅のホームテレビやコンポなどから、音声入力でアナログ録音することができます。

→録音操作や録音中の操作に関しては、『ミュージックサーバー』の「CD以外のソースを録音する」(P55)を参照してください。

付録

再生できるディスク	
(DVD、CD)の種類	148
DVDに表示されている	
マークの意味	149
ディスクの操作について	149
ディスクの構成について	150
DVDビデオ	150
CD	150
長時間録音されたMDの再生について	
(AVIC-ZH990MD/ ZH900MD)	151
MDLPIについて	151
MP3ディスク、	
WMAディスクについて ...	152
フォルダーとMP3および	
WMAファイルについて	152
MP3とは?	153
再生できるMP3ディスクについて ...	153
WMAとは?	154
再生できるWMAディスクについて ...	154
Gracenoteについて	155
言語コード表	156

故障かな?と思ったら	157
共通項目	157
テレビ (AVIC-ZH990MD/ZH990/ XH990/ZH900MD/ZH900/ XH900)	159
ラジオ (AVIC-ZH990MD/ ZH990/ZH900MD/ ZH900) .	159
MD (AVIC-ZH990MD/ ZH900MD)	160
DVD	160
CD、WMA/MP3ディスク	162
WMA/MP3ファイル	162
ミュージックサーバー	163
こんなメッセージが	
表示されたら	164
共通項目	164
DVD、CD、WMA/MP3ディスク ...	164
MD (AVIC-ZH990MD/ ZH900MD)	165
ミュージックサーバー	166
オートTA&EQ時のエラー	167
索引	168
メニュー索引	168
AVIC-ZH990MD/ZH990/ ZH900MD/ZH900	168
AVIC-XH990/H990/ XH900/H900	169
用語索引	170
五十音順	170
アルファベット順	171

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D
V
D

ミ
ュ
ー
ジ
ッ
ク
サ
ー
バ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
機
器

A
V
設
定



シ
ス
テ
ム
設
定

そ
の
他
の
機
能

付
録

再生できるディスク(DVD、CD)の種類

下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。本機はNTSC(日本のテレビ方式)に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面
DVDビデオ 	DVDビデオ 12cm/片面 1層 2層 12cm/両面 1層 2層
	DVDビデオ 8cm/片面 1層 2層 8cm/両面 1層 2層
CD  	CD 12cm/片面
	CDシングル 8cm/片面

本機で再生できるのは、上記に記載されているマークの付いたディスクのみです。



- DVDオーディオやDVD-ROMなどは再生できません。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD-R/RWディスクは、ビデオフォーマット(ビデオモード)で記録されファイナライズされたものに限り、再生することができます。ビデオレコーディングフォーマット(VRモード)で記録されたDVD-RWディスクは再生できません。
- ビデオフォーマット(ビデオモード)で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-TEXTの音楽は再生することはできますが、タイトルなどの文字情報は表示できません。
- CD-Extraは、音楽CDとして再生することができます。
- CCCC(Copy Control CD)は正式なCD規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/RWディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD(Double Density CD)形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- PC(パソコン)で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。(詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。)

ハイビジョン画質の (AVCHD 規格) で記録されたディスクについて






- 本機は、AVCHD 規格に非対応のため再生できません。
- ディスクの取り出しができなくなる場合がありますので、AVCHD 規格で記録されたディスクは入れないでください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」のDVDの面は再生可能です。
- DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数
	字幕の数
	アングルの数
	画面サイズ (アスペクト比: 横と縦の比率)の種類
	再生可能な地域番号(リージョン番号) 本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

ディスクの操作について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リピートなど一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク



ディスクの構成について

DVDビデオ

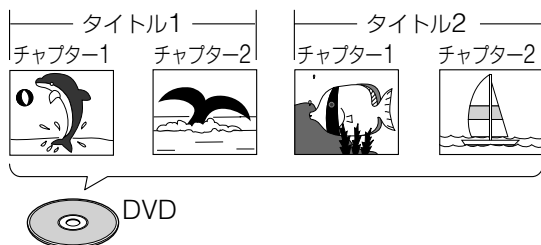
DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

■映画など

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

■カラオケディスク

1曲が1タイトルとなっています。

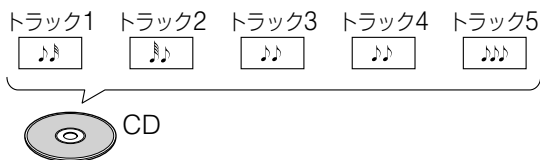


•上記のような構成(区切りのしかた)になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。

一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



長時間録音されたMDの再生について

(AVIC-ZH990MD/ZH900MD)

AVIC-ZH990MD/ZH900MDはMDLPIに対応しています。長時間録音されているMDも再生することができます。

MDLPIについて

MDLPIとは、今までお使いになっているMDで、従来の録音できる時間より長く(2倍、4倍の時間)録音することができる圧縮方式です。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D
V
D

ミ
ュ
ー
ジ
ック
サ
ー
バ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
機
器

A
V
設
定

シ
ス
テ
ム
設
定

そ
の
他
の
機
能

付
録

MP3ディスク、WMAディスクについて

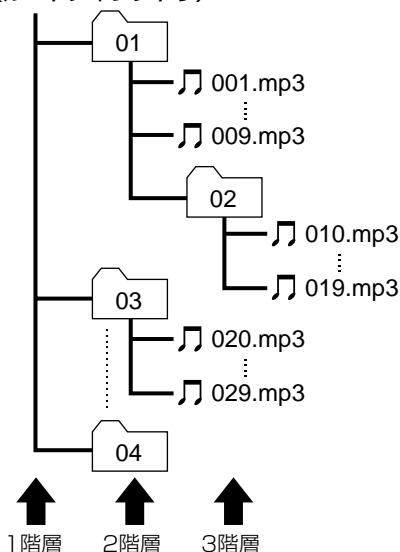


●パソコンリンクソフト「ナビスタジオ」で転送できるMP3ファイルおよびWMAファイルについては、「ナビスタジオ」の説明書をご覧ください。

フォルダーとMP3およびWMAファイルについて

- MP3およびWMAファイルを収録したCD-R/CD-RW/CD-ROMのイメージは下図のようになります。

(ルートディレクトリ)



- 本機はMP3およびWMAファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROM (CD-ROMモードはモード1、モード2、FORM1、FORM2に対応)の再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。

- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.mp3, .wma) を含め、全角で16文字、半角で32文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は全角で16文字、半角で32文字までです。
- 拡張フォーマット (Romeo) に準拠して記録されたファイルの場合、全角では先頭から16文字、半角では先頭から32文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。



- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てすることはできません。
- CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CDディスクにMP3およびWMAファイルと、音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、MP3およびWMAファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り替えることができます。MP3およびWMAファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り替えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- MP3およびWMAファイルを含まないフォルダーは認識しません。(フォルダー番号の表示をせず、スキップします。)
- 8階層までのMP3およびWMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が253個まで再生可能です。

MP3とは？

「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送^{*}で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送^{*}で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

※営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送(地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア)、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

再生できるMP3ディスクについて



●MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。
例：01abcdef.mp3

●本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けないでください。

- ID3 TagのVer1.0およびVer1.1、Ver2.2、Ver2.3のalbum(ディスクタイトルとして表示)、title(トラックタイトルとして表示)、artist(アーティストとして表示)、genre(ジャンルとして表示)、year(発売年として表示)の表示に対応しています。
- 32/44.1/48 kHzのMP3ファイルを再生している場合のみ、エンファシスに対応しています。なお、再生可能なサンプリング周波数は、MPEG-1 LAYER-3の場合、32kHz、44.1kHz、48kHz。MPEG-2 LAYER-3の場合、16kHz、22.05kHz、24kHzです。
- 一般的にMP3ファイルは、ビットレートが高くなるほど音質は良くなります。本機は、MPEG-1 LAYER-3の場合、32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320kbps、MPEG-2 LAYER-3の場合、8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160kbpsまでのMP3ファイルの再生に対応していますが、一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbpsのビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

WMAとは？

外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。



WMAとは、「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮方式です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Windows Media™のロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。



- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

再生できるWMAディスクについて



- WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wma)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wma)が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子(.wma)を付けしないでください。
- 本機では、Windows Media Player Ver.7、Ver.8を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。

- 再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は32/44.1/48 kHzです。
- 一般的にWMAファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は48、64、80、96、128、160、192kbpsのWMAファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

概要

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

特許及び商標

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote®により提供されます。Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、次のWebサイトをご覧ください: www.gracenote.com GracenoteからのCDおよび音楽関連データ: Copyright (c) 2000-2007 Gracenote. Gracenote Software. Copyright 2000-2007 Gracenote. この製品およびサービスは、以下に挙げた米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります: #5,987,525, #6,061,680, #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593. およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe, Inc.から提供されました。「Gracenote」および「CDDB」は、Gracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは、Gracenoteの商標です。Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください: www.gracenote.com/corporate.

Gracenote®エンドユーザー使用許諾契約書

バージョン20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリビル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote社のソフトウェア(以下「Gracenoteソフトウェア」)を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報(以下「Gracenoteデータ」)などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」)から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenoteデータを使用することができます。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、および Gracenoteサーバーをお客様個人の非営利目的のみに使用することに同意するものとします。

お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。

お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、および Gracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場

合、お客様は Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、および Gracenoteサーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenoteとして行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用してはいるお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全ての Gracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenoteは、Gracenoteが将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意の Gracenoteサーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

©Gracenote 2006

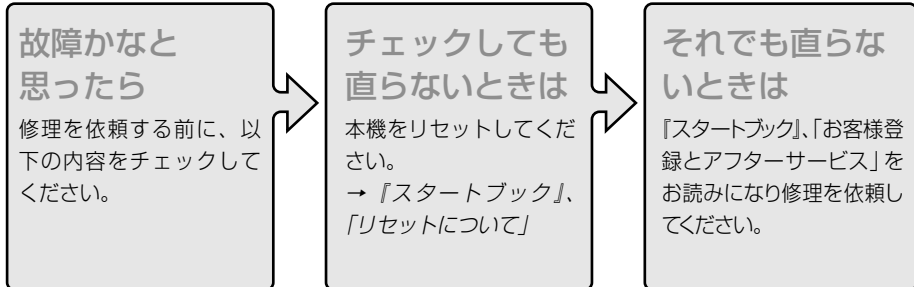
Gracenoteデータについて

- ・本機内蔵のGracenoteデータ、専用サーバーのGracenoteデータともに、データの内容を100%保証するものではありません。
- ・専用サーバーのGracenoteデータは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。
- ・専用サーバーによりGracenoteデータの通信サービスは、提供するコンテンツが収集できない場合やその他サービスの提供に支障をきたす事由が生じた場合、お客様の承諾なくその提供を中止することがあります。

言語コード表

言語名 (言語コード)	入カコード	言語名 (言語コード)	入カコード	言語名 (言語コード)	入カコード
日本語 (ja)	1001	グアラニ語 (gn)	0714	アフガニスタン語 (ps)	1619
英語 (en)	0514	グジャラート語 (gu)	0721	ケチュア語 (qu)	1721
フランス語 (fr)	0618	ハウサ語 (ha)	0801	レートロマン語 (rm)	1813
スペイン語 (es)	0519	ヒンディー語 (hi)	0809	キルンディ語 (rn)	1814
ドイツ語 (de)	0405	クロアチア語 (hr)	0818	ローマ語 (ro)	1815
イタリア語 (it)	0920	ハンガリー語 (hu)	0821	キニヤルワンダ語 (rw)	1823
中国語 (zh)	2608	アルメニア語 (hy)	0825	サンスクリット語 (sa)	1901
オランダ語 (nl)	1412	国際語 (ia)	0901	シンド語 (sd)	1904
ポルトガル語 (pt)	1620	interlingue (ie)	0905	サンド語 (sg)	1907
スウェーデン語 (sv)	1922	イヌビアク語 (ik)	0911	サルボアクロアチア語 (sh)	1908
ロシア語 (ru)	1821	インドネシア語 (in)	0914	セイロン語 (si)	1909
韓国語 (ko)	1115	アイスランド語 (is)	0919	スロバック語 (sk)	1911
ギリシャ語 (el)	0512	ヘブライ語 (iw)	0923	スロベニア語 (sl)	1912
アファル語 (aa)	0101	イディッシュ語 (ji)	1009	サモア語 (sm)	1913
アブバジャ語 (ab)	0102	ジャワ語 (jw)	1023	ショナ語 (sn)	1914
アフリカーンス語 (af)	0106	グルジア語 (ka)	1101	ソマリ語 (so)	1915
アムハラ語 (am)	0113	カザフ語 (kk)	1111	アルバニア語 (sq)	1917
アラビア語 (ar)	0118	グリーンランド語 (kl)	1112	セルビア語 (sr)	1918
アッサム語 (as)	0119	カンボジア語 (km)	1113	シスワティ語 (ss)	1919
アイマラ語 (ay)	0125	カンナダ語 (kn)	1114	セストゥ語 (st)	1920
アゼルバイジャン語 (az)	0126	カシミール語 (ks)	1119	スンダ語 (su)	1921
バシキール語 (ba)	0201	クルド語 (ku)	1121	スワヒリ語 (sw)	1923
ベラルーシ語 (be)	0205	キルギス語 (ky)	1125	タミル語 (ta)	2001
ブルガリア語 (bg)	0207	ラテン語 (la)	1201	テルグ語 (te)	2005
ビハリー語 (bh)	0208	リンガラ語 (ln)	1214	タジル語 (tg)	2007
ビスラマ語 (bi)	0209	ラオス語 (lo)	1215	タイ語 (th)	2008
ベンガル語 (bn)	0214	リトアニア語 (lt)	1220	チグリス語 (ti)	2009
チベット語 (bo)	0215	ラトビア語 (lv)	1222	ツルキ語 (tk)	2011
ブルトン語 (br)	0218	マダガスカル語 (mg)	1307	タガログ語 (tl)	2012
カタロニア語 (ca)	0301	マオリ語 (mi)	1309	セツワナ語 (tn)	2014
コルシカ語 (co)	0315	マケドニア語 (mk)	1311	トンガ語 (to)	2015
チェコ語 (cs)	0319	マラヤーラム語 (ml)	1312	トルコ語 (tr)	2018
ウェールズ語 (cy)	0325	モンゴル語 (mn)	1314	ツォンガ語 (ts)	2019
デンマーク語 (da)	0401	モルダビア語 (mo)	1315	タタル語 (tt)	2020
ブータン語 (dz)	0426	マラータ語 (mr)	1318	トウィ語 (tw)	2023
エスペラント語 (eo)	0515	マライ語 (ms)	1319	ウクライナ語 (uk)	2111
エストニア語 (et)	0520	マルタ語 (mt)	1320	ウルドゥー語 (ur)	2118
バスク語 (eu)	0521	ビルマ語 (my)	1325	ウズベク語 (uz)	2126
ペルシア語 (fa)	0601	ナウル語 (na)	1401	ベトナム語 (vi)	2209
フィンランド語 (fi)	0609	ネパール語 (ne)	1405	ボラビュク語 (vo)	2215
フィジー語 (fj)	0610	ノルウェー語 (no)	1415	ウォルフ語 (wo)	2315
フェロー語 (fo)	0615	プロバンス語 (oc)	1503	コーサ語 (xh)	2408
フリジア語 (fy)	0625	オロモ語 (om)	1513	ユルバ語 (yo)	2515
アイルランド語 (ga)	0701	オリヤー語 (or)	1518	ズールー語 (zu)	2621
スコットランドゲール語 (gd)	0704	パンジャブ語 (pa)	1601		
ガルシア語 (gl)	0712	ポーランド語 (pl)	1612		

故障かな？と思ったら



共通項目

症状	原因	処置
音が出ない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。 本機に5.1ch DSPユニットとオーディオマスターユニットを組み合わせているときは、オーディオマスターユニットの音量を上げてください。
	システム設定の 5.1ch DSPユニット の設定が間違っている。	5.1ch DSPユニット を正しく設定してください。→「5.1ch DSPユニット」(P124)
	接続が間違っている。	接続を確認してください。→『取付説明書』
	ガイドスピーカー接続端子を接続していない (AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900)。	
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 →『取付説明書』
	パーキングブレーキをかけていない。	
	スタンバイ状態になっている。	スタンバイを解除してください。 →『スタートブック』
音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 5.1ch DSPユニットとオーディオマスターユニットを組み合わせているときは、オーディオマスターユニットの音量を上げてください。
	アッテネーターがONになっている (AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900)。	アッテネーターを解除してください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

共通項目（つづき）

症状	原因	処置
モニターにナビゲーションの画像が映らない。	モニターが、ナビゲーション画面に切り替わっていない。	NAVI/AV で画面を切り替えてください。
前または後ろのスピーカーから音が出ない (AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900)。	前後の音量バランスの調節が適切でない。 スピーカーがオフに設定されている。	正しく調節・設定してください。 →「フェーダー/バランス」 (P101, 109) →「スピーカー設定」(P111)
左または右のスピーカーから音が出ない (AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900)。	左右の音量バランスの調節が適切でない。 スピーカーがオフに設定されている。	
バックカメラに切り替わらない。	バック信号が接続されていない。 AV入力設定 のVTR2を バックカメラ に設定していない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 →『取付説明書』 AV入力設定 のVTR2を バックカメラ に設定してください。→「バックカメラを使う」(P140)
画質調節ができない。	パーキングブレーキレコードが接続されていない。 パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 →『取付説明書』
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	—

テレビ(AVIC-ZH990MD/ZH990/XH990/ZH900MD/ZH900/XH900)

症状	原因	処置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー” という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 →「テレビやラジオの放送を受信する」 (P24)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 →「テレビやラジオの放送を受信する」 (P24)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りがよくなり、雑音も少なくなります。
	アンテナケーブル線と他のケーブルを束ねたり、重ねたりしている。	アンテナ線と他のケーブルは、できるだけ離してください。→『取付説明書』
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 →「テレビやラジオの放送を受信する」 (P24)
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。 音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	NAV/AV で画面を切り替えてください。

ラジオ (AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900)

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 →「テレビやラジオの放送を受信する」 (P24)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 →「テレビやラジオの放送を受信する」(P24)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
	アンテナケーブル線と他のケーブルを束ねたり、重ねたりしている。	アンテナ線と他のケーブルは、できるだけ離してください。→『取付説明書』
	オートアンテナがOFFになっている。	オートアンテナをONにしてください。 →『スタートブック』
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 →「テレビやラジオの放送を受信する」(P24)

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージック
サーバーオプション
機器

AV設定

システム設定


その他の機能

付録

MD(AVIC-ZH990MD/ZH900MD)

症状	原因	処置
MDソースに切り替わらない。	MDが挿入されていない。	MDを挿入してください。
MD再生中に、大きな雑音が出る。 MDの再生が途中で止まる。 MDが自動的に出てくる。	MDにくもりや水滴がついている。	MDのくもりや水滴を拭き取ってください。→『スタートブック』
	MDが汚れている。	MDを交換してください。
	録音されていないMDを挿入した。	
	MDが正しい向きで挿入されていない。	MDを取り出して正しい向きに挿入してください。

DVD

症状	原因	処置
再生できない。	PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	 で画面を切り替えてください。
オートプレイが正しく動作しない。	オートプレイが正しく動作できないディスクが入っている。	ご使用されるディスクにより期待通りの動作ができない場合があります。このような場合はオートプレイをOFFにして再生してください。 →「オートプレイ」(P50)
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルの変更をしてください。 →「視聴制限」(P50)
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。 →「視聴制限」(P50)
	暗証番号を忘れてしまった。	削除 に10回連続でタッチするか ^{録音/削除} を10回連続で押し、暗証番号を解除します。 →「暗証番号を忘れたときは」(P50)

DVD (つづき)

症状	原因	処置
ディスクメニューが操作できない。	操作が間違っている。	ディスクメニューは直接タッチしても操作できません。正しい方法で操作してください。 →「ディスクメニューの操作」(P39)
音声言語、字幕言語が切り替えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り替えられません。
	ディスクのメニューでしか切り替えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り替えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り替わりません。
アングルを切り替えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り替えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります。(故障ではありません。)
Ⓢ (禁止マーク) が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	■を押してから、もう一度再生してください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

CD、WMA/MP3ディスク

症状	原因	処置
音が出ない。	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。
CD再生中に、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。	CDにキズやそりがある。	他のCDと交換してください。症状が改善されれば、CDの不良です。
	CDが汚れている。	CDの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
	CDのくもり、またはCDに水滴が付いている。	CDのくもりや水滴を拭き取ってください。

WMA/MP3ディスク

症状	原因	処置
CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3ファイル を再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」の付いたディスクに交換してください。
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3ファイルにしてください。
WMA/MP3ファイル再生中に大きな雑音が出る。 WMA/MP3ファイル再生中に音が出なくなる。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください。(WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください。)
聞きたいWMA/MP3ファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」の付いたディスクに交換してください。

WMA/MP3ディスク (つづき)

症状	原因	処置
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3ファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3ファイルは、記録したときの順番通りに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

ミュージックサーバー

症状	原因	処置
プレイリストが再生できない。	ポーズ(一時停止)がONになっている。	ポーズをOFFにしてください。 →「再生を一時停止する」(P58)
CDが録音されていない。	CDの録音が中止された。	CDの録音には制限があります。 →「CD録音の制限について」(P53)
プレイリストのタイトル情報が取得できない。	通信機器が接続されていない。	通信機器の接続を確認してください。
	通信接続設定が正しくされていない。	通信接続設定を行ってください。→『ナビゲーションブック』
	ナビゲーション側で通信機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。
	本機ハードディスク内のデータベースで複数のタイトル候補があった。	手動でタイトル情報を取得してください。→「タイトル情報を取得する」(P83)

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

こんなメッセージが表示されたら

ディスクを正常に再生できないときは、エラーメッセージが表示されます。

共通項目

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
Error-5 Error-6	本機の電気系、機構系の故障が考えられる。	リセットボタンを押してください。 →『スタートブック』
温度保護回路作動中	本機の内部温度に異常がある。	本機が正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。→『取付説明書』

DVD、CD、WMA/MP3ディスク

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
Error-2	ディスクの読み取り状態に異常がある。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
再生できません。 ディスクを取り出して ください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズがあるときは、ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 →「再生できるディスク(DVD、CD)の種類」(P148)
ディスクが入っていません。	ディスクが入っていない。	ディスクをセットしてください。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号“2”を含むディスクに交換してください。

DVD、CD、WMA/MP3ディスク（つづき）

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 →「再生できるディスク(DVD、CD)の種類」(P148)
高温、または低温のため、再生できません。ディスクを取り出してください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。 →『取付説明書』

MD(AVIC-ZH990MD/ZH900MD)

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
[高温、または低温のためMDが再生できません。ディスクを取り出してください。]	本機の内部温度が高い、または低いとき。	MDを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。
[ERROR 11,12,17,30]	MDが汚れているとき。 MDにキズやひびがあるとき。	他のMDと交換してください。
[ERROR 20,21]	振動などが原因で曲の情報を読み取れなかったとき。 MDに異常（損傷している、TOC*が入っていないなど）があるとき。	MDを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、他のMDと交換してください。
[ERROR 22,24]	音楽以外の情報が記録されたMDを使用したとき。	音楽が録音されたMDを使用してください。
[ERROR 23]	本機の電気系、機械系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、MD再生を一度やめて、もう一度MD再生をしてください。
[ERROR 01,11,12,17,30,A0]	本機の電気系、機械系の故障が考えられるとき。	MD再生を一度やめて、リセットボタンを押して、もう一度MD再生をしてください。→『スタートブック』

※TOC (Table Of Contents) とは、CD、MD、DATなどに収録されている曲数、演奏時間、タイトルなどの音声信号以外の情報のことです。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

MD(AVIC-ZH990MD/ZH900MD) (つづき)

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
[ERROR]	MDが何らかの原因で再生しないとき。	他のMDと交換してください。 リセットボタンを押してください。 →『スタートブック』
[Blank DISC]	何も録音されていないMDを挿入したとき。	他のMDと交換してください。

ミュージックサーバー

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
このCDは録音できません。	CD-Rなどコピー禁止のディスクから録音しようとしている。	一般のCDなど、コピー可能なディスクに交換してください。
低温のためHDDにデータが書き込めませんでした。	低温のため、データが書き込めない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
ハードディスク容量不足のため、録音できません。	ハードディスクの残容量が足りないため、録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。 →「グループ内のプレイリストを消去する」(P75)、「プレイリストからトラックを消去する」(P80)
このトラックはすでに録音されています。	マニュアル録音モードで、録音済みのトラックを録音しようとしている。	録音済みのトラックは、同じCDから重複して録音できません。

オートTA&EQ時のエラー

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
マイクを確認してください。	マイクが接続されていない。	付属の音響特性測定用マイクを正しく接続してください。
FL*スピーカーを確認してください。	スピーカーの計測音がマイクで拾えない。	エンジンスイッチをON（本機の電源をON）にして、スピーカーから音が出ているか確認してください。
FR*スピーカーを確認してください。		音が出ていない場合は、スピーカー設定およびリード線の接続を確認してください。
F*スピーカーを確認してください。		付属の音響特性測定用マイクを正しく接続してください。
C*スピーカーを確認してください。		
RL*スピーカーを確認してください。		
RR*スピーカーを確認してください。		
サブウーファーを確認してください。		
R*スピーカーを確認してください。		
騒音が大きすぎます。	周囲の騒音レベルが高すぎる。	なるべく静かな所に車を停車し、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めてください。 付属の音響特性測定用マイクを正しく接続してください。

※FL：フロント/レフト、FR：フロント/ライト、F：フロント、C：センター、RL：リア/レフト、RR：リア/ライト、R：リアの意味です。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

メニュー索引

AVIC-ZH990MD/ZH990/ZH900MD/ZH900

DVD	ビュー	P22	F M / A M	ビュー	P22	マルチ CD	ビュー	P22
	トップメニュー	P39		ユーザープリセット	P25		リピート	P90
	メニュー	P39		エリアプリセット	P25		スキャン	P91
	再生/一時停止	P40		BSM	P26		ランダム	P91
	早送り	P40		オーディオ設定	P98		ポーズ/再生	P92
	早戻し	P40		システム設定	P120		ITS	P94
	コマ送り/スロー	P40,41		スケジューラー	P130		COMP/DBE	P92
	CMスキップ	P42		テレ ビ	ビュー		P22	オーディオ設定
	CMバック	P42	ユーザープリセット		P25		システム設定	P120
	⏪	P38	エリアプリセット		P25		スケジューラー	P130
	停止	P41	音声多重		P27	オー ディオ 設定	グラフィックイコライザー	P98
	ブックマーク	P42	BSSM		P26		オートイコライザー	P100,108
	次ページ	P39	リスト大/小		P27		タイムアライメント	P100,108
	サーチ/10キー	P43	オーディオ設定		P98		リスニングポジション	P101,109
	字幕切替	P44	システム設定		P120		フェーダー/バランス	P101,109
	音声切替	P44	スケジューラー	P130	SFC		P101,109	
	アングル切替	P45	V T R	ビュー	P22		ラウドネス	P102
	リターン	P45		オーディオ設定	P98		ASL	P102
	前ページ	P39		システム設定	P120		サブウーファー	P103
	リピート	P46		スケジューラー	P130		ハイパスフィルター設定	P104
	DVD初期設定	P48	M S V	ビュー	P22	ソースレベルアジャスター	P104,115	
L/R切替	P47	グループリスト		P57	パラメトリックイコライザー	P106		
オーディオ設定	P98	プレイリスト		P57	デジタルダイレクト	P110		
システム設定	P120	トラックリスト		P57	Dolby Pro LogicII	P110		
スケジューラー	P130	リピート		P59	ダイナミックレンジコントロール	P111		
CD	ビュー	P22		ダイジェスト	P60	スピーカー設定	P111	
	リピート	P33		ランダム	P60	クロスオーバー周波数	P113	
	スキャン	P35		編集	P74	スピーカー出力レベル	P113	
	ランダム	P34	グループの編集	テストトーン		P114		
	サーチモード	P36	プレイリストの編集	P77	ダウンMIX	P114		
	CD⇔MP3/WMA	P36	トラックの編集	P82	シス テム 設定	オートTA&EQ	P116	
	オーディオ設定	P98	タイトル情報取得	P83		デジタルアッテネーター	P120	
	システム設定	P120	メモリーカード楽曲読み込み	P86		録音設定	P120	
スケジューラー	P130	ヒットチャートプレイ	P61	消音設定		P121		
MEMO → CUSTOM SETTING	ビュー	P22	フィーリングプレイ	P66		ワイドモード	P121	
	グループリスト	P31	通常再生	P63,68		AV入力設定	P121	
	トラックリスト	P31	オーディオ設定	P98		OEL (OrganicEL) 設定	P121	
	リピート	P33	システム設定	P120		ナビ画面リア映像出力	P122	
	スキャン	P35	スケジューラー	P130		オートフラップ設定	P123	
	ランダム	P34	マルチ CD	オーディオ設定		P98	オートアンテナ連動	P124
	オーディオ設定	P98		ガイド/ハンズフリーSP設定	P123	5.1ch DSPユニット	P124	
	システム設定	P120		オーディオ設定リセット	P125			
	スケジューラー	P130						

AVIC-XH990/H990/XH900/H900

DVD	ビュー	P22
	トップメニュー	P39
	メニュー	P39
	再生/一時停止	P40
	早送り	P40
	早戻し	P40
	コマ送り/スロー	P40,41
	CMスキップ	P42
	CMバック	P42
	◀▶	P38
	停止	P41
	ブックマーク	P42
	次ページ	P39
	サーチ/10キー	P43
	字幕切替	P44
	音声切替	P44
	アングル切替	P45
	リターン	P45
	前ページ	P39
	リピート	P46
DVD初期設定	P48	
L/R切替	P47	
システム設定	P126	
スケジューラー	P130	

CD	ビュー	P22
	リピート	P33
	スキャン	P35
	ランダム	P34
	サーチモード	P36
	CD⇐MP3/WMA	P36
	システム設定	P126
	スケジューラー	P130

(AVIC-XH990/XH900)	テレビ	
	ビュー	P22
	ユーザープリセット	P25
	エリアプリセット	P25
	音声多重	P27
	BSSM	P26
	リスト大/小	P27
	システム設定	P126
	スケジューラー	P130
	VTR	
ビュー	P22	
システム設定	P126	
スケジューラー	P130	

MSV	ビュー	P22
	グループリスト	P57
	プレイリスト	P57
	トラックリスト	P57
	リピート	P59
	ダイジェスト	P60
	ランダム	P60
	編集	
	グループの編集	P74
	プレイリストの編集	P77
	トラックの編集	P82
	タイトル情報取得	P83
	メモリーカード楽曲読み込み	P86
	ヒットチャートプレイ	P61
	フィーリングプレイ	P66
	通常再生	P63,68
	システム設定	P126
スケジューラー	P130	

システム設定	録音設定	P126
	消音設定	P126
	ワイドモード (AVIC-XH990/XH900)	P127
	AV入力設定 (AVIC-XH990/XH900)	P127
	ナビ画面リア映像出力 (AVIC-XH990/XH900)	P127
	ガイド出力設定 (AVIC-XH990/XH900)	P127
	FMトランスミッター設定 (AVIC-XH990/XH900)	P128

- はじめに
- 基本操作
- 放送受信
- 音楽ディスク
- DVD
- ミュージックサーバー
- オプション機器
- AV設定
- システム設定
- その他の機能
- 付録

用語索引

五十音順

あ行

明るさ	135
アシスト字幕	49
アーティストグループ	57
アッテネーター	120
アナログ録音	55
アングル	45
アングル選択マーク	49
暗証番号	50
イコライザー	98、106
色あい	134
色の濃さ	134
エリアプリセット	25
エンファシス	153
オーディオ設定画面	98、106
オーディオ設定リセット	125
オート	56
オートアンテナ	124
オートイコライザー	100、108
オートタイムアライメント/ノイコライジング	116
オートフラップ	123
オートプレイ	50
オリジナルグループ	57
音場設定	101、109
音声言語	44
音声多重放送	27

か行

ガイド/ハンズフリーSP設定	123
画質	134
カスタマイズグループ	57
画像	79
グラフィックイコライザー	98
グループリスト	31、57
クロスオーバー周波数	113
黒の濃さ	134
交通情報	28
コマ送り	40
コントラスト	134

さ行

再生順変更	76、81
サーチモード	36
サブウーファー	103
サブメニュー	19
システム設定画面	120、126
視聴制限レベル	50
シネマ	136
字幕言語	44
ジャスト	136
主音声	27
消音設定	121、126
消去	75、80
詳細情報	75、78
情報取得	83
初期設定	48
シングル	54
スキャン再生	35、60、91
スケジュール	130
スピーカー出力レベル	113
スピーカー設定	111
スロー	41
ズーム	136
静止画	40
セットバック	123
操作タッチキー	39
ソース	20
ソースメニュー	26、33、46、59、90
ソースレベルアジャスター	104、115

た行

ダイジェストスキャン	60
タイトル	40、53、89
タイトル情報	83
ダイナミックレンジコントロール	111
タイムアライメント	100、108
ダウンMIX	114
タッチ操作	18
チェックリスト	19
チャート情報	64
チャプター	40
通常再生	59、62
ディスクメニュー	39
デジタルATT	120
デジタルコンプレッション	92
デジタルダイレクト	110
テストトーン	114
テレビ	27、159
テレビアスペクト	50
トラック追加	80
トラックリスト	31、57、68
ドルビープロロジックII	110

な行

ナビ画面リア映像出力	122、127
ノーマル	136

は行

ハイパスフィルター	104
パケットライト	152
バックカメラ	140
早送り	30、36、40、58、88
早戻し	30、36、40、58、88
パラメトリックイコライザー	106
パレンタルロック	50
バンド	25
ピクチャーインピクチャー	137
ピクチャーサイドピクチャー	136
ヒットチャートプレイ	61
ファイナライズ	148
ファンクションモード	145
フィーリングプレイ	66
フェーダー/バランス	101、109
フォルダー	35
副音声	27
ブックマーク	42
フル	136
プレイリスト	57
プレイリスト詳細情報画面	78
フロントパネル	12
ポーズ/再生	32、40、92

ま行

マニュアルモード	67
マルチアングル	49
マルチ音声	44
マルチCD	90
マルチ字幕	44
マルチセッション	152
ミックスCD	36
ミュージックサーバー	52
メニュー言語	49
メモリーカード	86

や行

ユーザーグループ	57、71、75
ユーザープリセット	25
ユーザープレイリスト	71、75、80
ユニバーサルパッド	14

ら行

ラウドネス	102
ラジオ	24、159
ラフサーチ	36
ランダム再生	34、60、91
リアモニター	122

リージョン番号	149
リスト操作	19
リストの切り替え	27
リスニングポジション	101、109
リターン	45
リピート再生	33、59、90
リビングキット	21、146
リモコン操作	18
リンク	65
連続複製防止システム	53
録音	53
録音時間	55
録音設定	55、126
録音モード	56

わ行

ワイド画面	135
-------	-----

アルファベット順

A

AM	25
ASL	102
AVスケジューラー	130
AV入力設定	121、127
AVメニュー	26、33、46、59、90

B

BBE	102
BSM	26
BSSM	26

C

CCCD	148
CD	30、148
CD-DA	152
CHAPTER REPEAT	46
CINEMA	136
COMP	92

D

DBE	92
DDCD	149
DISC REPEAT	33、46、90
DSP	106

E

EXT	96
-----	----

F

FM	25
FMトランスミッター	128
FOLDER REPEAT	33
FULL	136

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

G	
Gracernote	155
GROUP REPEAT	34,59
I	
ID3 Tag	31
ISO 9660フォーマット	152
ITS	94
J	
Joliet	152
JPEG	79
JUST	136
M	
m3u	152
MAGAZINE REPEAT	90
MD	31,34,151
MDLP	151
MP3	31
MP3ファイル	152
N	
NORMAL	136
O	
OELディスプレイ	144
P	
P in P	137
PLAYLIST REPEAT	59
P side P	136
R	
Romeo	152
S	
SCMS	53
SFC	101,109
T	
TITLE REPEAT	46
TRACK REPEAT	33,59,90
V	
VTR	138
W	
WMA	31
WMAファイル	152
Z	
ZOOM	136



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる【F】フリーコールおよび【06】フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話：【F】0120-944-111 【一般電話】03-5496-8016 FAX：03-3490-5718

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

カーナビゲーション「訪問宅電話番号検索機能」に関するご相談窓口

「訪問宅電話番号検索機能」に関する個人情報の削除等の受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～12:00、13:00～17:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：【06】0120-817-088

カーナビゲーションの通信サービスやネットワーク接続（携帯電話、Bluetooth接続は除く）に関するご相談窓口

パイオニアモバイルネットワークス株式会社

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：【06】0120-702-383 【一般電話】03-3495-9963

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな？と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

電話：【F】0120-5-81028 【一般電話】03-5496-2023 FAX：【F】0120-5-81029

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：【一般電話】098-879-1910 FAX：098-879-1352

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～18:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：【06】0120-5-81095 【一般電話】0538-43-1161 FAX：【06】0120-5-81096

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1-4-1

©パイオニア株式会社 2009

< KAMFF > < 09G00000 > < CRA4302-A >